



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging

bizhub PRO

1200/1200P/1051

ユーザーズガイド

プリンター編



- 第 1 章 はじめに
- 第 2 章 イメージコントローラーの概要
- 第 3 章 プリンタードライバーのインストール (Windows) (インストーラーによる簡易インストール)
- 第 4 章 プリンタードライバーのインストール (Windows) (プリンタの追加ウィザードによる手動インストール)
- 第 5 章 プリンタードライバーのインストール (Macintosh)
- 第 6 章 プリンタードライバーの削除
- 第 7 章 基本的な印刷方法とプリンターの機能
- 第 8 章 KONICA MINOLTA PCL ドライバーの設定 (Windows)
- 第 9 章 PostScript PPD ドライバーの設定 (Windows)
- 第 10 章 PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS 9)
- 第 11 章 PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS X)
- 第 12 章 トラブルが生じたら
- 第 13 章 フォントについて
- 第 14 章 ユーティリティツールについて
- 第 15 章 付録

目次

1 はじめに

1.1	登録商標について	1-2
1.2	マニュアル体系について	1-9
1.3	付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)	1-11
1.4	付属 CD-ROM について (Mac 用 bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)	1-12
1.5	本書について	1-13
1.6	本書の表記方法について	1-15
1.7	本書のみかた	1-16

2 イメージコントローラーの概要

2.1	プリンタードライバーについて	2-2
2.2	イメージコントローラーの部品構成	2-3
2.2.1	メモリー	2-3
2.2.2	その他のオプション	2-3
2.3	イメージコントローラーの接続形態	2-4
2.3.1	Ethernet で接続する	2-4
2.3.2	USB で接続する	2-4
2.4	イメージコントローラーの仕様	2-5
2.4.1	限定条件 :	2-6

3 プリンタードライバーのインストール (Windows) (インストーラーによる簡易インストール)

4 プリンタードライバーのインストール (Windows) (プリンタの追加ウィザードによる手動インストール)

4.1	対応 OS	4-1
4.2	Windows Vista/Server 2008	4-2
4.2.1	ネットワーク接続 (Port9100/LPR/SMB) の場合	4-2
4.2.2	ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-10
4.2.3	ネットワーク接続 (Web サービスプリント) の場合	4-13

4.2.4	ローカル印刷の場合	4-18
4.3	Windows XP/Server 2003	4-20
4.3.1	ネットワーク接続 (Port9100/LPR) の場合	4-20
4.3.2	ネットワーク接続 (SMB) の場合	4-24
4.3.3	ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-27
4.3.4	ローカル接続の場合	4-30
4.4	Windows 2000	4-32
4.4.1	ネットワーク接続 (Port9100/LPR) の場合	4-32
4.4.2	ネットワーク接続 (SMB) の場合	4-35
4.4.3	ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合	4-38
4.4.4	ローカル接続の場合	4-40
4.5	テスト印刷をして確認する	4-42
5	プリンタードライバのインストール (Macintosh)	
5.1	対応 OS	5-1
5.2	Mac OS X(10.2/10.3/10.4/10.5)	5-2
5.2.1	プリンタードライバのインストール	5-2
5.2.2	プリンターの選択と接続 (OS 10.4/10.5)	5-4
5.2.3	プリンターの選択と接続 (OS 10.2/10.3)	5-11
5.3	Macintosh にインストールする (Mac OS 9)	5-16
5.4	テスト印刷をして確認する	5-19
6	プリンタードライバの削除	
6.1	アンインストールプログラムによるアンインストール (PCL)	6-1
6.2	インストーラーによるアンインストール (PCL)	6-2
6.3	手動によるプリンタードライバの削除	6-3
6.3.1	手動アンインストール	6-4
6.4	Macintosh	6-6
6.4.1	Mac OS 10.5 の場合	6-6
6.4.2	Mac OS 10.2/10.3/10.4 の場合	6-7
6.4.3	Mac OS 9.2 の場合	6-8
7	基本的な印刷方法とプリンターの機能	
7.1	基本的な印刷方法	7-1
7.2	プリンターの機能	7-4

7.2.1	用紙に関する設定をするには	7-4
7.2.2	用紙トレイを設定するには	7-7
7.2.3	複数の部数を印刷するには	7-11
7.2.4	複数のページを印刷するには	7-13
7.2.5	表紙・裏表紙・挿入紙・カバーを設定するには	7-17
7.2.6	仕上げの設定をするには	7-20
7.2.7	透かしを設定するには	7-24
7.2.8	画像や濃淡を設定するには	7-27
7.2.9	フォントに関する設定をするには	7-29
7.2.10	プリンタードライバーの設定内容を確認するには	7-30
7.2.11	ジョブを保存・再印刷するには	7-31

8 KONICA MINOLTA PCL ドライバーの設定 (Windows)

8.1	プロパティ画面について	8-1
8.1.1	プロパティ画面	8-3
8.2	ボタンについて	8-4
8.3	機能の組み合わせ	8-5
8.4	全般タブ	8-6
8.5	共有タブ	8-7
8.6	ポートタブ	8-8
8.7	詳細設定タブ	8-10
8.8	色の管理タブ	8-12
8.9	セキュリティタブ	8-13
8.10	装置情報タブ	8-14
8.11	初期設定タブ	8-16
8.12	基本設定タブ	8-18
8.13	レイアウトタブ	8-32
8.14	仕上げタブ	8-40
8.15	カバーシート/挿入紙タブ	8-51
8.16	スタンプ/ページ印字タブ	8-58
8.17	画像品質タブ	8-66
8.18	その他タブ	8-70
8.19	お気に入り	8-72
8.20	ビューエリア	8-76

9 PostScript PPD ドライバーの設定 (Windows)

9.1	プロパティ画面について	9-1
9.1.1	プロパティ画面	9-3
9.2	ボタンについて	9-4
9.3	機能の組み合わせ	9-5
9.4	全般タブ	9-6
9.5	共有タブ	9-7
9.6	ポートタブ	9-8
9.7	詳細設定タブ	9-9
9.8	色の管理タブ	9-11
9.9	セキュリティタブ	9-12
9.10	デバイスの設定タブ	9-13
9.11	レイアウトタブ	9-17
9.12	用紙 / 品質タブ	9-19
9.13	詳細オプション画面	9-21

10 PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS 9)

10.1	本プリンティングシステムの設定に使用する画面	10-3
10.1.1	設定に使用する 3 つの画面	10-3
10.2	本章での記載について	10-9
10.3	ページ属性画面	10-10
10.4	ウォーターマーク画面	10-13
10.5	カスタムページ設定画面	10-16
10.6	一般設定画面	10-17
10.7	バックグラウンド印刷画面について	10-19
10.8	表紙画面について	10-20
10.9	レイアウト画面	10-21
10.10	プリンター固有機能画面 (1)	10-23
10.11	プリンター固有機能画面 (2)	10-24
10.12	オプション構成画面	10-41

11 PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS X)

11.1	Mac OS X の画面について	11-1
------	------------------------	------

11.2	ページ属性の設定（ページ設定画面）	11-4
11.3	カスタム用紙サイズの設定（ページ設定画面）	11-6
11.4	印刷部数と印刷ページ（プリント画面）	11-8
11.5	レイアウト（プリント画面）	11-9
11.6	給紙（プリント画面）	11-11
11.7	セットアップ（プリント画面）	11-12
11.8	画像/レイアウト（プリント画面）	11-19
11.9	出力設定（プリント画面）	11-24
11.10	セキュリティ（プリント画面）	11-30
12	トラブルが生じたら	
12.1	基本的なトラブルシューティング	12-1
12.2	印刷上の一般的な問題	12-3
12.3	PostScript に関する一般的な問題	12-5
12.4	未出力ジョブの確認	12-6
13	フォントについて	
13.1	フォントリスト（PCL）	13-1
13.2	フォントリスト（PostScript）	13-2
13.3	スクリーンフォントについて	13-3
13.4	Font Management Utility について	13-5
14	ユーティリティツールについて	
14.1	PageScope Web Connection	14-1
14.1.1	PageScope Web Connection の概要	14-2
14.1.2	PageScope Web Connection を使うには	14-3
14.1.3	各種情報を印刷するには	14-18
14.1.4	ダイレクトプリントを行うには	14-19
14.2	NetWare 設定	14-20
14.3	ToneCurve Utility について	14-24
15	付録	
15.1	コントローラーメモリースイッチ設定について	15-1
15.2	用語集	15-3
15.3	索引	15-9

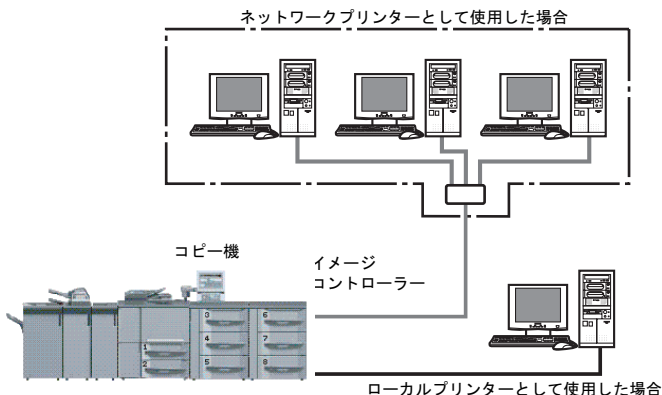
1 はじめに

このたびは、bizhub PRO 1200/1200P/1051 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドは、bizhub PRO 1200/1200P/1051 のプリンター機能の性能を十分に発揮させるため、また、安全な取り扱いをしていただくため、機械の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。ぜひご一読ください。

bizhub PRO 1200/1200P/1051 は、イメージコントローラー機能を有している複合機で、Windows 対応コンピューターから直接印刷（プリント）することができます。また PostScript ドライバーを使用することで、Macintosh から印刷することもできます。

またコピー機をネットワークプリンターとして機能させることができます。



1.1 登録商標について

KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、および The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。

bizhub、bizhub PRO、PageScope はコニカミノルタビジネステクノロジー株式会社 社の商標です。

SOFHA は、SOFHA GmbH 社の米国、日本およびその他の国における登録商標です。

Citrix、MetaFrame、MetaFrameXP、Citrix Presentation ServerTM は、米 Citrix Systems, Inc. およびその他の国における登録商標または商標です。

Citrix Technology Member について
コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社は、Citrix Technology Member です。

* Citrix Technology Member とは、Citrix 社のソリューションとの組み合わせにより、ソリューションの推進、開発を行い、お客様により優れたソリューションを提供するプログラムです。

Microsoft、MS-DOS、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

Netscape は、米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。

Mozilla および Firefox は Mozilla Foundation の商標です。

Novell、および NetWare は、米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標または商標です。

Apple、Mac および Mac OS は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。Safari は、米国アップルコンピュータ社の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、PostScript および PostScript ロゴは、Adobe Systems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RCA[®] は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

RSA[®] BSAFE[™]

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

ライセンス情報

本製品は、RSA Security Inc. の RSA[®] BSAFE[™] ソフトウェアを搭載しています。



本書に記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標または商標です。

COPYRIGHT © 2009 Konica Minolta Business Technologies, Inc., All rights reserved.

COPYRIGHT © 2004 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

COPYRIGHT SOFHA GmbH, Berlin, Germany, maintains the copyright of this printer driver.

特許について

Adobe[®] PostScript[®] は、米国およびその他の国の特許によって保護されています。

内蔵フォントについて

本イメージコントローラーには、以下のフォントが搭載されています。

内蔵フォントの全リストについては、" フォントについて "（13-1 ページ）を参照してください。

<PCL>

欧文 80 書体 , Symbol set 36 種類

日本語 2 書体

(HG ゴシック B、HG 明朝 L)

<PostScript>

欧文 136 書体

日本語 2 書体 (モリサワ)

(リューミン L-KL、中ゴシック BBB)

ご注意

以下の点に注意してください。

- 本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本プリンティングシステムおよび本書を運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。
- プリンタードライバーの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社にありま。

ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、イメージコントローラーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社は、イメージコントローラーに付属するソフトウェアについてお客様が「ソフトウェア使用許諾書」にご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアをご使用いただいております。もし本契約書に同意いただけない場合には、ご使用前に購入された販売店に返却してください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジー株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスをKMBTにより付与いたします。

- 1 お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
- 2 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
- 3 お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに関し、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
- 4 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソ

フトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限りです。

- 5 お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
- 6 お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
- 7 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
- 8 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
- 9 お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全てのソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
- 10 KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
- 11 Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
- 12 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

本イメージコントローラーを PostScript3 プリンターとしてご使用される場合は、ご使用前に必ずお読みください。

ご使用になる前に必ずお読みください。

このたびは、PostScript3 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社は、PostScript3 に付属するソフトウェアについてお客様が「ソフトウェア使用許諾契約書」にご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアをご使用いただいております。もし、本契約書に同意いただけない場合には、ご使用前に購入された販売店に返却してください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジー株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それら全てのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

これはライセンス契約であり、売買のための契約ではありません。本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェア及びドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

- 1 お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
- 2 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
- 3 お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するとき限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
- 4 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェア及びドキュメンテーションに対する権利及び所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物の全てを

譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。

- 5 お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
- 6 お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
- 7 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、及びそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利は全て KMBT 及びそのライセンサーに帰属します。
- 8 お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、全ての本ソフトウェア及びドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
- 9 KMBT 及びそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT 及びそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第3者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
- 10 Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）
The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48C.F.R.2.101, consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
- 11 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。
- 12 米国合衆国カリフォルニア95110-2740、サンノゼ、パークアベニュー、345、アドビ・システムズ・インコーポレーテッド（アドビ）は、お客様の本ソフトウェアの使用に関する条項について本使用許諾契約書の利害関係者（第三者受益人）であり、KMBT の他にアドビもまたこれら条項の遵守をお客様に直接要求することができます。

1.2 マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイドが用意されています。

ユーザーズガイド（コピー編）【印刷物】【User's Guide CD】

機械の概要やコピー操作について記載しています。bizhub PRO 1200Pには付属されていません。

設置・取扱の注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたや、機械のコピーに関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（POD 管理者編）【印刷物】【User's Guide CD】

日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。bizhub PRO 1200Pには付属されていません。

用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（セキュリティー編）【印刷物】【User's Guide CD】

セキュリティー機能について記載しています。

セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（ネットワークスキャナー編） 【印刷物】【User's Guide CD】

ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。bizhub PRO 1200Pには付属されていません。

保存、読出し機能、スキャナー（Scan to HDD、Scan to E-mail、Scan to FTP、Scan to SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

商標 / ライセンス【User's Guide CD】

商標およびライセンスについて記載しています。
本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド（プリンター編）＜本書＞【User's Guide CD】

プリンター機能の操作について記載しています。

PCL ドライバー、Adobe PS ドライバー、PageScope Web Connection のユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（プリンター（PostScript3_Plug-in ドライバー）編）【User's Guide CD】

プリンター機能の操作について記載しています。

PS Plug-in ドライバーのユーザーモードに関する使用方法について知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

オペレーションクイックガイド【印刷物】

本機のよく使われる機能について操作手順を中心に記載しています。
bizhub PRO 1200P では付属されていません。
本機の特長を理解したい場合は、このガイドをごらんください。

ユーザーズガイド（本体編）【印刷物】【User's Guide CD】

機械の概要やプリント操作について記載しています。bizhub PRO 1200P でのみ付属されます。

設置・取扱いの注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたや、機械の操作、用紙の登録やトレイの調整、ネットワーク設定を含む機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

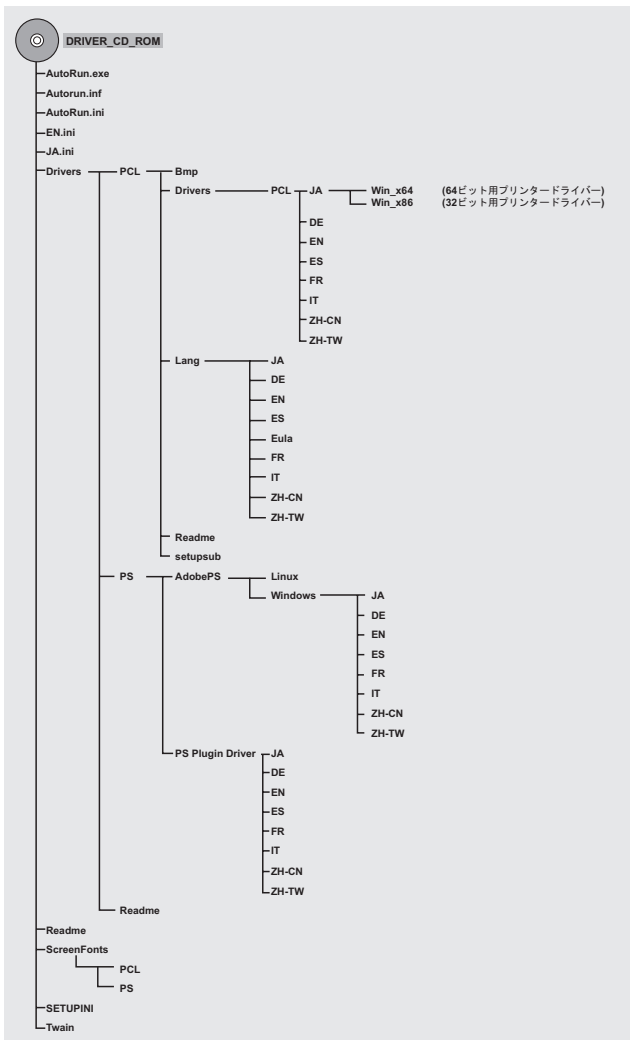
安全に正しくお使いになるため、操作の前に必ずユーザーズガイド コピー編または本体編「第 1 章 設置・取扱いの注意」をお読みください。

1.3 付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)

bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM (以降、Driver CD) のフォルダー構成を以下に示します。

フォルダーやファイルの検索などの参考にしてください。

- 本書では、フォルダーやファイル名をルートから記載していない場合があります。
- ファイルは全て JA フォルダー内のものをご使用ください。

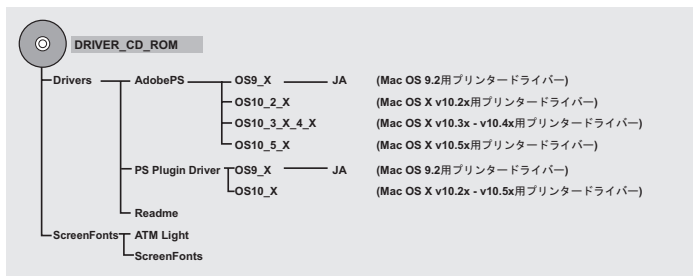


1.4 付属 CD-ROM について（Mac 用 bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM）

bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM（Mac 用）のフォルダー構成を以下に示します。

フォルダーやファイルの検索などの参考にしてください。

- 本書では、フォルダーやファイル名をルートから記載していない場合があります。
- ファイルは全て JA フォルダー内のものご使用ください。



1.5 本書について

本書では、各種コンピューターやネットワークから、KONICA MINOLTA 製コピー機をプリンターとして使用するために必要な、bizhub PRO 1200/1200P/1051 の操作方法について説明しています。

本書は Windows および Macintosh の基本操作、および、コピー機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。

コピー機の操作方法については、ご使用のコピー機に付属のユーザーズガイドが用意されています。必要に応じてご参照ください。

Windows、Macintosh の操作方法に関しては、各オペレーティングシステムの操作説明書をご参照ください。

また、アプリケーションの操作方法に関しては、アプリケーション付属の操作説明書をご参照ください。

本書は、下記の章と付録から構成されています。

「1 はじめに」	本書での表記方法や本書のみかたについて説明しています。
「2 イメージコントローラーの概要」	本プリンティングシステムの概要や製品仕様について説明しています。
「3 プリンタードライバのインストール (Windows) (インストーラーによる簡易インストール)」	インストーラーを使ってプリンタードライバをインストールする方法について説明しています。
「4 プリンタードライバのインストール (Windows) (プリンターの追加ウィザードによる手動インストール)」	Windows を使用になる場合のプリンタードライバのインストール方法について説明しています。
「5 プリンタードライバのインストール (Macintosh)」	Mac OS をご使用になる場合のプリンタードライバのインストール方法について説明しています。
「6 プリンタードライバの削除」	プリンタードライバをアップデートする場合の操作手順について説明しています。
「7 基本的な印刷方法とプリンターの機能」	本プリンティングシステムでできるいろいろな印刷方法を説明しています。
「8 KONICA MINOLTA PCL ドライバの設定 (Windows)」	KONICAMINOLTA 製 PCL ドライバの設定について説明しています。
「9 PostScript PPD ドライバの設定 (Windows)」	Windows 用 Adobe PS3 ドライバの設定について説明しています。
「10 PostScript PPD ドライバの設定 (Mac OS 9)」	Mac OS 9.x 用の PostScript PPD ドライバの設定について説明しています。
「11 PostScript PPD ドライバの設定 (Mac OS X)」	Mac OS X v10.2x ~ v10.5x 用の PostScript PPD ドライバの設定について説明しています。

「12 トラブルが生じたら」	印刷の一般的なトラブルや PostScript の一般的なトラブルとその回避方法について説明しています。
「13 フォントについて」	フォントについての説明をしています。
「14 ユーティリティツールについて」	イメージコントローラー関連のユーティリティツールについて説明しています。
「15 付録」	用語集や索引を記載しています。

1.6 本書の表記方法について

製品名称の表記方法

本書では、各製品を以下のように表記しています。

- 1 内蔵イメージコントローラー : イメージコントローラー
- 2 bizhub PRO 1200/1200P/1051 コピー機 : コピー機
(または「プリンター本体」)
- 3 (1)、(2) を組み合わせた
プリンティングシステム : プリンティングシステム
- 4 Microsoft Windows 2000 : Windows 2000
Professional/Server (Service Pack 3 以降)
- 5 Microsoft Windows XP : Windows XP
Home Edition/Professional (Service Pack 2 以降)
- 6 Microsoft Windows Vista : Windows Vista
- 7 Windows Server 2003 : Server 2003
(Standard)
- 8 Windows Server 2008 : Server 2008
- 9 Mac OS 9.2 : Mac OS 9
- 10 Macintosh OS X v10.2x ~ v10.5x : Mac OS X
- 11 上記 OS を組み合わせて
併記する場合 : Windows 2000/XP/Vista
Windows 2000/XP/Vista/
Server 2003/Server 2008
Mac OS 9/X



...

ご注意

*Windows XP/Vista/Server 2003/Server 2008 は、64bitOS である
Windows XP Professional、Windows Vista、Server 2003/Server
2008 を含みます。*

1.7 本書のみかた

操作の目的や機能などが確認できます。

操作の手順を説明しています。

.....
ご注意)
本文の補足的な説明をしています。

.....
ワンポイントアドバイス
操作上のヒントや
アドバイスなどを説明しています。

画面上で表示されているものは、[]を使って説明しています。

6 いろいろな印刷方法

この章では、基本的なアプリケーションからの印刷方法といろいろな印刷方法について説明します。

基本的な印刷方法 (Windows)

Windows でのドキュメントの基本的な印刷は次のとおりです。ここでは、Windows XP の画面を使って説明しています。

コンピュータから印刷するには、プリンタドライバをコンピュータにインストールする必要があります。

- 1 アプリケーションの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。
[印刷]画面が表示されます。

.....
Note
コマンド名は、アプリケーションによって異なる場合があります。

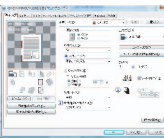
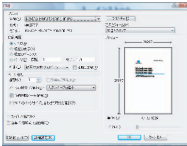
- 2 [プリンタ名]で対応するプリンタを選択します。

- 3 印刷に関する詳細の設定をする場合は、[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ]画面が表示されます。

- 4 必要に応じて印刷の設定をし、[OK]をクリックします。
[印刷]画面に戻ります。

- 5 [OK]をクリックします。
プリントジョブが送信されて、コピー機から印刷されます。

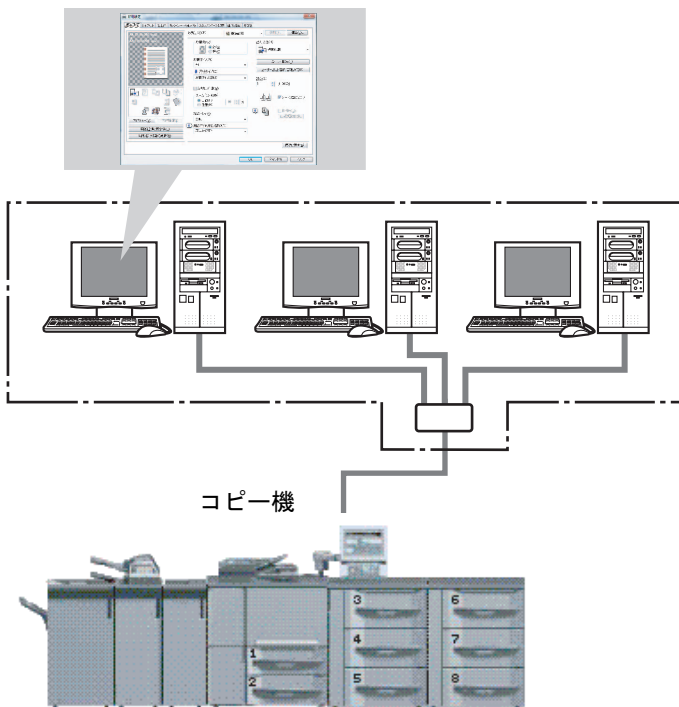
.....
Note
プロパティ画面の設定については、「Adobe PS3 ドライバの設定 (Windows)」* (7-1 ページ) を参照してください。



このページは実際には存在しません。

2 イメージコントローラーの概要

本製品のイメージコントローラー機能は、コピー機をコンピューターやネットワークに接続して、プリンターとして使用できるようにする機能です。



2.1 プリンタードライバーについて

本プリンティングシステムは、PCL および PostScript3(PostScript PPD/ PS Plug-in) プリンター機能を搭載しています。

本プリンティングシステムを使用するには、お使いのコンピュータにプリンタードライバーをインストールする必要があります。

プリンタードライバー	対応 OS
PCL コニカミノルタ製ドライバー (PCL)	Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/ Server 2008
PostScript PPD プリンタードライバー	Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/ Server 2008 Mac OS 9/X
PS Plug-in ドライバー	Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/ Server 2008 Mac OS 9/X



...

ワンポイントアドバイス

プリンタードライバーのインストール方法については、" プリンタードライバーのインストール (Windows) (プリンタの追加ウィザードによる手動インストール) " (4-1 ページ) または " プリンタードライバーのインストール (Macintosh) " (5-1 ページ) を参照してください。

「PS-Plug-in ドライバー」に関しては、ユーザーズガイド (PostScript3 Plug-in ドライバー編) をごらんください。

2.2 イメージコントローラーの部品構成

本イメージコントローラーには、Ethernet 互換ネットワークポートと USB ポート (USB 2.0) が用意されています。

2.2.1 メモリー

本イメージコントローラーは、標準で 2GB のメモリーを搭載しています。

2.2.2 その他のオプション

以下のオプションを設定すると、本イメージコントローラーのいろいろな機能を使うことができます。

- 給紙ユニット (PF-702/PF-703) をインストールすると、トレイ 3 ～ トレイ 8 を選択できるようになります。
- 平とじ機 (FS-521)、中とじ機 (SD-506)、パンチ / マルチ折り機 (FD-503) をインストールすると、“ステープル”、“中とじ (SD-506 のみ)”、“折り”などの機能を使用することができるようになります。
- パンチ / マルチ折り機 (FD-503)、マルチパンチ機 (GP-501) をインストールすると、パンチ機能を使用することができるようになります。
- 大容量 PI ユニット (PF-703 (PI)) をインストールすると、外力バーが選択できるようになります。
- 中とじ機 (SD-506) をインストールすると、“中とじ + 断裁”などの機能を使うことができます。
- 大容量スタッカ (LS-505) をインストールすると、大量の出力用紙を積み上げることができます。
- くるみ製本機 (PB-502/503) をインストールすると、くるみ製本を作成することができます。



ワンポイントアドバイス

本体に組み込まれている各種オプションをプリンタードライバー上で正しくインストールすることにより、本体が有する多様な印刷処理機能を活用する事ができます。

2.3 イメージコントローラーの接続形態

本イメージコントローラーをコンピューター（USB ポート）またはネットワーク（Ethernet）に接続することで、プリンターとして使用することができます。

2.3.1 Ethernet で接続する

イメージコントローラーを Ethernet につながるコンピューターに接続することができます。Ethernet を利用する場合は、いくつかの形態が考えられます。ここでは、例として次の印刷形態を示します。いずれの場合もイメージコントローラーやコンピューターの TCP/IP 設定など、ネットワークの設定後にコンピューターにプリンタードライバーをセットアップする必要があります。

- SMB 印刷、LPR/LPD 印刷、Direct 印刷、Raw（Port9100）印刷、Web サービス印刷
- Macintosh から AppleTalk、Bonjour を使用した印刷
- IPP（Internet Printing Protocol）印刷
- Novell NetWare を使用した印刷

2.3.2 USB で接続する

イメージコントローラーとコンピューターとを USB ポートを使って接続できます。

2.4 イメージコントローラーの仕様

型式

型式 : KONICA MINOLTA コピー機への内蔵型

機能

解像度 : プリント : 1200 x 1200 dpi
600 × 600 dpi
スキャン : 200 dpi、300 dpi、400 dpi、600 dpi、1200 dpi

階調数 : 1 bit

プリント可能領域 : 定型紙 : 上下左右一律 余白 3.18 mm
不定型紙 : 幅 95 - 314mm
長さ 133 - 463mm

プリント設定枚数 : 1 ～ 9999

連続プリントスピード : bizhub PRO 1200/1200P :
120 ppm (A4、8.5 x 11) (2 部目以降)
bizhub PRO 1051 :
105 ppm (A4、8.5 x 11) (2 部目以降)

プリンター言語 : PCL5e/6、PostScript3

MetaFrame 動作環境 本ドライバーは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。

ServerOS: Windows 2000 Server/
Server 2003/Server 2008

MetaFrame: Citrix[®] MetaFrame XPR Presentation Server、Feature Release 3 Citrix[®] MetaFrame[®] Presentation Server 3.0

Client OS: Windows 2000/XP/Vista

ICAClient: ICA32bit

* 上記以外の構成での動作に関しては販売会社にお問い合わせください。

プリンタードライバー : Windows 用プリンタードライバー
Mac OS 9.2 用プリンタードライバー
Mac OS X 用プリンタードライバー

ネットワーク機能

対応プロトコル : TCP/IP、IPX/SPX、EtherTalk

対応 OS (NOS) : Novell NetWare (3.x、4.x-6)、Windows 2000、XP/Vista/Server 2003/Server 2008、Mac OS 9、Mac OS X

マルチプロトコル : 対応自動判別

対応印刷方式：	SMB 印刷 (TCP/IP)、LPD/LPR (TCP/IP)、Raw (Port9100、6 ポートまで設定可能)、IPP (TCP/IP)、Web サービス印刷 (TCP/IP)、Bonjour (TCP/IP)、Pserver (IPX/SPX)、NPrinter/RPrinter (IPX/SPX)、AppleTalk (EtherTalk)
対応 Web ブラウザ：	Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨 *(JavaScript 有効)、 Mozilla FireFox 1.0 以降 (JavaScript 有効、cookie 有効)、 Netscape Navigator Ver.7.02 以降 (JavaScript 有効、cookie 有効) Flash Player Ver.7.0 以降 (Flash 形式でご覧頂く場合) * Internet Explorer Ver.5.5 を使用している場合、Microsoft XML Parser (MSXML) 3.x のインストールが必要

用紙

用紙：	コピー機に同じ
対応紙種：	コピー機に同じ

機械諸元

CPU：	Pentium M 2.0GHz (Memory Access Speed 533MHz)
メモリー：	2GB (標準)
電源：	コピー機から取得
ネットワークインターフェイス：	Ethernet (1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T)

使用環境

温度：	コピー機に同じ
湿度：	コピー機に同じ

2.4.1 限定条件：

プリンターモードでもコピー機のウィークリータイマー機能は使用できませんが、画像メモリーにプリントデータが残っていると、そのデータを出力し終るまでは電源は OFF になりません。



... ご注意)

仕様は改良のため、予告なく内容を変更することがありますのでご了承ください。

3 プリンタードライバのインストール (Windows) (インストーラーによる簡易インストール)

本インストーラーを利用すると、コンピュータと同じ TCP/IP ネットワーク上のコピー機や、USB で接続しているコピー機が自動的に検出され、プリンタードライバがインストールされます。また接続先を手動でインストールすることも出来ます。



... ご注意

本章でインストールできるプリンタードライバは、「PCL ドライバ」のみです。

対応 OS については、「プリンタードライバについて」(p. 2-2) を参照してください。

「PostScript PPD」、もしくは手動でプリンタードライバをインストールする場合は、「プリンタードライバのインストール (Windows) (プリンタの追加ウィザードによる手動インストール)」(p. 4-1) を、また Macintosh にプリンタードライバをインストールする場合は、「プリンタードライバのインストール (Macintosh)」(p. 5-1) をそれぞれ参照してください。

プリンタードライバをインストール

- 1 「Driver CD」をパソコンの CD-ROM トレイに入れます。

インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。



... ご注意

インストーラーが起動しない場合は、ドライバー CD-ROM 内のプリンターフォルダーを開いて、32bit 版 OS の場合は "Setup.exe" を、64bit 版 OS の場合は "Setup64.exe" をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。

Windows Vista/Server 2008 にインストールする場合、「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは「許可」または「続行」をクリックします。

- 2 「プリンターのインストール」 - 「PCL」をクリックします。

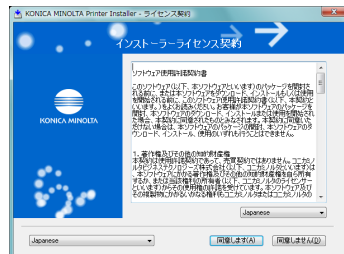
- 3 使用許諾契約書を確認し、[同意します] をクリックします。

[セットアップ内容の選択] ウィンドウが表示されます。



ご注意)

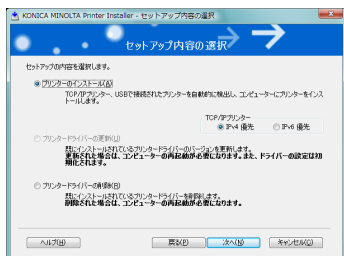
画面右下のプルダウンメニューから使用許諾書の表示言語を変更できます。



ここでは、Windows Vista の画面を使用しております。

- 4 [プリンターのインストール] を選択し、[次へ] をクリックします。

[インストールするプリンター / 複合機の選択 / 指定] ウィンドウが表示されます。

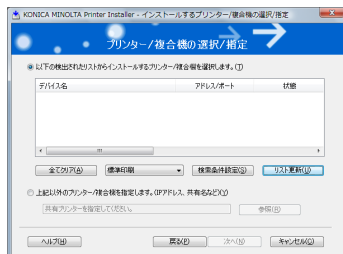


- 5 コピー機の選択をし、インストールを行います。選択する方法として、2 通りあります。

検出されたリストからインストールする方法

コピー機が検出されると、下記画面のようにドライバー名 (KONICA MINOLTA 1200/1051 PCL) が表示されますので、[以下の検出されたリストからインストールするプリンター / 複合機を選択します] を選択し、ドライバー名左のチェックボックスを ON にし、[次へ] をクリックします。

[インストール内容の確認] ウィンドウが表示されます。





...

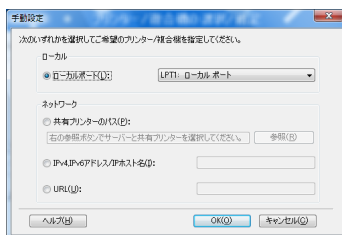
ご注意)

コピー機が検出されない場合は、コピー機の電源を OFF/ON してください。電源を OFF にした後、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

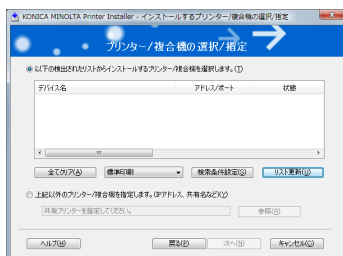
手動で指定する場合

コピー機の接続が認識できない、もしくは手動で指定する場合は、[上記以外のプリンター / 複合機を指定します] を選択し、[参照] をクリックしてください。

[手動設定] ウィンドウが表示されます。



[共有プリンターのパス]、[IP アドレス]、[IP ホスト名]、[ローカルポート] いずれかを選択し、入力してください。入力が終わりましたら、[OK] をクリックしてください。



[インストールするプリンター / 複合機の選択 / 指定] ウィンドウが再度表示されますので、[次へ] をクリックしてください

[インストール内容の確認] ウィンドウが表示されます。

- 6 インストール内容が表示されますので、確認し、[インストール] をクリックしてください。

プリンタードライバーがインストールされ、[インストールの完了] ウィンドウが表示されます。

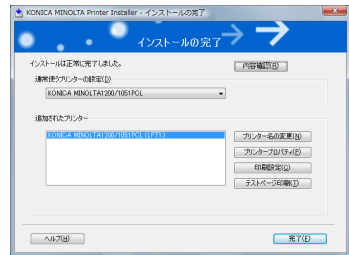
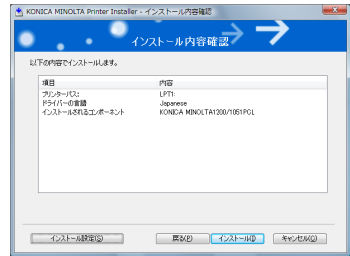


...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

- 7 [完了] をクリックして、インストールは終了します。



...

ワンポイントアドバイス)

プリンタードライバーの内容を再度確認したい場合「内容確認」

プリンター名を変更したい場合「プリンター名の変更」

プリンターのプロパティを見たい場合は「プリンタープロパティ」

印刷設定を見たい場合は「印刷設定」

テストページを行いたい場合は「テストページ印刷」

をそれぞれクリックしてください。

4 プリンタードライバーのインストール (Windows) (プリンタの追加ウィザードによる手動インストール)

本章では、Windows 対応コンピューターにインストーラーを利用せず、Windows 標準のプリンター追加機能で Windows プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

4.1 対応 OS

プリンタードライバーは、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

Windows	プリンタードライバーのインストール
Windows Vista/Server 2008	"Windows Vista/Server 2008" (4-2 ページ)
Windows XP/Server 2003	"Windows XP/Server 2003" (4-20 ページ)
Windows 2000	"Windows 2000" (4-32 ページ)

* プリンタードライバーは「Driver CD」に含まれています。

4.2 Windows Vista/Server 2008

4.2.1 ネットワーク接続 (Port9100/LPR/SMB) の場合

Windows Vista/Server 2008 では、ネットワーク上のプリンターを検索してインストールすることも、プリンターポートを作成してインストールすることも出来ます。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、コピー機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号 (初期設定では「9100」) を使用可能にしておきます。RAW ポート番号の設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、コピー機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。LPD 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバをインストール



...

ご注意)

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。



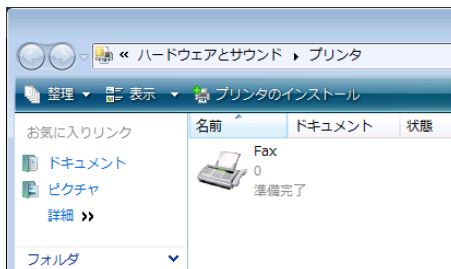
...

ご注意)

「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします

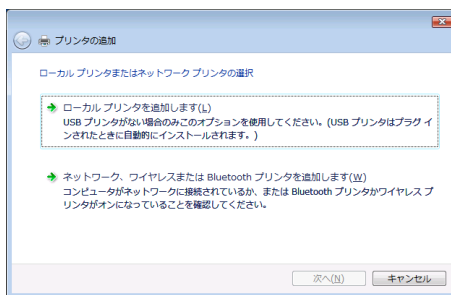
- 3 [ハードウェアとサウンド] の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。

4 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

5 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。



接続されているプリンターが検出されます。

6 ポートに合わせて設定を変更し、「OK」をクリックします。

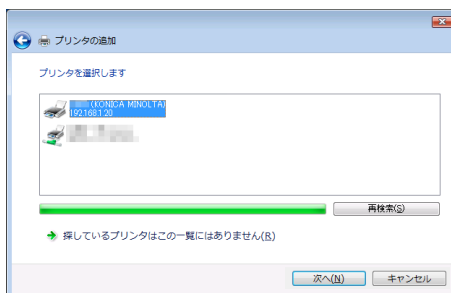
- Port9100/LPR 接続の場合は、IP アドレスのプリンターを選択します。
- SMB 印刷の場合は、[¥¥NetBIOS 名 ¥¥プリントサービス名] のプリンターを選択します。



...

ご注意)

すべてのプリンターを検索するまでに時間がかかる場合があります。



- 7 [ディスク使用] をクリックします。
- 8 [参照] をクリックします。
- 9 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



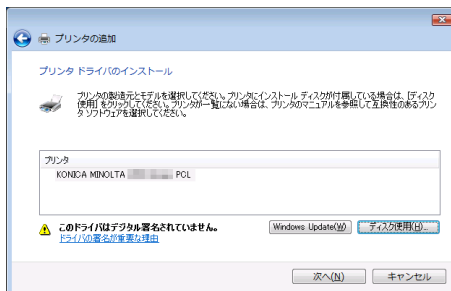
...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 10 [OK] をクリックします。
[プリンタ] リストが表示されます。

11 [次へ] をクリックします。



12 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

13 [完了] をクリックします。

14 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

【プリンタの追加】でポートを作成してプリンタードライバーをインストール



...
ご注意)

インストールする時は、管理者権限が必要です。

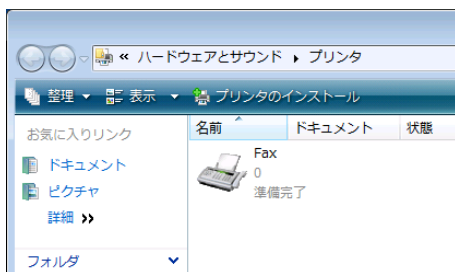
- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。



...
ご注意)

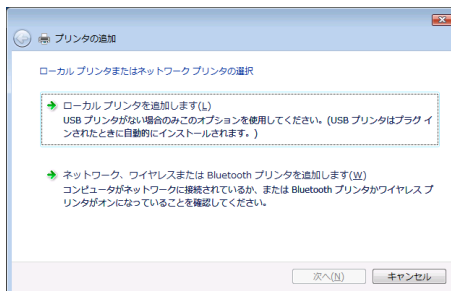
「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします

- 3 [ハードウェアとサウンド] の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。
- 4 ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。



【プリンタの追加】が表示されます。

5 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。



プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。

- Port9100/LPR 接続の場合は、[Standard TCP/IP Port] を選択します。
- SMB 接続の場合は、[Local Port] を選択します。

7 「次へ」をクリックします。

8 IP アドレスやポートを設定します。

- Port9100/LPR 接続の場合は、[TCP/IP デバイス] を選択し、IP アドレスを入力します。
- SMB 印刷の場合は、[ポート名] ボックスに [¥¥NetBIOS 名 ¥ プリントサービス名] を入力します。



ワンポイントアドバイス)

NetBIOS 名とプリントサービス名は、コピー機の [SMB 設定] の [プリント設定] と同じ名前を入力してください。

9 「次へ」をクリックします。

- [ポート情報がさらに必要です] 画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
- プリンタードライバーのインストールダイアログボックスが表示される場合は、手順 13 へ進みます。

10 [カスタム] をチェックし、[設定] をクリックします。

11 ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- Port9100 の場合は、[RAW] をチェックし、[ポート番号] ボックスに RAW ポート番号を (初期設定では [9100]) を入力します。

- LPR 接続の場合は、[LPR] をチェックし、[キュー名] ボックスに [Print] と入力します。



...

ご注意)

大文字、小文字を正確に入力する必要があります。

- 12** [次へ] をクリックします。

プリンタードライバーのインストールダイアログボックスが表示されます。

- 13** [ディスク使用] をクリックします。

- 14** [参照] をクリックします。

- 15** [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

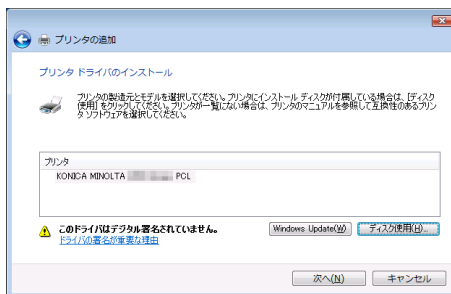
ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 16** [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

- 17** [次へ] をクリックします。



- 18** 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

19 [完了] をクリックします。

20 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.2.2 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の IPP 設定

コピー機の「IPP 設定」IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IPP 設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

IPPS 印刷を利用する場合は、コピー機に証明書を登録しておく必要があります。詳細はユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール



...

ご注意

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「コントロールパネル」をクリックします。



...

ご注意

「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

[ハードウェアとサウンド] の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。

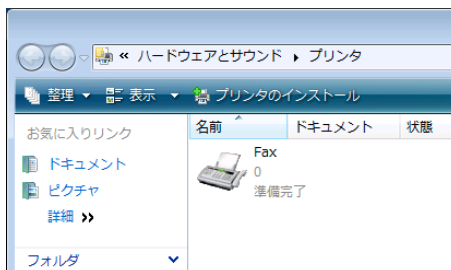


...

ご注意

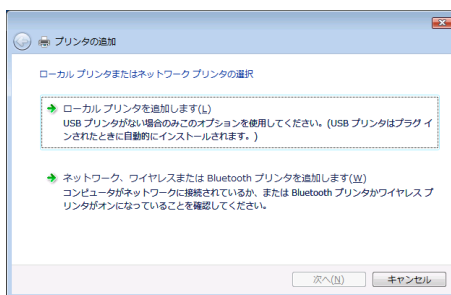
[コントロールパネル] がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

- 3 ツールバーの「プリンタのインストール」をクリックします。



「プリンタの追加」が表示されます。

- 4 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。



接続されているプリンターが検出されます。

- 5 検索された画面で、「探しているプリンタはこの一覧にはありません」をクリックします。
- 6 「共有プリンタを名前を選択する」ボックスに、以下の形式で、コピー機の URL を入力し、「次へ」をクリックします。
- `http:// <コピー機の IP アドレス> /ipp`
 例：コピー機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
`http://192.168.1.20/ipp`



...

ご注意)

IPPS 印刷に設定するときは「`https:// <コピー機の IP アドレス> /ipp`」を入力してください。この場合は、インストール途中でユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されます。

「プリンタの追加ウィザード」が表示されます。

- 7 [ディスク使用] をクリックします。
- 8 [参照] をクリックします。
- 9 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 10 [OK] をクリックします。
[プリンタ] リストが表示されます。
- 11 [次へ] をクリックします。
- 12 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

- 13 [完了] をクリックします。
- 14 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 15 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.2.3 ネットワーク接続 (Web サービスプリント) の場合

Windows Vista/Server 2008 では、ネットワーク上にある Web サービスプリント対応のプリンターを検索してインストールすることが出来ます。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の Web サービス設定

Web サービスプリントを利用する場合は、コピー機の [Web サービス設定] でプリント機能を使用可能にしておきます。Web サービス設定については、[ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編)] をご覧ください。

■ ネットワークウィンドウからプリンターをインストール



...

ご注意)

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 コピー機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。インストール途中でプリンターを検索するため、コピー機をネットワークに接続した状態にしてください。
- 2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で、[ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。
- 3 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 4 [スタート] をクリックして、「ネットワーク」をクリックします。「ネットワーク」ウィンドウが開き、接続されているコンピューターとデバイスが検索されます。
- 5 コピー機のデバイス名を選択し、ツールバーの「インストール」をクリックします。選択した Web サービスプリント対応プリンターが検索され、「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。検索方法を確認する画面が表示されます。

- 7 「オンラインで検索しません」をクリックします。
- 8 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)」をクリックします。
- 9 [参照] をクリックします。
- 10 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 11 [OK] をクリックします。
[プリンタ] リストが表示されます。
- 12 [次へ] をクリックします。
- 13 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

- 14 [閉じる] をクリックします。
- 15 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 16 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

■ [プリンタの追加] で IP アドレスを指定してプリンタードライバーをインストール



ご注意)

インストールする時は、管理者権限が必要です。

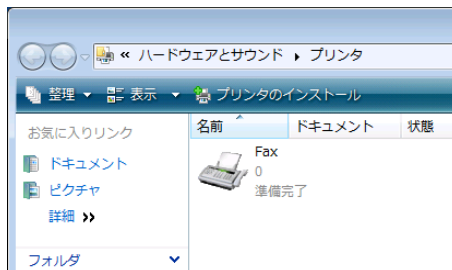
- 1 コピー機をネットワークに接続した状態で電源を ON にします。インストール途中でプリンターを検索するため、コピー機をネットワークに接続した状態にしてください。
- 2 Web サービスプリントを利用する場合は、コンピューターの [ネットワークと共有センター] で、[ネットワーク探索] が有効になっていることを確認します。
- 3 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 4 [スタート] をクリックして、[コントロールパネル] をクリックします。
- 5 [ハードウェアとサウンド] の「プリンタ」をクリックします。「プリンタ」ウィンドウが開きます。



ご注意)

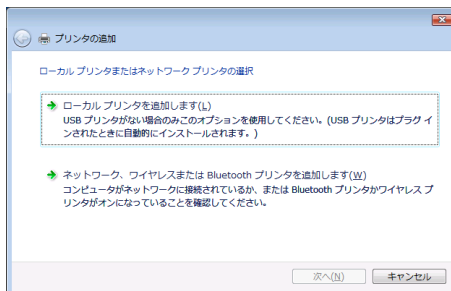
「コントロールパネル」がクラシック表示になっている場合は、「プリンタ」をダブルクリックします。

- 6 ツールバーの [プリンタのインストール] をクリックします。



[プリンタの追加] が表示されます。

7 「ローカルプリンタを追加します」をクリックします。



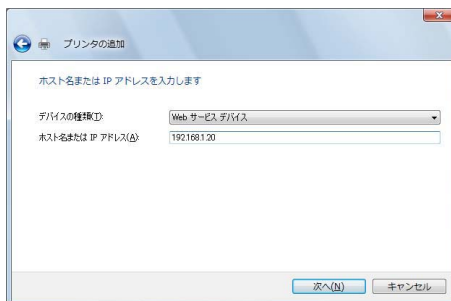
プリンタポートの選択ダイアログボックスが表示されます。

8 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類を選択します。

○ 「Standard TCP/IP Port」を選択します。

9 「次へ」をクリックします。

10 「Web サービスデバイス」を選択し、IP アドレスを入力します。



入力した IP アドレスの Web サービスプリント対応プリンターが検索され、[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されます。

11 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。

12 「オンラインで検索しません」をクリックします。

13 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)」をクリックします。

14 「参照」をクリックします。

15 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

16 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

17 [次へ] をクリックします。

18 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

19 [閉じる] をクリックします。

20 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

21 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.2.4 ローカル印刷の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールすることが出来ます。

- 1 コピー機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

- 2 コピー機の主電源を入れます。

「新しいハードウェアが見つかりました」ダイアログが表示されます。



...

ワンポイントアドバイス

「新しいハードウェア」ダイアログが表示されない場合は、コピー機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

- 3 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 4 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (詳細)] をクリックします。
 - 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。
- 5 [次の場所で最適のドライバーを検索する] から「次の場所を含める」を選択し、[参照] をクリックします。

- 6 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します。



...

ご注意

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 7 [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

- 8 [完了] をクリックします。
- 9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 10 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.3 Windows XP/Server 2003

4.3.1 ネットワーク接続 (Port9100/LPR) の場合

Port9100/LPR 印刷を利用する場合は、プリンタードライバをインストールする途中でポートを設定します。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、コピー機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号 (初期設定では「9100」) を使用可能にしておきます。RAW ポート番号の設定についてはユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、コピー機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。LPD 設定については、ユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバをインストール



ご注意

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



ご注意

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
 - Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルク

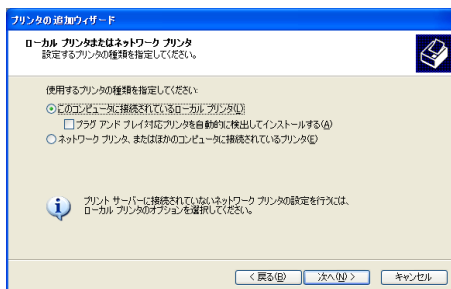
リックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

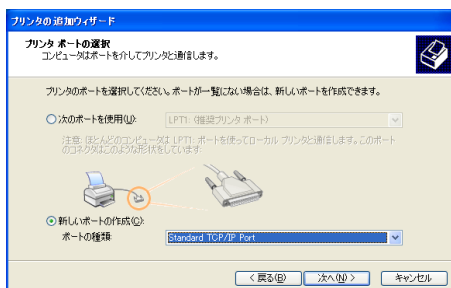
4 「次へ」をクリックします。

5 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、
「次へ」をクリックします。

- 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。



7 「次へ」をクリックします。

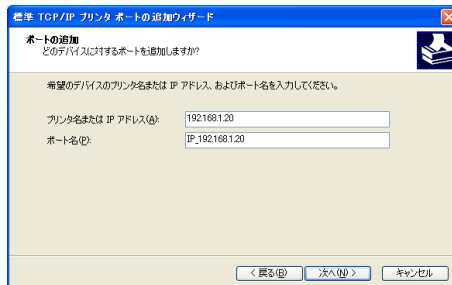
「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」が起動します。

8 「次へ」をクリックします。

9 「プリンタ名またはIPアドレス」にコントローラーのIPアドレスを入力し、
「次へ」をクリックします。

- [ポート情報がさらに必要です] 画面が表示される場合は、手順 10へ進みます。

- [完了] 画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。



- 10 [カスタム] をチェックし、[設定] をクリックします。

- 11 ポートに合わせて設定を変更し、[OK] をクリックします。

- Port9100 の場合は、[RAW] をチェックし、[ポート番号] ボックスに RAW ポート番号を (初期設定では [9100]) を入力します。
- LPR 接続の場合は、[LPR] をチェックし、[キュー名] ボックスに [Print] と入力します。



...

ご注意)

大文字、小文字を正確に入力する必要があります。

- 12 [次へ] をクリックします。

- 13 [完了] をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

- 14 [ディスク使用] をクリックします。

- 15 [参照] をクリックします。

- 16 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

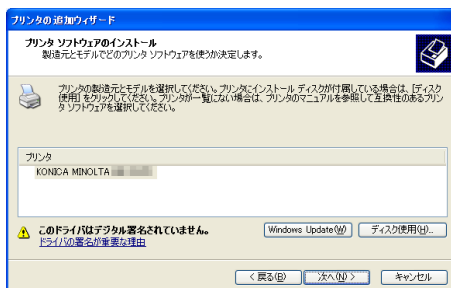
ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

17 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

18 [次へ] をクリックします。



19 画面の指示にしたがって操作します。



...
ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

20 [完了] をクリックします。

21 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.3.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。プリンターはネットワークを検索して選択することも、直接プリンター名を入力することも出来ます。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の SMB 設定

コピー機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。SMB 設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバをインストール



...

ご注意)

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



...

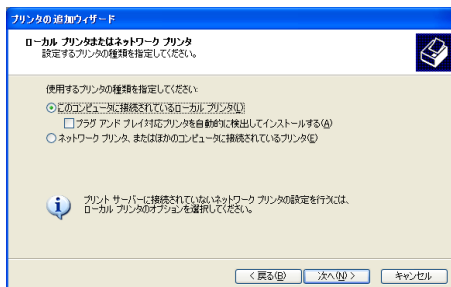
ご注意)

[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

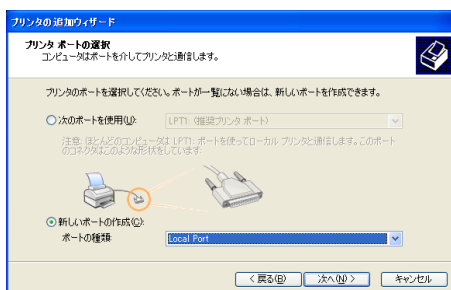
- 3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
 - Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、

[次へ] をクリックします。

- 「プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックは外しておきます。



- 6 [新しいポート作成] をクリックし、ポートの種類で [Local Port] を選択します。



- 7 [ポート名] ボックスに [\\NetBIOS 名 \ プリントサービス名] を入力します。
- 8 [OK] を入力します。
[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。
- 9 [ディスク使用] をクリックします。
- 10 [参照] をクリックします。
- 11 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

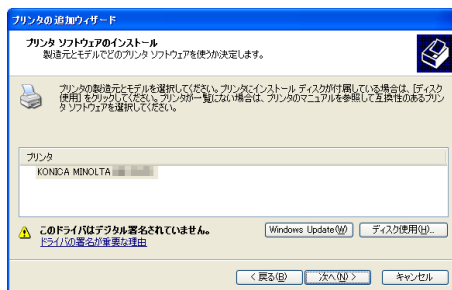
ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

12 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

13 [次へ] をクリックします。



14 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ロゴテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

15 [完了] をクリックします。

16 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに表示されていることを確認します。

17 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.3.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の IPP 設定

コピー機の「IPP 設定」IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IPP 設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

IPPS 印刷を利用する場合は、コピー機に証明書を登録しておく必要があります。詳細はユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール



...

ご注意)

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。



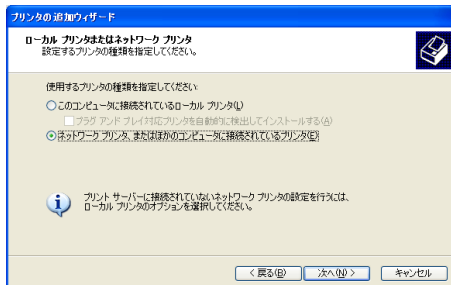
...

ご注意)

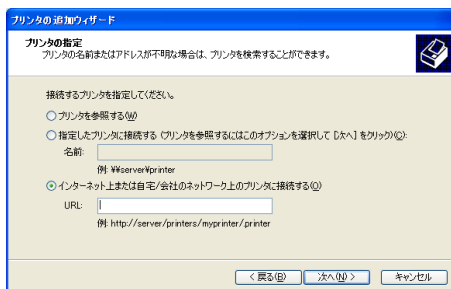
[スタート] メニューに「プリンタと FAX」が表示されていない場合は、[スタート] メニューから「コントロールパネル」を開き、「プリンタとその他のハードウェア」を選び、さらに「プリンタと FAX」を選びます。

- 3 Windows XP の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。
 - Windows Server 2003 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。「プリンタの追加ウィザード」が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。

5 「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。



6 [プリンタの指定] 画面で、[インターネットまたは自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択します。



7 「URL」 フィールドに、以下の形式で、コピー機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。

- http:// <コピー機の IP アドレス> /ipp
例：コピー機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/ipp



...

ご注意

IPPS 印刷に設定するときには「https:// <コピー機の IP アドレス> /ipp」を入力してください。この場合は、インストール途中でユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されます。

[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

8 [ディスク使用] をクリックします。

9 [参照] をクリックします。

10 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開

く] をクリックします。

- 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

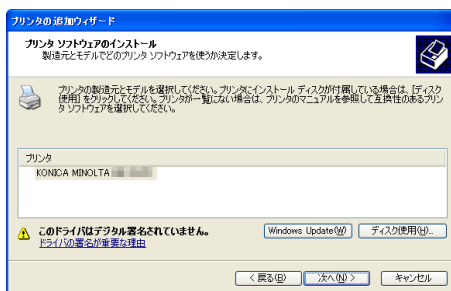
ご注意

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

11 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

12 [次へ] をクリックします。



13 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

14 [完了] をクリックします。

15 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタと FAX] ウィンドウに表示されていることを確認します。

16 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.3.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールすることが出来ます。

- 1 コピー機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

- 2 コピー機の主電源を入れます。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログが表示されます。



...

ワンポイントアドバイス)

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログが表示されない場合は、コピー機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

- 3 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 4 [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - 「Windows アップデートに接続する」画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。
- 5 [次の場所で最適のドライバーを検索する] から [次の場所を含める] を選択し、[参照] をクリックします。
- 6 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 7 [次へ] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[Windows ログテスト]、[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[続行] または [はい] をクリックします。

- 8 [完了] をクリックします。
- 9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 10 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.4 Windows 2000

4.4.1 ネットワーク接続 (Port9100/LPR) の場合

Port9100/LPR 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の RAW ポート番号設定

Port9100 印刷を利用する場合は、コピー機の「TCP/IP 設定」で RAW ポート番号 (初期設定では「9100」) を使用可能にしておきます。RAW ポート番号の設定についてはユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の LPD 設定

LPR 印刷を利用する場合は、コピー機の「LPD 設定」で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。LPD 設定については、ユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール

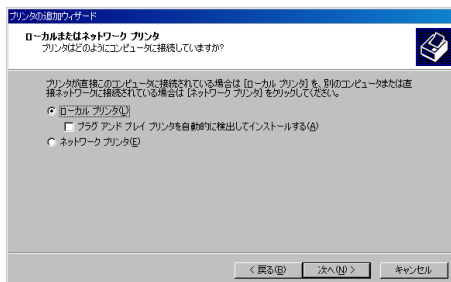


ご注意

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、[設定] - [プリンタ] をクリックします。
- 3 [プリンタの追加] をダブルクリックします。
[プリンタの追加ウィザード] が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [ローカルまたはネットワークプリンタ] 画面で、[ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインス

「ツールする」のチェックは外しておきます。



「プリンタポートの選択」ダイアログボックスが表示されます。

- 6 「新しいポートの作成」をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。
- 7 「次へ」をクリックします。
[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] が起動します。
- 8 「次へ」をクリックします。
- 9 「プリンタ名または IP アドレス」にコントローラーの IP アドレスを入力し、「次へ」をクリックします。
 - [ポート情報がさらに必要です] 画面が表示される場合は、手順 10 へ進みます。
 - [完了] 画面が表示される場合は、手順 13 へ進みます。
- 10 [カスタム] をチェックし、「設定」をクリックします。
- 11 ポートに合わせて設定を変更し、「OK」をクリックします。
 - Port9100 の場合は、「RAW」をチェックし、「ポート番号」ボックスに RAW ポート番号を (初期設定では [9100]) を入力します。
 - LPR 接続の場合は、「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに [Print] と入力します。



...

ご注意)

大文字、小文字を正確に入力する必要があります。

- 12 「次へ」をクリックします。
- 13 「完了」をクリックします。

[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

14 [ディスク使用] をクリックします。

15 [参照] をクリックします。

16 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。

- 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

17 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

18 [次へ] をクリックします。

19 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[はい] をクリックします。

20 [完了] をクリックします。

21 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

22 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.4.2 ネットワーク接続 (SMB) の場合

SMB 印刷を利用する場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でプリンターを指定してポートを設定します。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の SMB 設定

コピー機の「SMB 設定」の「プリント設定」で NetBIOS 名、プリントサービス名、ワークグループを設定しておきます。SMB 設定についてはユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール



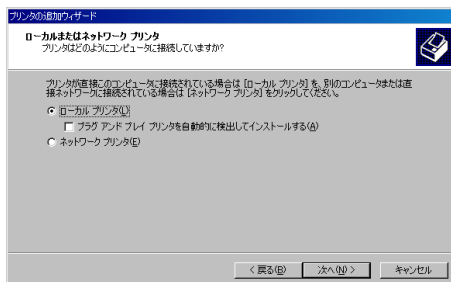
...

ご注意)

インストールする時は、*管理者権限*が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、[設定] - [プリンタ] をクリックします。
- 3 [プリンタの追加] をダブルクリックします。[プリンタの追加ウィザード] が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [ローカルまたはネットワークプリンタ] 画面で、[ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
 - 「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインス

「ツールする」のチェックは外しておきます。



[プリンタポートの選択] ダイアログボックスが表示されます。

- 6 [新しいポートの作成] をクリックし、ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択します。
- 7 [次へ] をクリックします。
[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] が起動します。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 [ポート名] ボックスに [\\NetBIOS 名 \ プリントサービス名] を入力します。
- 10 [開く] をクリックします。
[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。
- 11 [ディスク使用] をクリックします。
- 12 [参照] をクリックします。
- 13 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



ご注意

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 14 [OK] をクリックします。

[プリンタ] リストが表示されます。

15 [次へ] をクリックします。

16 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[はい] をクリックします。

17 [完了] をクリックします。

18 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。

19 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。

これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.4.3 ネットワーク接続 (IPP/IPPS) の場合

IPP 印刷の場合は、プリンタードライバーをインストールする途中でポートを設定します。

■ コントローラーの TCP/IP 設定

コントローラーの「TCP/IP 設定」で IP アドレスを設定しておきます。IP アドレスの設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

■ コピー機の IPP 設定

コピー機の「IPP 設定」IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。IPP 設定についてはユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

IPPS 印刷を利用する場合は、コピー機に証明書を登録しておく必要があります。詳細はユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンタの追加ウィザードによりプリンタードライバーをインストール



...

ご注意

インストールする時は、管理者権限が必要です。

- 1 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 2 [スタート] をクリックして、[設定] - [プリンタ] をクリックします。
- 3 [プリンタの追加] をダブルクリックします。[プリンタの追加ウィザード] が起動します。
- 4 [次へ] をクリックします。
- 5 [ローカルまたはネットワークプリンタ] 画面で、[ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 [プリンタの検索] 画面で、[インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] を選択します。
- 7 「URL」フィールドに、以下の形式で、コピー機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。
 - http:// <コピー機の IP アドレス> /ipp
 - 例：コピー機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

http://192.168.1.20/ipp



...

ご注意)

IPPS 印刷に設定するときには「https:// <コピー機の IP アドレス> / ipp」を入力してください。この場合は、インストール途中でユーザー名とパスワードを確認する画面が表示されます。

- 8 確認のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
- 9 [ディスク使用] をクリックします。
- 10 [参照] をクリックします。
- 11 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 12 [OK] をクリックします。
[プリンタ] リストが表示されます。
- 13 [OK] をクリックします。
- 14 画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[はい] をクリックします。

- 15 [完了] をクリックします。
- 16 インストール後、インストールしたプリンターアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 17 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.4.4 ローカル接続の場合

USB ポートで接続する場合は、プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールすることが出来ます。

- 1 コピー機とコンピューターを USB ケーブルで接続後、コンピューターを起動します。

- 2 コピー機の主電源を入れます。

[新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログが表示されます。



...

ワンポイントアドバイス)

[新しいハードウェアの検出ウィザード] ダイアログが表示されない場合は、コピー機の電源を OFF/ON してください。

電源を OFF/ON するときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

- 3 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 4 [デバイスに最適なドライバを検索する (詳細)] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 5 [場所の指定] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 [Driver CD] 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバー (PCL、PostScript PPD) を選択します



...

ご注意)

CD-ROM 内の構成については、「付属 CD-ROM について (bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM)」(p. 1-11) を参照してください。

- 7 [OK] をクリックし、画面の指示にしたがって操作します。



...

ご注意)

[デジタル署名] に関する画面が表示される場合は、[はい] をクリックします。

- 8 [完了] をクリックします。
- 9 インストール終了後、インストールしたプリンターアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。
- 10 [Driver CD] を CD-ROM ドライブから取り出します。
これで、プリンタードライバーのインストールが完了しました。

4.5 テスト印刷をして確認する

プリンタードライバーのインストールを行った後、Windows 標準のテストページを印刷することで、プリンタードライバーが正しくインストールされたかどうかを確認することができます。

テストページを印刷するには

- 1 タスクバーの [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。
 - Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
 - Windows 2000 の場合は、[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

- 2 [プリンタ] ウィンドウのプリンターアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

[KONICA MINOLTA 1200/1051 PCL] または、[KONICA MINOLTA 1200/1051PS (P)] ウィンドウが表示されます。



...

ご注意)

プロパティウィンドウはご使用の OS によって表示が異なります。



...

ご注意)

プロパティウィンドウの開き方は、各 OS によって異なります。各 OS のプロパティウィンドウの開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

- 3 [KONICA MINOLTA 1200/1051 PCL] または、[KONICA MINOLTA 1200/1051PS (P)] の [全般] タブを選択し、[テストページの印刷] をクリックします。

テストページの印刷が始まり、印刷終了の確認画面が表示されます。

- 4 正しく印刷されたことを確認し、[はい] をクリックします。

テストページの印刷を終了します。



...

ご注意)

テストページがプリントできない場合は、本プリンティングシステムの状態を確認してください。

5 プリンタードライバーのインストール (Macintosh)

本章では、Macintosh を使用する場合に必要な設定と Macintosh 用プリンタードライバーをインストールする操作を説明します。

5.1 対応 OS

プリンタードライバーは、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

Macintosh	プリンタードライバーのインストール
Mac OS X	"Mac OS X(10.2/10.3/10.4/10.5)" (5-2 ページ)
Mac OS 9	"Macintosh にインストールする (Mac OS 9) " (5-16 ページ)

* プリンタードライバーは「Driver CD」を使用します。

5.2 Mac OS X(10.2/10.3/10.4/10.5)

5.2.1 プリンタードライバーのインストール

- 1 Macintosh を起動します。



ご注意

アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

- 2 [Driver CD] をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
- 3 CD-ROM 内のプリンタードライバーフォルダーを指定し、[開く] をクリックします。
 - 使用するプリンタードライバーを OS のバージョンに応じて選択し、デスクトップにコピーします。
 - OS 10.2 : KONICAMINOLTA_1200_102.pkg
 - OS 10.3/10.4 : KONICAMINOLTA_1200_103.pkg
 - OS 10.5 : KONICAMINOLTA_1200_105.pkg



ご注意

CD-ROM 内の構成については、" 付属 CD-ROM について (Mac 用 bizhub PRO 1200/1200P/1051 Driver CD-ROM) " (1-12 ページ) を参照してください。

また OS 10.5 はデバイスの環境に応じて、[A4] もしくは [Letter] いずれかのフォルダに保存されているファイルをご使用ください。



ご注意

[A4]、[Letter] の違いは、以下の通りです。機能に違いはありません。

- PS エラーが発生した場合、出力する際用の用紙サイズ
 - 範囲外のカスタム用紙サイズが選択された場合に、自動で変更されて出力される用紙サイズ
 - OS が表示する禁則メッセージの解決用の出力用紙サイズ
- 4 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。
 - [インストール] 画面が表示されるまで、画面の指示にしたがっ

て [続ける] をクリックします。

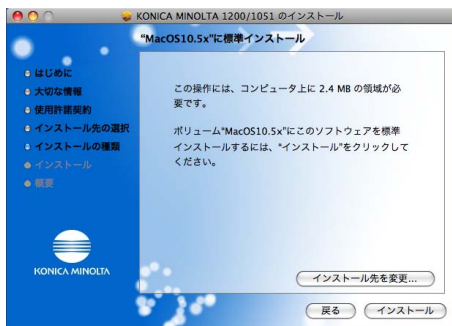


...

ご注意

途中、管理者名とパスワードを要求されますので入力してください。
管理者名とパスワードはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 5 [インストール] をクリックします。プリンタードライバーがコンピューターにインストールされます。



- 6 [閉じる] をクリックします。



以上で、プリンタードライバーのインストールは完了です。

5.2.2 プリンターの選択と接続 (OS 10.4/10.5)

OS 10.4/10.5 は、Bonjour、AppleTalk、LPR(LPD)、IPP で接続できません。

コピー機のネットワーク設定を行ったあと、[プリントとファクス] で使用するプリンターとして選択すると、印刷が可能になります。

■ Bonjour を設定する

コピー機の Bonjour 設定

コピー機の [Bonjour 設定] で Bonjour を [有効] に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。

コピー機の Bonjour 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 接続されているプリンターが検出されますので、[デフォルト (ブラウザ)] タブから目的のプリンター名と種類 (接続) (Bonjour) を選択します。
- 5 OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA1200/1051 PS(P)] を選択し、[追加] をクリックします。
 - OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA1200/1051PS(P)] を選択して [追加] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 6 [インストール可能なオプション] が表示されますので、コピー機に装着しているオプションを選択し、[続ける] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

オプションは、[プリントとファクス] 画面で、該当するプリンター名を選び、OS10.5 では [オプションとサプライ] - [ドライバ] タブ、OS10.4 では [プリンタ設定...] - [インストール可能なオプション] タブでも同様に設定することが出来ます。

7 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

■ AppleTalk を設定する

コピー機の AppleTalk 設定

コピー機の [AppleTalk 設定] で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

コピー機の AppleTalk 設定については、ユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) をごらんください。

コンピュータ (Macintosh) の AppleTalk 設定

接続している Macintosh で AppleTalk を設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選択し、[詳細 (設定)] をクリックします。
- 4 [AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk を有効にする (AppleTalk 使用)] チェックボックスを ON にします。
- 5 OS 10.5 では [OK] をクリックします。
- 6 [(今すぐ) 適用] をクリックします。
- 7 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

[このサービスには未保存の変更があります] というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 接続されているプリンターが検出されますので、[デフォルト (ブラウザ)] タブから目的のプリンター名と種類 (接続) (AppleTalk) を選択します。



ワンポイントアドバイス

OS 10.5 では、[AppleTalk] タブからでも設定が可能で、画面上に検出されたプリンターから目的のプリンター名を選択します。

- 5 OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA1200/1051 PS(P)] を選択し、[追加] をクリックします。
 - OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA1200/1051PS(P)] を選択して [追加] をクリックします。



ワンポイントアドバイス

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 6 [インストール可能なオプション] が表示されますので、コピー機に装着しているオプションを選択し、[続ける] をクリックします。



ワンポイントアドバイス

オプションは、[プリントとファクス] 画面で、該当するプリンター名を選び、OS10.5 では [オプションとサブライ] - [ドライバ] タブ、OS10.4 では [プリンタ設定...] - [インストール可能なオプション] タブでも同様に設定することが出来ます。

- 7 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

コピー機の TCP/IP 設定

コピー機の IP アドレスを設定しておきます。

コピー機の LPD 設定

コピー機の [LPD 設定] で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

IP アドレスおよび LPR 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選択し、該当する [構成] を選択します。構成エリアから使用するコンピューターの IP アドレスの取得方法を選択します。
 - 必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。



ワンポイントアドバイス)

OS 10.5 では、[詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブからも IP アドレスなどを設定することができます。

- 4 [(今すぐ) 適用] をクリックします。
- 5 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。



ワンポイントアドバイス)

[このサービスには未保存の変更があります] というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 [IP (プリンタ)] タブをクリックし、[プロトコル] を [LPD(Line Printer Daemon)] に設定します。
- 5 [アドレス] に出力デバイスの IP アドレスを入力します。
- 6 OS 10.5 では、画面下の [ドライバ] で [使用するドライバを選択...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA1200/1051 PS(P)] を選択し、[追加] をクリックします。
 - OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA1200/1051PS(P)] を選択して [追加] をクリックします。



...

ワンポイントアドバイス

OS 10.5 では、検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。

- 7 [インストール可能なオプション] が表示されますので、コピー機に装着しているオプションを選択し、[続ける] をクリックします。



...

ワンポイントアドバイス

オプションは、[プリントとファクス] 画面で、該当するプリンター名を選び、OS10.5 では [オプションとサプライ] - [ドライバ] タブ、OS10.4 では [プリンタ設定...] - [インストール可能なオプション] タブでも同様に設定することが出来ます。

- 8 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

■ IPP を設定する

コピー機の TCP/IP および IPP 設定

コピー機の TCP/IP 設定

コピー機の IP アドレスを設定しておきます。

コピー機の IPP 設定

コピー機の [IPP 設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

IP アドレスおよび IPP 設定については、ユーザズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

コンピューターの TCP/IP 設定

接続している Macintosh で TCP/IP を設定します。

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。
- 3 [内蔵 Ethernet] を選択し、該当する [構成] を選択します。構成エリアから使用するコンピューターの IP アドレスの取得方法を選択します。
 - 必要であれば、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。



ワンポイントアドバイス

OS 10.5 では、[詳細] をクリックし、[TCP/IP] タブからも IP アドレスなどを設定することができます。

- 4 [適用] をクリックします。
- 5 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。



ワンポイントアドバイス

[このサービスには未保存の変更があります] というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 画面左下にある [＋] をクリックします。
- 4 [IP (プリンタ)] タブをクリックし、[プロトコル] を [IPP(Internet Printing Protocol)] に設定します。
- 5 [アドレス] に出力デバイスの IP アドレスを入力します。
- 6 [キュー] に [ipp] と入力します。
- 7 OS 10.5 では、[ドライバ] で [使用するドライバを選択 ...] を選択し、一覧表から [KONICA MINOLTA1200/1051 PS(P)] を選択し、[追加] をクリックします。
 - OS 10.4 では、[使用するドライバ] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA1200/1051PS(P)] を選択して [追加] をクリックします。



...

ワンポイントアドバイス

OS 10.5 では、*検索用のテキストボックス内に、[KONICA MINOLTA] と入力すれば、簡単にドライバーを見つけ出すことができます。*

- 8 [インストール可能なオプション] が表示されますので、コピー機に装着しているオプションを選択し、[続ける] をクリックします。



...

ワンポイントアドバイス

オプションは、[プリントとファクス] 画面で、該当するプリンター名を選び、OS10.5 では [オプションとサブライ]- [ドライバ] タブ、OS10.4 では [プリンタ設定・・・]- [インストール可能なオプション] タブでも同様に設定することが出来ます。

- 9 [プリントとファクス] に登録されると、設定は終了です。

5.2.3 プリンターの選択と接続 (OS 10.2/10.3)

OS 10.2/10.3 は、Rendezvous、AppleTalk、LPR (LPD)、IPP で接続できます。コピー機のネットワーク設定を行ったあと、「プリンタ設定ユーティリティ」で使用するプリンターとして選択すると、印刷できるようになります。(OS 10.4/10.5 に関する説明は、「プリンターの選択と接続 (OS 10.4/10.5)」(5-4 ページ) を参照してください)

■ Rendezvous 設定

コピー機の「Bonjour 設定」で Bonjour を使用可能に設定し、Bonjour 名を入力しておきます。Bonjour 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。



ワンポイントアドバイス)

Mac OS 10.2/10.3 では、「Bonjour」のことを「Rendezvous」と呼んでいます。

プリンターの追加

- 1 インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックして開きます。
- 2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、「追加」をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、「追加」をクリックします。
- 3 接続方法に「Rendezvous」を選択し、検出された目的のプリンター名を選択します。
- 4 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から「KONICA MINOLTA 1200/1051 PS(P)」を選択して「追加」をクリックします。

選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

■ AppleTalk 設定

コピー機の「AppleTalk 設定」で AppleTalk を使用可能に設定し、プリンター名を入力しておきます。

AppleTalk 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

コンピューター (Macintosh) の AppleTalk 設定

- 1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk 使用」チェックボックスを ON にします。
- 5 画面左上のクローズボタンをクリックします。
 - 「設定の変更を適用しますか？」というメッセージが表示されたら「適用」をクリックします。

プリンターの追加

- 1 インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックして開きます。
- 2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、「追加」をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、「追加」をクリックします。

接続されているプリンターが検出されます。
- 3 接続方法に「AppleTalk」を選択し、検出された目的のプリンター名を選択します。
- 4 「プリンタの機種」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から「KONICA MINOLTA 1200/1051 PS(P)」を選択して「追加」をクリックします。

選択したプリンターが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。

■ LPR を設定する

コピー機の TCP/IP 設定

コピー機の IP アドレスを設定しておきます。

コピー機の LPD 設定

コピー機の [LPD 設定] で LPD 印刷を使用可能に設定しておきます。

IP アドレスおよび LPR 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

コンピューター (Macintosh) の TCP/IP 設定

- 1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4 [TCP/IP] タブをクリックする。
- 5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6 画面左上のクローズボタンをクリックします。
 - [設定の変更を適用しますか?] というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある [プリンタ設定ユーティリティ] をダブルクリックして開きます。
- 2 [プリンタの追加] 画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 3 [IP プリント] をクリック (選択) します。
- 4 OS 10.3 では、[プリンタのタイプ] で [LPD/LPR] を選択します。
- 5 [プリンタの機種 (アドレス)] にコピー機の IP アドレスを入力します。

- 6 [プリンタの機種] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA 1200/1051 PS(P)] を選択して [追加] をクリックします。

選択したプリンターが [プリンタリスト] に登録されると、設定は終了です。

■ IPP を設定する

コピー機の TCP/IP 設定

コピー機の IP アドレスを設定しておきます。

コピー機の IPP 設定

コピー機の [IPP 設定] で IPP 印刷を使用可能に設定しておきます。

IP アドレスおよび IPP 設定については、ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編) を参照してください。

コンピューター (Macintosh) の TCP/IP 設定

- 1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。
- 2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。
- 3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。
- 4 [TCP/IP] タブをクリックする。
- 5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。
- 6 画面左上のクローズボタンをクリックします。
 - [設定の変更を適用しますか?] というメッセージが表示されたら [適用] をクリックします。

プリンターの追加

- 1 インストールされた「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある「プリンタ設定ユーティリティ」をダブルクリックして開きます。
- 2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加] をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加] をクリックします。
- 3 [IP プリント] をクリック (選択) します。
- 4 OS 10.3 では [プリンタのタイプ] で [IPP] を選択します。
- 5 [プリンタの機種 (アドレス)] にコピー機の IP アドレスを入力します。
- 6 [プリンタの機種] で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から [KONICA MINOLTA 1200/1051 PS(P)] を選択して [追加] をクリックします。

選択したプリンターが [プリンタリスト] に登録されると、設定は終了です。

5.3 Macintosh にインストールする (Mac OS 9)

Mac OS 9 への PPD ドライバーのインストールは、次の手順で行います。

- 1 コンピューターの電源を入れ、Macintosh を起動します。
→ 起動しているアプリケーションがあれば、すべて終了しておきます。
- 2 CD-ROM ドライブに [PS Driver CD] をセットします。
使用するドライバーおよび PPD ファイルは、Macintosh のモデル及び OS によって異なります。
- 3 Driver CD の [Drivers] - [AdobePS] - [OS9_X] フォルダを開きます。

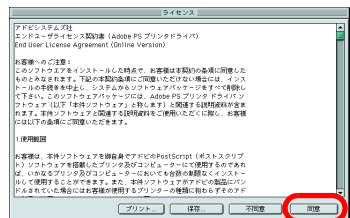


... ご注意)

本イメージコントローラーは、Mac OS 9.1 以前には、対応していません。

- 4 PPD ファイルをハードディスクにコピーします。
→ [KONICAMINOLTA1200JVxxx.ppd] を選択し、ご使用のコンピューターの [HDD] - [システムフォルダ] - [機能拡張] - [プリンタ記述ファイル] 内にコピーします。
- 5 [AdobePS 日本語版インストーラ] を選択し、ダブルクリックします。
ダイアログが表示されます。
- 6 [続ける] ([続行]) をクリックします。
[ライセンス] ダイアログが表示されます。
- 7 [同意] ([承諾]) をクリックします。

[AdobePS 日本語版インストーラ]
ダイアログが表示されます。





...

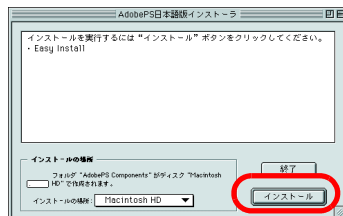
ご注意)

PS3 プリンティングシステムのプリンタードライバーをご利用いただくためには、ライセンスへの同意が必要になります。同意していただける場合は、[同意] をクリックして次へ進んでください。

- 8 [インストール] をクリックします。

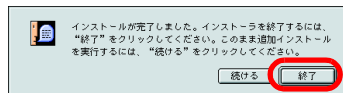
インストールを開始します。

インストールが終了すると、メッセージが表示されます。



- 9 [終了] をクリックします。

→ ひきつづき、「●セレクト」によるプリンターの選択を行います。



セレクトタによるプリンターの選択

- 1 [アップルメニュー] の [セレクトタ] を選択します。
- 2 [AppleTalk] 欄で [使用] が選択されていることを確認します。
- 3 [AdobePS] アイコンをクリックします。
- 4 [PostScript プリンタの選択] 一覧から、本プリンティングシステムのプリンターに該当するプリンター名をクリックします。

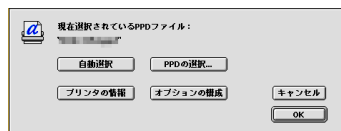


ご注意)

該当するプリンター名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 5 はじめて PS3 プリンティングシステムのプリンターを使用する場合は、[作成] をクリックします。

PPD ファイルは、CD-ROM からコピーした PPD ファイルを選択してください。



- 6 各項目の [▼] をクリックして、PS3 プリンティングシステムのプリンターの設定可能なオプションを設定します。
- 7 [OK] をクリックします。
[セレクトタ] ダイアログに戻ります。
- 8 [セレクトタ] ダイアログを閉じます。



ご注意)

プリンタードライバーをアップデートする場合、または再インストールする場合は、まず既存のプリンタードライバーを削除します。

プリンタードライバーの削除方法については、「Mac OS 9.2 の場合」(p. 6-8) を参照してください。

5.4 テスト印刷をして確認する

Macintosh の場合

Macintosh には標準のテスト印刷機能はありません。[Driver CD] 内の [ReadMe.txt] をダブルクリックして開き、[ファイル] メニューの [印刷] を選択して、正しく印刷されるかどうかを確認してください。

6 プリンタードライバーの削除

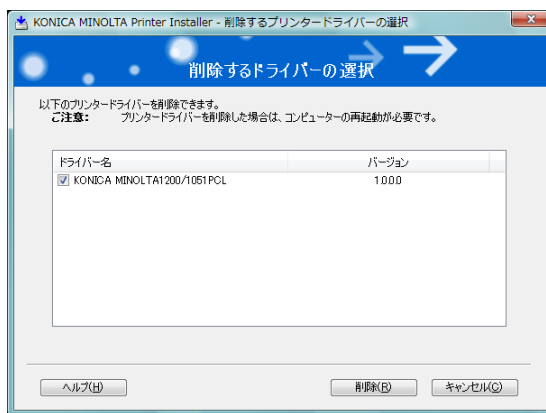
プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

6.1 アンインストールプログラムによるアンインストール (PCL)

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、プリンタードライバーの削除機能が組み込まれています。

- 1 「スタート」をクリックし、「すべてのプログラム」（または「プログラム」）－「KONICAMINOLTA」－「xxxxx（製品名）」－「プリンタードライバーの削除」をクリックします。
- 2 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。

以降は、表示される画面にしたがって操作してください。



- 3 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

6.2 インストーラーによるアンインストール（PCL）

プリンタードライバーをインストーラーでインストールした場合は、インストーラーでも削除できます。

- 1 ドライバー CD をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れます。
 - インストーラーが起動するのを確認し、手順 2 へ進みます。
 - インストーラーが起動しない場合は、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて 32bit 版 OS の場合は「Setup.exe」を、64bit 版 OS の場合は「Setup64.exe」をダブルクリックし、手順 3 へ進みます。
- 2 [プリンターのインストール] - [PCL] をクリックします。
プリンタードライバーのインストーラーが起動します。
- 3 使用許諾契約書の画面で [同意します] をクリックします。
- 4 セットアップの内容を選択する画面で「プリンタドライバの削除」を選択して [次へ] をクリックします。
- 5 削除するコンポーネントを選択し、[削除] をクリックします。
 - 以降は、表示される画面にしたがって操作してください。
- 6 再起動する画面が表示されたら [OK] をクリックし、再起動します。

6.3 手動によるプリンタードライバーの削除

プリンタードライバーを手動で削除する場合、OS によって手順が異なります。

Windows	プリンタードライバーの削除方法
Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008	"手動アンインストール" (6-4 ページ)

Macintosh	プリンタードライバーの削除方法
Mac OS X v10.2x ~ v10.5x	"Mac OS 10.5 の場合" (6-6 ページ)
Mac OS 9.x	"Mac OS 9.2 の場合" (6-8 ページ)

6.3.1 手動アンインストール

インストーラーを使わずにプリンタードライバをインストールした場合は、手動でプリンタードライバを削除します。

- 1 「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウを開きます。
- 2 削除したいプリンターのアイコンを選択します。
- 3 コンピューターの [Delete] キーを押し、プリンタードライバを削除します。
- 4 以降は、画面の指示にしたがって操作します。

削除が終了すると「プリンタ」ウィンドウまたは「プリンタと FAX」ウィンドウからアイコンが消えます。

 - 「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、[続行] をクリックします。
- 5 「サーバーのプロパティ」を開きます。
 - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「ファイル」メニューをクリックし、「サーバーのプロパティ」をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2008 の場合は、「プリンタ」ウィンドウの何もない部分を右クリックし、「管理者として実行」→「サーバーのプロパティ」をクリックします。
- 6 「ドライバ」タブをクリックします。
- 7 「インストールされたプリンタドライバ」一覧から、削除したいプリンタードライバを選択し、[削除] をクリックします。
 - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、手順 9 に進みます。
 - Windows Vista/Server 2008 の場合は、手順 8 に進みます。
- 8 削除の対象を確認する画面で「ドライバとパッケージを削除する」を選択して、[OK] をクリックします。
- 9 削除を確認する画面で [はい] をクリックします。
 - Windows Vista/Server 2008 の場合は、さらに削除を確認する画面が表示されますので [削除] をクリックします。
- 10 開いている画面を閉じ、コンピューターを再起動します。
 - 必ず再起動してください。

これでプリンタードライバーの削除は完了です。



...

ご注意

上記の手順でプリンタードライバーを削除しても、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、機種情報ファイルがコンピューターに残ります。このため同一バージョンのプリンタードライバーを再インストールする場合、ドライバーが書き替えできない場合があります。この場合以下のファイルも削除してください。

「C: ¥WINDOWS ¥system32 ¥spool ¥drivers ¥w32x86」

64bit OS の場合は、「C: ¥WINDOWS ¥system32 ¥spool ¥drivers ¥x64」

フォルダーを確認し、該当機種のフォルダーがあれば削除します。ただし、PCL コニカミノルタ製ドライバーと PostScript コニカミノルタ製ドライバーなど複数のドライバーがインストールされている場合は、全てのドライバーの機種情報が削除されます。ほかのドライバーを残す場合は削除しないでください。

「C: ¥WINDOWS ¥inf」フォルダーにある「oem*.inf」と「oem*.PNF」を削除します（ファイル名の「*」は番号を示し、番号はコンピューターの環境により異なります）。

削除する前に inf ファイルを開いて、最後の数行に記述してある機種名を確認し、該当機種のファイルであることを確認してください。PNF ファイルは inf ファイルと同じ番号となります。

Windows Vista/Server 2008 で「ドライバとパッケージを削除する」で操作した場合は、この作業は不要です。

6.4 Macintosh

プリンタードライバーを再インストールするときなど、プリンタードライバーを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバーを削除してください。

6.4.1 Mac OS 10.5 の場合

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
 - 2 [プリントとファクス] を選択します。
 - 3 削除するプリンター名を選択し、画面左下にある [－] をクリックします。
 - 4 確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
選択したプリンターが削除されます。
 - 5 画面左上のクローズボタン [×] をクリックします。
[プリントとファクス] を閉じます。
 - 6 インストールした「HDD」の「ライブラリ」－「Printers」－「PPDs」－「Contents」－「Resources」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
 - 「KONICAMINOLTA1200.gz」
 - 7 「ライブラリ」－「Printers」内の不要なファイルを削除します。
 - 「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」内の「1200」フォルダーを「ゴミ箱」へドラッグします。
 - 8 「ライブラリ」－「Receipts」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
 - 「KONICAMINOLTA_1200_105.pkg」
 - 9 コンピューターを再起動します。
- これでプリンタードライバーの削除は完了です。

6.4.2 Mac OS 10.2/10.3/10.4 の場合

- 1 「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある
[プリンタ設定ユーティリティ]（または [プリントセンター]）をダブルクリックして開きます。
- 2 削除するプリンター名を選択し、[削除] をクリックします。
選択したプリンターが削除されます。
- 3 「プリンタリスト」を閉じます。
- 4 インストールした「HDD」の「ライブラリ」－「Printers」－
「PPDs」－「Contents」－「Resources」－「ja.lproj」内の以下の
ファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
 - 「KONICAMINOLTA1200.gz」
- 5 「ライブラリ」－「Printers」内の不要なファイルを削除します。
 - 「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」内の
「1200」フォルダーを「ゴミ箱」へドラッグします。
- 6 「ライブラリ」－「Receipts」内の以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。
 - KONICAMINOLTA_1200_103.pkg
- 7 コンピューターを再起動します。
これでプリンタードライバーの削除は完了です。

6.4.3 Mac OS 9.2 の場合

- 1 デスクトップ上のプリンターアイコンを「ゴミ箱」へドラッグします。
- 2 「HDD」－「システムフォルダー」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内の「KONICAMINOLTA1200JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。
プリンタードライバー関連ファイルが削除されます。
- 3 コンピューターを再起動します。
これでプリンタードライバーの削除は完了です。

基本的な印刷方法 (Mac OS 9)

Mac OS 9 でのドキュメントの基本的な印刷は次のとおりです。

1 アップルメニューから [セレクト] を選択します。

2 [Adobe PS] を選択して、本イメージコントローラーに該当するプリンター名を選択して、[セレクト] 画面を閉じます。

→ AppleTalk が使用になっていることを確認してください。



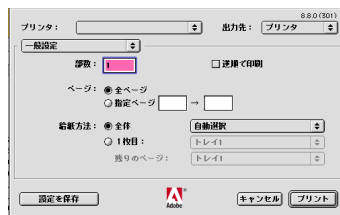
3 アプリケーションの [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。



...
ご注意)

コマンド名は、アプリケーションによって異なる場合があります。

4 [プリンタ] で対応するプリンター名を選択されていることを確認します。



...
ワンポイントアドバイス)

印刷の設定については、"PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS 9)" (10-1 ページ) を参照してください。

5 [プリント] をクリックします。

プリントジョブが送信されて、コピー機から印刷されます。

基本的な印刷方法 (Mac OS X)

Mac OS X でのドキュメントの基本的な印刷は次のとおりです。

- 1 アプリケーションの [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

[プリント] 画面が表示されます。



...

ご注意)

コマンド名は、アプリケーションによって異なる場合があります。

- 2 [プリンタ] で対応するプリンターが選択されていることを確認します。



...

ワンポイントアドバイス)

印刷の設定については、"PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS X)" (11-1 ページ) を参照してください。

- 3 [プリント] をクリックします。

プリントジョブが送信されて、コピー機から印刷されます。

7.2 プリンターの機能

プリンターのさまざまな機能について紹介します。機能に関する詳細は「参照先」のページを参照してください。

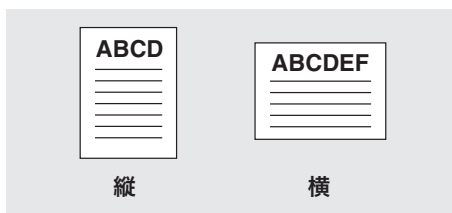
7.2.1 用紙に関する設定をするには

用紙の大きさや方向について、下記のような設定を行うことができます。

印刷方向を設定するには

本プリンティングシステムでは、出力する用紙に対する印刷方向を「縦」または「横」に設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"ページ属性の設定 (ページ設定画面)" (11-4 ページ)
Mac OS 9		"ページ属性画面" (10-10 ページ)



出力用紙の用紙サイズを設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙のサイズをさまざまな用紙サイズで設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"ページ属性の設定 (ページ設定画面)" (11-4 ページ)
Mac OS 9		"ページ属性画面" (10-10 ページ)

用紙の種類を設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙としてさまざまな種類の用紙を設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"用紙 / 品質タブ" (9-19 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セットアップ (プリント画面)" (11-12 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (1)" (10-23 ページ)

紙色を設定するには

本プリンティングシステムでは、紙の色を指定して印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セットアップ (プリント画面)" (11-12 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)

パンチ穴のあいた紙を設定するには

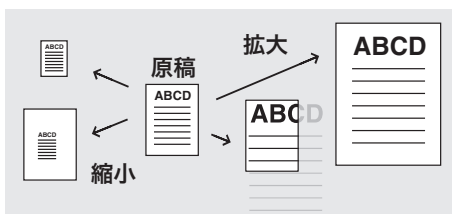
本プリンティングシステムでは、パンチ穴のあいた紙を指定して印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セットアップ (プリント画面)" (11-12 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)

数値で指定して拡大・縮小するには

本プリンティングシステムでは、拡大・縮小倍率を数値で指定して印刷することができます。

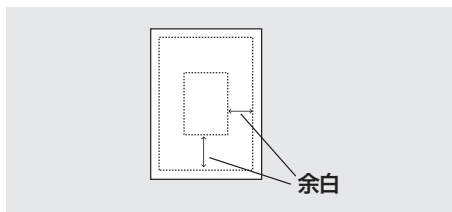
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"ページ属性の設定 (ページ設定画面)" (11-4 ページ)
Mac OS 9		"ページ属性画面" (10-10 ページ)



余白を設定するには

Adobe PS3 プリンタードライバーを使用している場合、出力用紙の余白を設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Mac OS X	PostScript PPD	"カスタム用紙サイズの設定 (ページ設定画面)" (11-6 ページ)
Mac OS 9		"カスタムページ設定画面" (10-16 ページ)



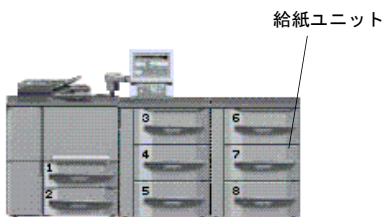
7.2.2 用紙トレイを設定するには

給紙トレイや排紙トレイなどの用紙トレイについて、下記のような設定を行うことができます。

給紙ユニットを設定するには

本プリンティングシステムでは、オプションの給紙ユニット（大容量トレイ）をプリンタードライバーに認識させることができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 装置情報タブ " (8-14 ページ)
	PostScript PPD	" デバイスの設定タブ " (9-13 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"Mac OS X の画面について " (11-1 ページ)
Mac OS 9		" オプション構成画面 " (10-41 ページ)



給紙トレイを設定するには

本プリンティングシステムでは、リストから使用する給紙トレイを選択して、設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"用紙 / 品質タブ" (9-19 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"給紙 (プリント画面)" (11-11 ページ)
Mac OS 9		"一般設定画面" (10-17 ページ)

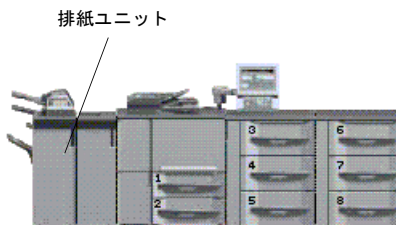


給紙トレイ

排紙ユニットを設定するには

本プリンティングシステムでは、オプションの排紙ユニットをプリンタードライバーに認識させることができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"装置情報タブ" (8-14 ページ)
	PostScript PPD	"デバイスの設定タブ" (9-13 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"Mac OS X の画面について" (11-1 ページ)
Mac OS 9		"オプション構成画面" (10-41 ページ)



排紙ユニット

排紙トレイを設定するには

本プリンティングシステムでは、リストから使用する排紙トレイを選択して、設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"仕上げタブ" (8-40 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)

排紙トレイ



...

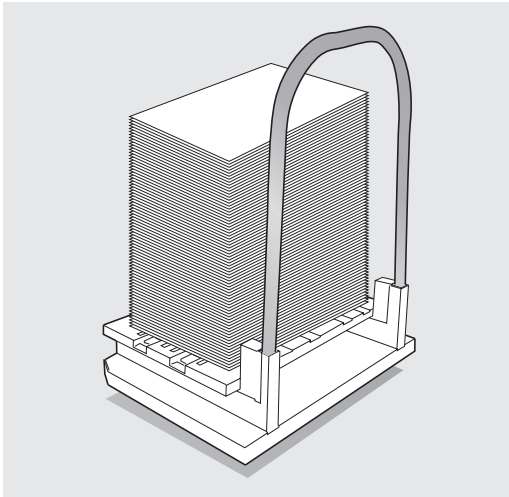
ワンポイントアドバイス)

排紙トレイは、オプションユニットによって場所が異なります。

大容量スタッカを設定するには

本プリンティングシステムでは、大量に印刷したものを大容量スタッカに、積み重ねて、そのまま台車のように持ち運ぶことができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 装置情報タブ " (8-14 ページ)
	PostScript PPD	" デバイスの設定タブ " (9-13 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"Mac OS X の画面について " (11-1 ページ)
Mac OS 9		" オプション構成画面 " (10-41 ページ)



7.2.3 複数の部数を印刷するには

同じ内容の出力結果を複数部数印刷したい場合に、下記のような設定を行うことができます。

印刷部数を設定するには

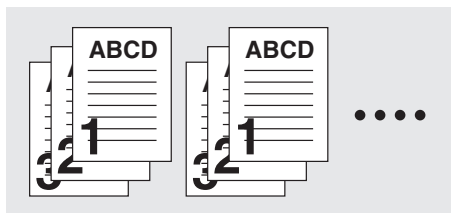
本プリンティングシステムでは、印刷する部数を〔プロパティ〕画面から設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"印刷部数と印刷ページ (プリント画面)" (11-8 ページ)
Mac OS 9		"一般設定画面" (10-17 ページ)

1 部ずつまとめて印刷するには (ソート)

本プリンティングシステムでは、複数部数を印刷する際に、全てのページを 1 部印刷してから 2 部目、3 部目…と、1 部ずつまとめて印刷することができます。

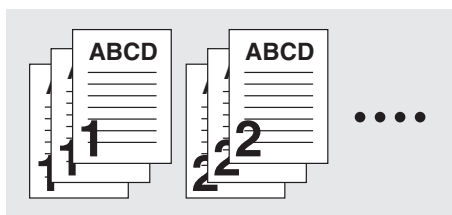
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



1 ページずつまとめて印刷するには

本プリンティングシステムでは、複数部数を印刷する際に、まず最初のページの必要枚数を印刷し、その後 2 ページ目、3 ページ目…とページごとにまとめて印刷することができます。

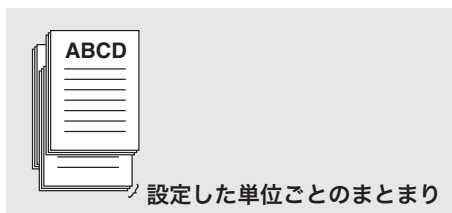
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



単位ごとにずらして排紙するには (オフセット)

本プリンティングシステムでは、複数部数を印刷する際に、部数単位またはページグループ単位に排紙位置を手前と奥にシフトさせて出力することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



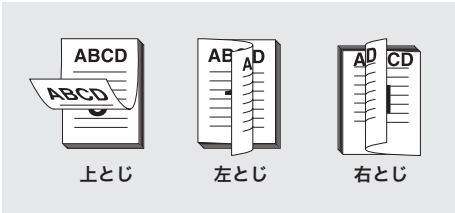
7.2.4 複数のページを印刷するには

複数ページを印刷する際に、下記のような設定を行うことができます。

両面印刷を設定するには

本プリンティングシステムでは、連続する複数ページを表裏両面に印刷することができます。

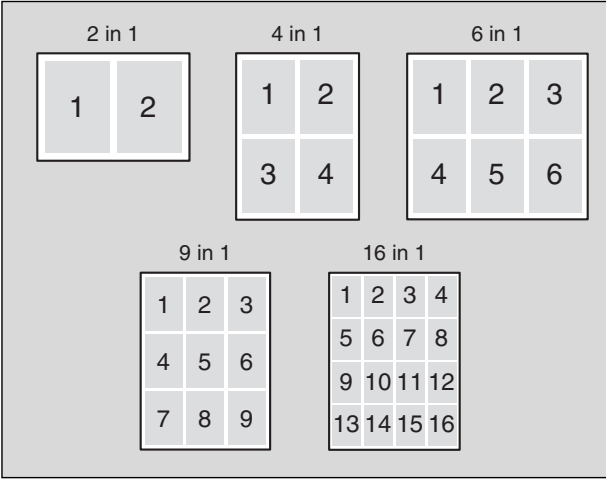
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"レイアウトタブ" (8-32 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



1 ページに複数ページ分を印刷するには（ページ割付 / レイアウト）

本プリンティングシステムでは、2 ページ分、4 ページ分、6 ページ分、9 ページ分、または 16 ページ分を 1 ページに割り付けて印刷することができます。

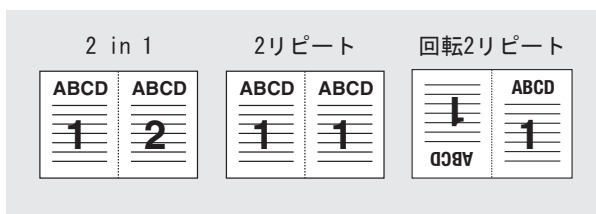
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" レイアウトタブ " (8-32 ページ)
	PostScript PPD	" レイアウトタブ " (9-17 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	" レイアウト (プリント画面) " (11-9 ページ)
Mac OS 9		" レイアウト画面 " (10-21 ページ)



2 枚分を倍の大きさの用紙 1 枚に印刷するには（1 枚集約）

本プリンティングシステムでは、出力用紙で設定されている用紙の倍の大きさの用紙に、出力用紙 2 枚分の内容をひとまとめに印刷することができます。

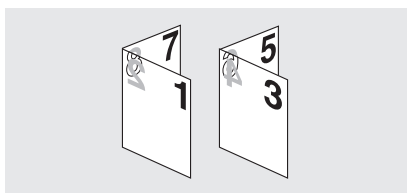
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"レイアウトタブ" (8-32 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"画像 / レイアウト (プリント画面)" (11-19 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



二つ折りの冊子用に印刷するには（小冊子）

本プリンティングシステムでは、出力した用紙をまとめて二つ折りにすると、本のようなページ順になるように印刷することができます。

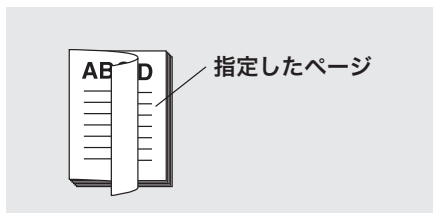
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"画像 / レイアウト (プリント画面)" (11-19 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



指定したページを表面にするには（章分け）

両面印刷をする場合に、指定したページを表面にして印刷することができます。

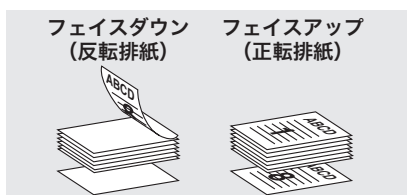
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"レイアウトタブ" (8-32 ページ)



ページを上向きで排紙するには（フェイスアップ）

本プリンティングシステムでは、複数ページを印刷する際に、上向きに出力用紙を排紙することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"仕上げタブ" (8-40 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定（プリント画面）" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面（2）" (10-24 ページ)



白紙のページを印刷しない（白紙抑制）

白紙のページを出力せずに印刷します。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"レイアウトタブ" (8-32 ページ)

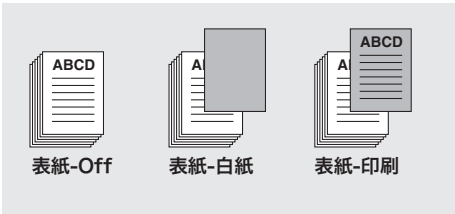
7.2.5 表紙・裏表紙・挿入紙・カバーを設定するには

印刷するページのほかに、表紙・裏表紙・挿入紙・カバーをつけて印刷する設定を行うことができます。

表紙を設定するには

本プリンティングシステムでは、本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の表紙を設定することができます。

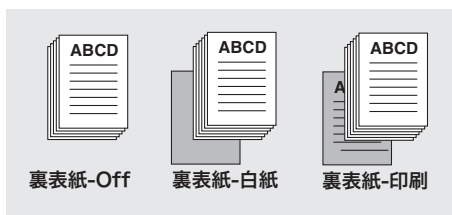
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"カバーシート / 挿入紙タブ" (8-51 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セットアップ (プリント画面)" (11-12 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



裏表紙を設定するには

本プリンティングシステムでは、本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の裏表紙を設定することができます。

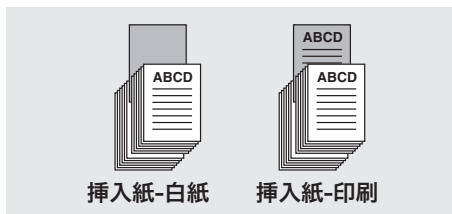
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"カバースHEET / 挿入紙タブ" (8-51 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セットアップ (プリント画面)" (11-12 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



挿入紙を設定するには

本プリンティングシステムでは、白紙または印刷された用紙を挿入紙として設定できます。

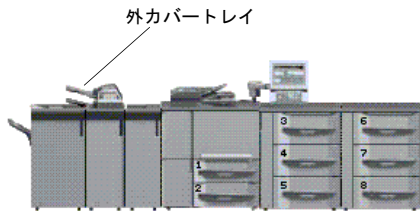
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"カバースHEET / 挿入紙タブ" (8-51 ページ)



カバーを設定するには

本プリンティングシステムでは、設定した出力用紙と異なる厚紙などの用紙をカバーとして排紙することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"カバーシート / 挿入紙タブ" (8-51 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セットアップ (プリント画面)" (11-12 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



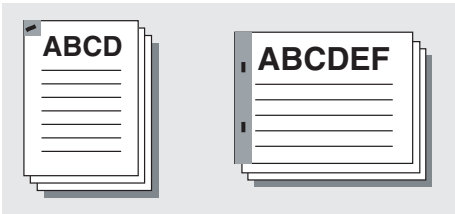
7.2.6 仕上げの設定をするには

ステイプル止め・穴あけ・綴じ・折りなどのさまざまな機能を使用して、製本・仕上げ処理を行うことができます。

ステイプル止めを設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙をステイプル止めすることができます。

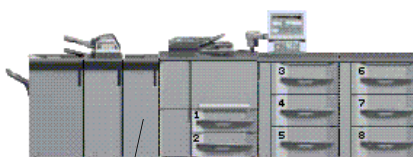
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 仕上げタブ " (8-40 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	" 出力設定 (プリント画面) " (11-24 ページ)
Mac OS 9		" プリンター固有機能画面 (2) " (10-24 ページ)



パンチユニットを設定するには

本プリンティングシステムでは、オプションのパンチ / マルチ折り機をプリンタードライバーに認識させることができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"装置情報タブ" (8-14 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"Mac OS X の画面について" (11-1 ページ)
Mac OS 9		"オプション構成画面" (10-41 ページ)

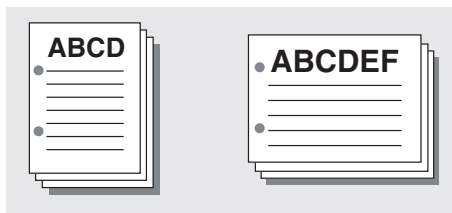


パンチ / マルチ折り機

穴あけを設定するには

本プリンティングシステムでは、出力用紙に 2 穴～ 4 穴、および多穴のパンチ処理を行うことができます。

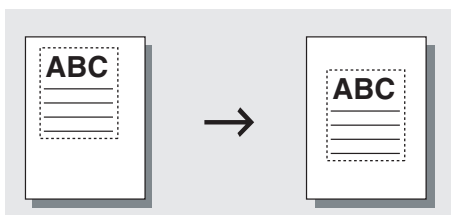
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"仕上げタブ" (8-40 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



用紙内での印刷位置を調整するには（画像シフト）

本プリンティングシステムでは、出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整することができます。

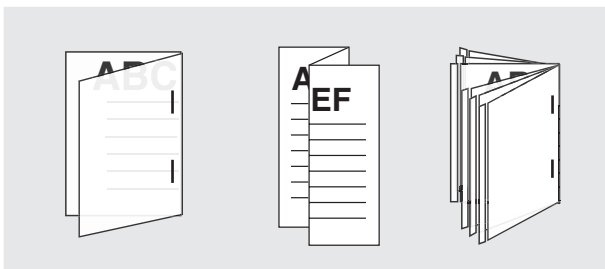
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"レイアウトタブ" (8-32 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"画像 / レイアウト (プリント画面)" (11-19 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



綴じ・折り・断裁を設定するには

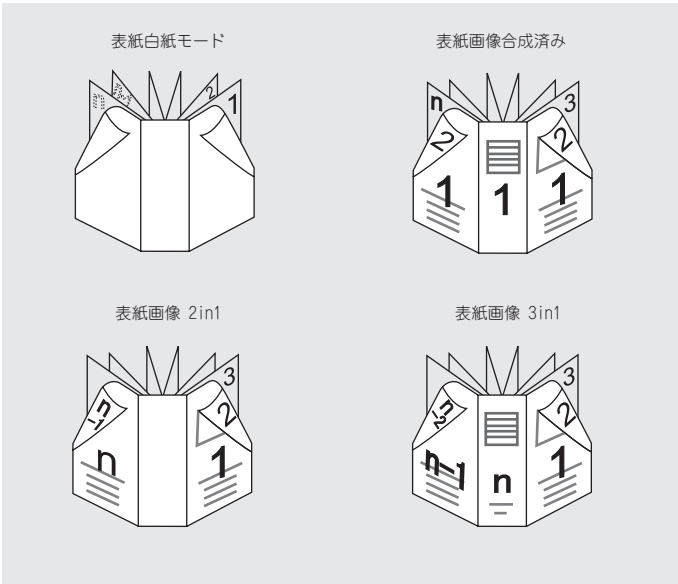
本プリンティングシステムでは、出力用紙を中折り・中綴じ・Z折り・三つ折り、断裁して出力することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"仕上げタブ" (8-40 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



くるみ製本を設定するには
本プリンティングシステムでは、くるみ製本を設定できます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"仕上げタブ" (8-40 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"出力設定 (プリント画面)" (11-24 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面 (2)" (10-24 ページ)



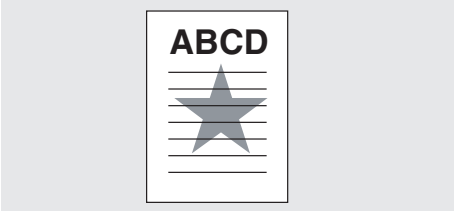
7.2.7 透かしを設定するには

出力用紙に、透かし模様や透かし文字を設定して印刷することができます。

透かし模様を作成するには（オーバーレイ）

出力用紙に印刷する透かし模様を作成することができます。

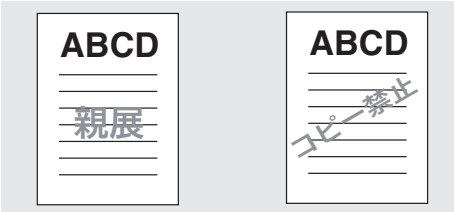
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" スタンプ / ページ印字タブ " (8-58 ページ)
Mac OS 9	PostScript PPD	" ウォーターマーク画面 " (10-13 ページ)



透かし文字を印刷するには（ウォーターマーク）

本プリンティングシステムでは、出力用紙に透かし文字を設定して印刷することができます。

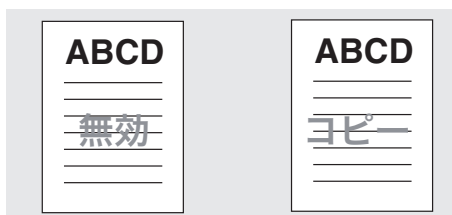
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" スタンプ / ページ印字タブ " (8-58 ページ)
Mac OS 9	PostScript PPD	" ウォーターマーク画面 " (10-13 ページ)



コピープロテクト機能を使うには

本プリンティングシステムでは、出力用紙に背景パターンを設定したり、透かし文字を設定してコピープロテクト印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" スタンプ / ページ印字タブ " (8-58 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	" 画像 / レイアウト (プリント画面) " (11-19 ページ)
Mac OS 9		" プリンター固有機能画面 (2) " (10-24 ページ)



日付 / 時刻を印刷するには

本プリンティングシステムでは、日付と時刻を出力する全ページまたは最初のページのみに印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" スタンプ / ページ印字タブ " (8-58 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	" 画像 / レイアウト (プリント画面) " (11-19 ページ)
Mac OS 9		" プリンター固有機能画面 (2) " (10-24 ページ)

ページ番号を印刷するには

本プリンティングシステムでは、ページ番号をつけて印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" スタンプ / ページ印字タブ " (8-58 ページ)

ナンバリングして印刷するには

本プリンティングシステムでは、ナンバリングして印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" スタンプ / ページ印字タブ " (8-58 ページ)

7.2.8 画像や濃淡を設定するには

画像を出力する場合の濃淡や、グラフィックデータの処理方法を設定することができます。

印刷濃度を設定するには（イメージプロセス）

Adobe PS3 プリンタードライバーを使用している場合、印刷濃度を設定することができます。

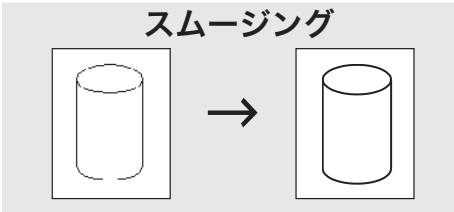
OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 画像品質タブ " (8-66 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	" 画像 / レイアウト (プリント画面) " (11-19 ページ)
Mac OS 9		" プリンター固有機能画面 (2) " (10-24 ページ)



曲線部分をなめらかに印刷するには（スムージング）

本プリンティングシステムでは、文字や画像などの曲線部分をなめらかにして印刷することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 画像品質タブ " (8-66 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	" 画像 / レイアウト (プリント画面) " (11-19 ページ)
Mac OS 9		" プリンター固有機能画面 (2) " (10-24 ページ)



7.2.9 フォントに関する設定をするには

プリンターフォント、TrueType フォント、および PostScript フォントに関する設定を行うことができます。

プリンターフォントを不使用にするには

本プリンティングシステムでは、印刷時にプリンターフォントを使用せずに印刷するように設定することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 画像品質タブ " (8-66 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)

TrueType をプリンターフォントに置き換えるには

本プリンティングシステムでは、印刷時に TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えることができます。また、フォント置き換えに関する設定を詳細に行うことができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	" 画像品質タブ " (8-66 ページ)
	PostScript PPD	" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ)

7.2.10 プリンタードライバの設定内容を確認するには

印刷前に設定内容を確認したり、試し印刷をして現在の設定を確認することができます。

試し印刷をして現在の設定を確認するには（確認印刷）

本プリンティングシステムでは、試し印刷の出力内容と操作パネルから現在の設定内容を確認することができます。

OS	プリンタードライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セキュリティ（プリント画面）" (11-30 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面（2）" (10-24 ページ)

印刷前に現在の設定を確認するには（一時停止）

本プリンティングシステムでは、印刷前に操作パネルから現在の設定内容を確認することができます。

OS	プリンタードライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
	PostScript PPD	"詳細オプション画面" (9-21 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セキュリティ（プリント画面）" (11-30 ページ)
Mac OS 9		"プリンター固有機能画面（2）" (10-24 ページ)

7.2.11 ジョブを保存・再印刷するには

本プリンティングシステムのハードディスクに、プリントジョブを保存し、必要に応じて再印刷することができます。

ジョブを保存・印刷するには (Box 保存 / Box 保存 & 印刷)

本プリンティングシステムの内蔵ハードディスクにプリントジョブを保存し、必要に応じて再出力することができます。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セキュリティ (プリント画面)" (11-30 ページ)

パスワードで保護して印刷するには (セキュリティ印刷)

秘匿性の高い文書を印刷するために、プリントジョブのパスワードによる保護を行います。

OS	プリンタードライバー	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL	"基本設定タブ" (8-18 ページ)
Mac OS X	PostScript PPD	"セキュリティ (プリント画面)" (11-30 ページ)

8 KONICA MINOLTA PCL ドライバーの設定 (Windows)

この章では、Windows 用 KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバーの設定について説明します。

8.1 プロパティ画面について

本章では、Windows Vista のプロパティ画面を使って、KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバーでできる様々な設定について説明しています。

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

Windows 2000

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。

Windows XP/Server 2003

[スタート] - [プリンタと FAX] を選択して**プリンタと FAX ウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。

Windows Vista/Server 2008

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。

なお、印刷設定画面の開き方も、お使いの OS によって異なります。

Windows 2000

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**印刷設定**を選択します。

Windows XP/Server 2003

[スタート] - [プリンタと FAX] を選択して**プリンタと FAX ウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**印刷設定**を選択します。

Windows Vista/Server 2008

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**印刷設定**を選択します。

8.1.1 プロパティ画面

プリンタードライバーの設定を選択 / 変更するには、以下の 2 つの方法があります。

プリンタウィンドウのプロパティ画面で設定する方法

プリンタウィンドウのプロパティ画面から設定した場合、すべてのアプリケーションから印刷する際に適用されます。

印刷するごとにアプリケーションで設定する方法

各アプリケーションの印刷コマンドで表示される印刷ダイアログで、プリンターを選択して設定します。この場合、そのアプリケーションが使用中の場合のみに有効になります。



ご注意)

本章では、Windows Vista のプリンタウィンドウのプロパティ画面を使って説明をします。

プロパティ画面は、アプリケーションの印刷コマンドで表示される画面とは、若干異なります。

8.2 ボタンについて

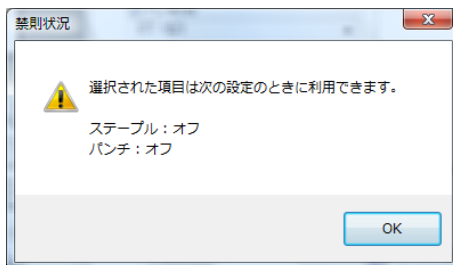
プロパティ画面の各タブに共通のボタンを以下に示します。



ボタン名	機能
OK	[OK] をクリックすると、すべてのタブの設定内容を保存してプロパティ画面を閉じます。
キャンセル	[キャンセル] をクリックすると、すべてのタブの設定内容変更を保存せずに、プロパティ画面を閉じます。
適用	[適用] をクリックすると、現在のタブの設定内容を保存します。 引き続き他のタブを使用して設定を行う場合で、他のタブに移る前に現在のタブの設定内容を登録する場合に使用します。

8.3 機能の組み合わせ

設定したい機能を選択した場合に、すでに設定されている機能を変更するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。



これは機能の組み合わせができない場合に、自動的に一方の機能をOFFにするための確認メッセージです。

8.4 全般タブ

アプリケーションを使用しないで、プリンタードライバーから直接にプリンターの印字テスト（テストページの印刷）を行うことができます。



...

ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

場所

会議室、ミーティングルームなど、プリンターの場所を入力します。

コメント

「営業部用」、「ドキュメントチーム用」などプリンターに関する情報を入力します。

印刷設定

プリンターの印刷方法を設定するプロパティ画面が表示されます。プロパティ画面からプリンタードライバーの設定を変更することができます。

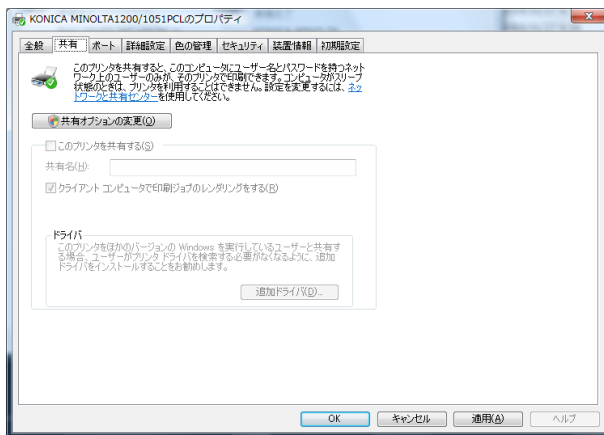
テストページの印刷

テストページが実行されます。

アプリケーションを使用せずに、プリンタードライバーから Windows 標準のテストページを印刷することができます。

8.5 共有タブ

プリンターの共有設定を行います。コンピューターをスタンドアロンで使用している場合は、表示されません。



ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

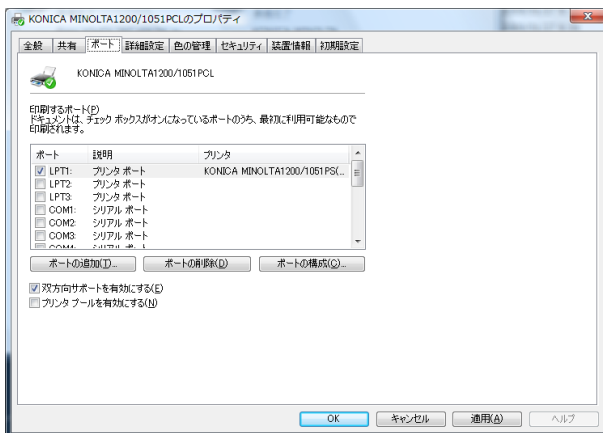
各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

共有タブを使用すると、ネットワークユーザーがこのプリンターを利用できるようになります。

プリンター共有については、Windows の解説書を参照してください。

8.6 ポートタブ

印刷先のポートに関する設定を行います。



ワンポイントアドバイス)

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

ポートの追加

ポートモニター、TCP/IP あるいは、Unix プリンター (LPR ポート) などの新しいポートを追加することができます。

ポートの削除

リストから選択したポートを削除します。

ポートの構成

リストから選択したポートの構成を確認できます。

双方向サポートを有効にする

プリンターの設定情報が送られます。

プリンタプールを有効にする

複数のプリンターで印刷を可能にします。



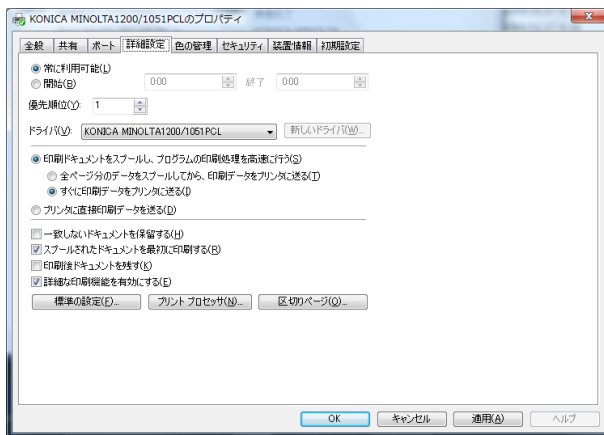
...

ワンポイントアドバイス)

ポートについての詳細は、Windows の解説書を参照してください。

8.7 詳細設定タブ

印刷に使用するドライバー、ローカルポートのタイムアウト、スプールに関する設定を行います。



ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

常に利用可能 / 開始

プリンターを常に利用するか、または時間制限を設けて利用するかを設定します。

優先順位

現在の設定の優先順位を設定します。

ドライバ

インストールされているプリンタードライバー名が表示されます。

[新しいドライバ]

新しくプリンタードライバーをインストールすることができます。

印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う

印刷する前に、印刷データをスプールさせる設定にします。

プリンタに直接印刷データを送る

プリンターに印刷データを直接送信します。

一致しないドキュメントを保留する

プリンターの設定に一致しないドキュメントを保留にします。

スプールされたドキュメントを最初に印刷する

優先順位に関係なく、スプールされたドキュメントを最初に印刷します。

印刷後ドキュメントを残す

印刷後にスプールされたドキュメントのデータを残します。

詳細な印刷機能を有効にする

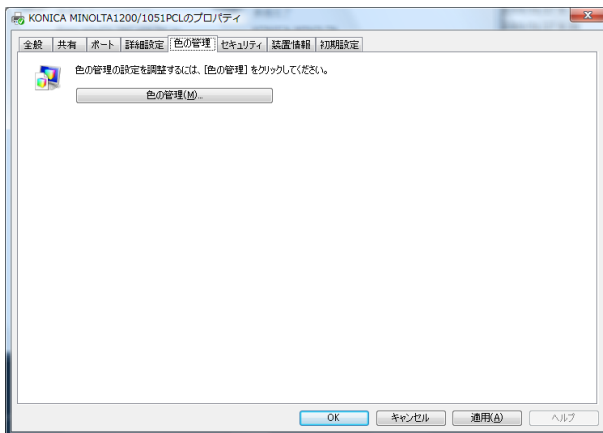
印刷の応用機能を有効にします。

**ワンポイントアドバイス)**

詳細設定タブの詳細は、Windows の解説書を参照してください。

8.8 色の管理タブ

カラープリンターにカラープロファイルを関連付けることができます。



...

ワンポイントアドバイス)

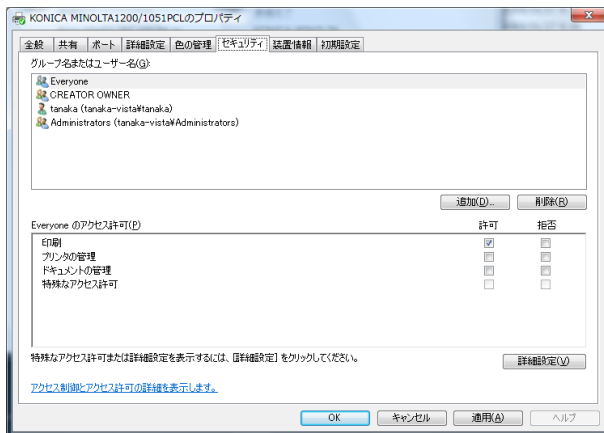
プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

本プリンティングシステムでは、色の管理タブは使用できません。

8.9 セキュリティタブ

セキュリティに関する設定ができます。



ワンポイントアドバイス

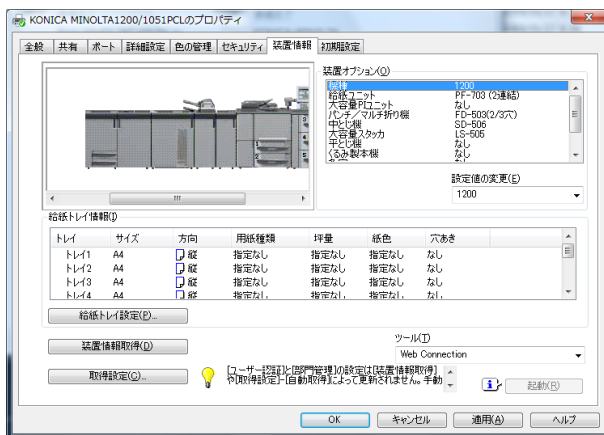
プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

セキュリティタブの詳細は、Windows の解説書を参照してください。

8.10 装置情報タブ

使用する機種名とオプションやユーザー認証、部門管理機能の有無を設定し、コピー機の機能をプリンタードライバーから使用可能にします。



ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

装置オプション

装着されているオプションやユーザー認証 / 部門管理の状態を設定します。各項目の状態は「設定値の変更」で設定します。

機種	1200 / 1051
給紙ユニット	なし / PF-702 / PF-703 / PF-702 + PF-703 / PF-703 (2 連結)
大容量 PI ユニット	なし / PF-703 (PI)
パンチ / マルチ折り機	なし / FD-503 (2/3 穴) / FD-503 (2/4 穴)
中とじ機	なし / SD-506
大容量スタッカ	なし / LS-505 / LS-505 (2 連結)
平とじ機	なし / FS-521
くるみ製本機	なし / PB-502/503
多穴	なし / GP-501
ユーザー認証	なし / 本体装置認証
部門管理	なし / あり



...

ご注意)

「装置オプション」のオプションの選択は必ず行ってください。

給紙トレイ情報

給紙トレイに対する用紙種類の割り当て状態を表示します。[給紙トレイ設定] で割り当てを設定できます。

装置情報取得

コピー機と通信し、オプション装着の状態と給紙トレイの状態を読み取ります。



...

ご注意)

[装置情報取得] の機能は、コピー機と通信可能な状態で接続されていないと利用できません。

取得設定

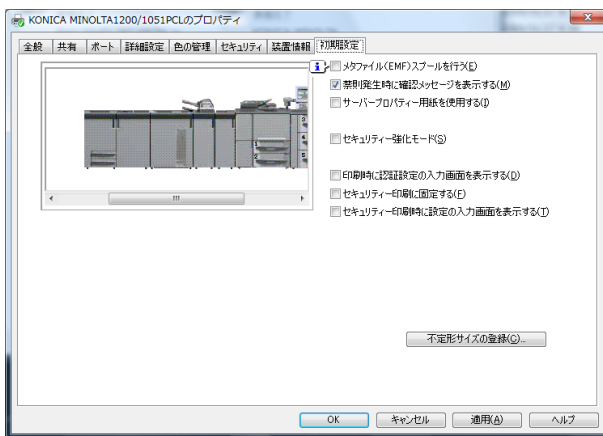
装置情報取得を実行する接続先などの条件を設定します。

ツール

PageScope Web Connection などの設定ツールを起動します。

8.11 初期設定タブ

確認メッセージや認証設定入力画面の表示に関する初期設定を変更できます。



メタファイル (EMF) スプールを行う

独自のシステム環境で使用する場合で、メタファイル (EMF) スプールが必要な場合にチェックします。



ワンポイントアドバイス

「メタファイル (EMF) スプールを行う」、「不定形サイズの登録」は PCL ドライバーのみの機能です。

禁則発生時に確認メッセージを表示する

プリンタードライバーで、同時に設定できない機能を有効にした場合にメッセージを表示します。

サーバープロパティ用紙を使用する

プリンターフォルダーの [サーバーのプロパティ] で追加登録した用紙を使用します。

セキュリティ強化モード

セキュリティ強化モードを設定します。セキュリティ強化モードの詳細は管理者にお問い合わせください。

印刷前に認証設定を検証する

印刷前にコピー機に対し認証設定を検証し、適合しない場合はメッセージを表示します。

印刷時に認証設定の入力画面を表示する

印刷を指定するときにユーザー認証 / 部門管理設定ダイアログボックスを表示し、ユーザー名や部門名の入力を促します。

セキュリティ印刷に固定する

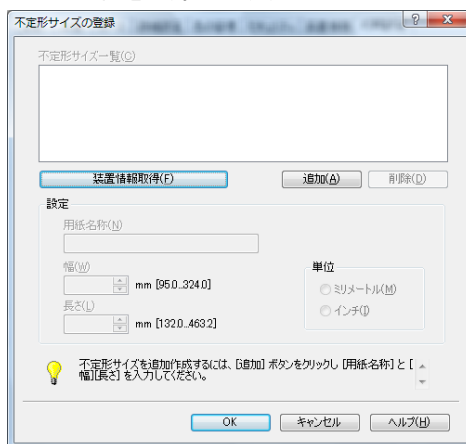
プリンタードライバーの設定ダイアログの [基本設定] タブで [出力方法] を [セキュリティ印刷] に固定する場合にチェックします。

セキュリティ印刷時に設定の入力画面を表示する

セキュリティ印刷を行うときにセキュリティ印刷に使用する ID、パスワードの入力を促します。

不定形サイズの登録

不定形サイズ用の紙を登録します。

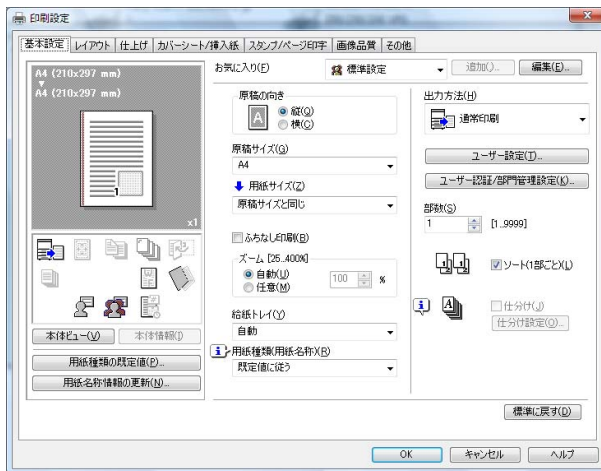


装置情報取得

コピー機と通信し、登録されている不定形サイズを読み取り、一覧に表示します。

8.12 基本設定タブ

プリンターの基本的な設定を行ないます。



ワンポイントアドバイス)

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について "（8-1 ページ）を参照してください。

原稿の向き

印刷する用紙の方向を指定します。

原稿サイズ

印刷する原稿のサイズを指定します。

選択できる原稿サイズ
12 x 18
11 x 17
9 x 11
8 1/2 x 14
8 x 13
8 1/2 x 13
8 1/4 x 13
8 1/8 x 13 1/4
8 1/2 x 11
5 1/2 x 8 1/2
SRA3
SRA4
A3
A4
A5
B4
B5
ISO-B4
ISO-B5
8K
16K
はがき
12 x 18W
11 x 17W
8 1/2 x 11W
5 1/2 x 8 1/2W
A3W
A4W
A5W
B4W
B5W
ISO-B4W
ISO-B5W
8 1/2 x 11 インデックス
A4 インデックス
不定形サイズ



...
ご注意)

「8K」、「16K」は選択可能ですが、国内で使用することはできません。

用紙サイズ

印刷する出力用紙のサイズを指定します。

選択できる出力用紙サイズ
原稿サイズと同じ
原稿サイズ x 2
12 x 18
11 x 17
9 x 11
8 1/2 x 14
8 x 13
8 1/2 x 13
8 1/4 x 13
8 1/8 x 13 1/4
8 1/2 x 11
5 1/2 x 8 1/2
SRA3
SRA4
A3
A4
A5
B4
B5
ISO-B4
ISO-B5
8K
16K
はがき
12 x 18W
11 x 17W
8 1/2 x 11W
5 1/2 x 8 1/2W
A3W
A4W
A5W
B4W
B5W

選択できる出力用紙サイズ
ISO-B4W
ISO-B5W
8 1/2 x 11 インデックス
A4 インデックス
不定形サイズ

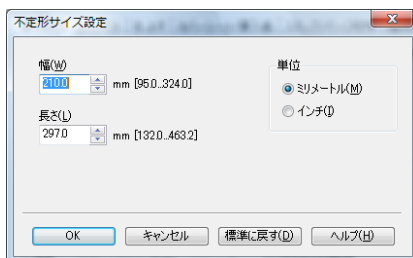


ご注意

「8K」、「16K」は選択可能ですが、国内で使用することはできません。

不定形サイズ設定

不定形サイズを設定できます。設定した不定形サイズは、[原稿サイズ] または [出力サイズ] の一覧に表示されます。



ふちなし印刷

用紙の余白をとらずに印刷します。通常、プリンターで印刷する場合は用紙の余白を残して印刷されますが、この機能を設定すると、用紙全面に原稿を印刷することができます。

ズーム

拡大 / 縮小率を 25 ~ 400% の範囲で指定します。

給紙トレイ

給紙するトレイを選択します。[自動] に設定している場合、プリンターが自動的に用紙トレイを選択します。

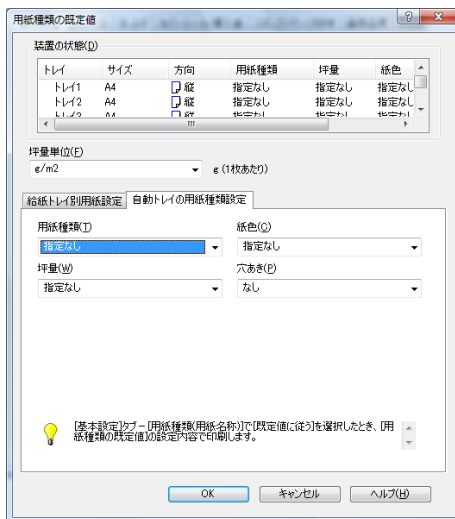
給紙トレイ	使用できる用紙サイズ
トレイ 1 ～トレイ 2	12 x 18, 11 x 17, 9 x 11, 8 1/2 x 14, 8 x 13, 8 1/2 x 13, 8 1/4 x 13, 8 1/8 x 13 1/4, 8 1/2 x 11, 5 1/2 x 8 1/2, SRA3, SRA4, A3, A4, A5, B4, B5, ISO-B4, ISO-B5, 8K, 16K, はがき, 12 x 18W, 11 x 17W, 8 1/2 x 11W, 5 1/2 x 8 1/2W, A3W, A4W, A5W, B4W, B5W, ISO-B4W, ISO-B5W, 8 1/2 x 1, インデックス, A4 インデックス, 不定形サイズ
トレイ 3 ～ 8 (PF-702/PF-703)	

用紙種類 (用紙名称)

既定値に従うか、用紙名称情報で登録された名称を使用するか選択します。

用紙種類の既定値

印刷する用紙の種類を選択します。



用紙種類

選択できる用紙の種類	
指定なし	
普通紙	
塗工紙	パンフレットのようなコート紙を使用する場合に選択します。
追い刷り紙	印刷済みの用紙に、追い刷りをする場合に選択します。
上質紙	メモ用紙のような用紙を使用する場合に選択します。
書籍用紙	書籍や新聞のような用紙を使用する場合に選択します。
ラフ紙	チケットのような用紙を使用する場合に選択します。
未印字挿入紙	インデックス紙などを挿入する場合に選択します。
OHP	OHP を使用する場合に選択します。

紙色

用紙の紙色を設定できます。

指定なし / 白 / 透明 / 黄色 / ピンク / 青 / 緑

坪量

出力紙の重さを指定できます。

指定なし	40-49g/m ²	50-61g/m ²	62-71g/m ²	72-91g/m ²
92-130g/m ²	131-161g/m ²	162-216g/m ²	217-244g/m ²	245-300g/m ²
301-350g/m ²				

[245-300g/m²] および [301-350g/m²] は、以下の場合は選択できません。

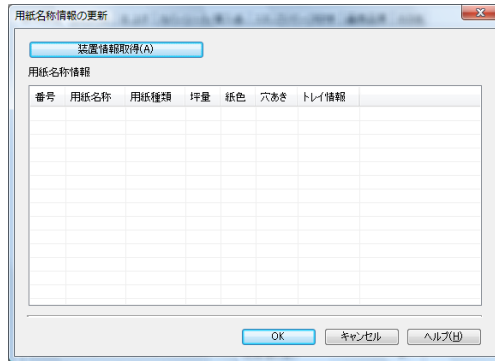
○ [装置情報] タブで給紙ユニットが設定されていない場合

穴あき

パンチ穴などがある紙を使用する場合に設定します。

用紙名称情報の更新

コピー機に登録されている、用紙名称情報を更新します。



装置情報取得

コピー機と通信し、登録されている用紙名称情報を読み取り、一覧に表示します。

出力方法 - 通常印刷

通常の印刷を行います。

出力方法 - セキュリティ印刷

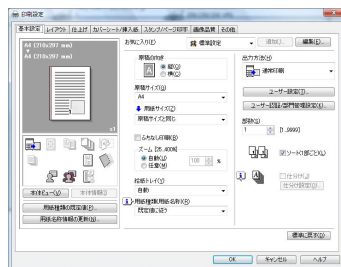
機密性の高い文書を印刷する場合に使用します。

セキュリティ印刷機能を使うと、セキュリティ印刷 ID とパスワードをコピー機の操作パネル上で入力するまで、プリントされなくなります。

- 1 印刷したいファイルを開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] コマンドを選択します。
- 2 [プロパティ] をクリックして、[印刷設定] ウィンドウを表示します。

- 3 [基本設定] タブの [出力方法] から [セキュリティ印刷] を選択します。

セキュリティ印刷設定ウィンドウが表示されます。



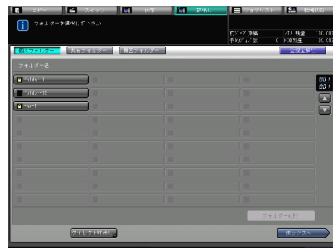
- 4 セキュリティ印刷 ID とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックして、[印刷設定] ウィンドウを閉じます。
- 6 [OK] をクリックして、印刷を開始します。
- 7 コピー機のタッチパネルで「読出し」を押します。

- 8 [機密フォルダー] を押して、ボックスを選択して、[OK] を押します。

パスワード入力画面が表示されます。

- 9** パスワードを入力します。

- 10** [OK] を押して、パスワード入力画面を閉じます。



11 印刷したいファイルを選択して、



を押します。



12 [自動] を選択して、[OK] を押します。

印刷が開始されます。



...

ワンポイントアドバイス)

親展出力の設定を確認するには、[ウェイト出力] または [プルーフ出力] を選択して、[OK] を押します。

出力方法 - ボックス保存 / ボックス保存 & 印刷

プリントジョブをコピー機内蔵のハードディスクに画像として保存して、必要に応じて、再出力することができます。出力するには、操作パネルから操作します。

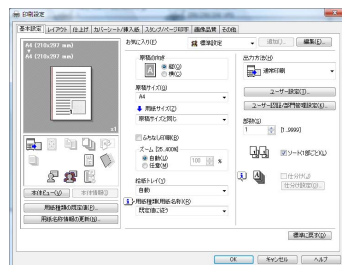
- 1 印刷したいファイルを開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] コマンドを選択します。
- 2 [プロパティ] をクリックして、[印刷設定] ウィンドウを表示します。

- 3 [基本設定] タブの [出力方法] から [ボックス保存] または [ボックス保存 & 印刷] を選択します。

→ [ボックス保存] を選択した場合は、プリントジョブが内蔵ハードディスクに保存されます。

→ [ボックス保存 & 印刷] を選択した場合は、プリントジョブが内蔵ハードディスクに保存され、1部プリントされます。

ユーザー設定ウィンドウが表示されます。



- 4 ファイル名とボックスナンバーを入力し、[OK] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックして、[印刷設定] ウィンドウを閉じます。
- 6 [OK] をクリックして、印刷を開始します。

プリントジョブがコピー機内蔵ハードディスクに保存されます。

出力方法 - 一時停止 / 確認印刷

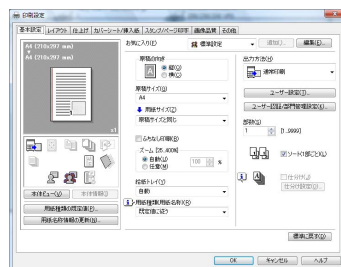
印刷前に現在の設定内容や試し印刷をして出力状態を確認することができます。

大量の印刷を行なう前に使用することを推奨します。

- 1 印刷したいファイルを開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] コマンドを選択します。
- 2 [プロパティ] をクリックして、[印刷設定] ウィンドウを表示します。

- 3 [基本設定] タブの [出力方法] から [一時停止] または [確認印刷] を選択します。

- 印刷前に、コピー機の操作パネルから現在の設定を確認したい場合は、[一時停止] を選択します。
- 1 ページだけをテスト印刷して、現在の設定を確認する場合は、[確認印刷] を選択します。



- 4 必要に応じて、その他の印刷設定を行い、[OK] をクリックして、プリント画面に戻ります。
- 5 アプリケーションのプリント画面で、[OK] をクリックして、印刷を開始します。
- [一時停止] を選択した場合は、プリントは、実行されず停止します。[確認印刷] を選択した場合は、一部プリントされ、停止します。

コピー機の操作パネルに設定内容確認画面が表示されます。

- 6 [一時停止] の場合は、コピー機操作パネルのタッチパネル画面右上に [機械状態] が点滅するので、[機械状態] を押します。

コピー機の操作パネルに設定内容確認画面が表示されます。

- 7 現在の設定を確認します。
設定を変更しない場合は、手順 10
へ進みます。



- 8 設定を変更する場合は、設定項目を選択して表示された画面で設定
を変更します。
- 9 [OK] を押します。
設定内容画面に戻ります。
- 10 [スタート] を押します。
プリントジョブが印刷されます。

ユーザー設定

セキュリティ印刷 / ボックス保存を行う場合のユーザーの設定を行います。

ユーザー設定

セキュリティ印刷
ID (I) 最大半角8文字
パスワード(P) 最大半角8文字

セキュリティ印刷した文書を利用するには、本パネル
で以下の操作を行ってください。
[読み出し] -> [秘密フォルダー]

ボックス保存
ファイル名(F) 最大半角30文字
ボックスナンバー(B) 最大半角9文字

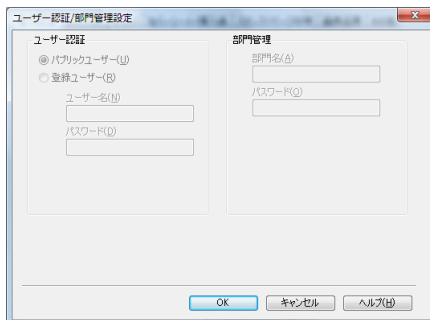
[セキュリティ印刷][ボックス保存]を行う際は、[基本設定]タブ
の「出力方法」で対象の項目を選択してください。

OK キャンセル 標準に戻す(D) ヘルプ(H)

- ID : ユーザー ID を入力します。
- パスワード : にパスワードを入力します。
- ファイル名 : ボックス保存を行う場合のファイル名を入力します。
- ボックスナンバー : ジョブを保存するボックスのボックスナンバー
を入力します。

ユーザー認証 / 部門管理設定

ユーザー認証 / 部門管理の設定をします。



ワンポイントアドバイス

認証 / 部門管理については、管理者にお問い合わせください。

ユーザー認証 - パブリックユーザー

パブリックユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスする場合にチェックします。

ユーザー認証 - 登録ユーザー

登録ユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスする場合にチェックします。

ユーザー認証 - 登録ユーザー - ユーザー名

登録ユーザーのユーザー名を入力します。

ユーザー認証 - 登録ユーザー - パスワード

登録ユーザーのパスワードを入力します。

部門管理 - 部門名

部門管理を設定している場合に、部門名を入力します。

部門管理 - パスワード

部門管理を設定している場合に、パスワードを入力します。



ワンポイントアドバイス

部門管理についての詳細は、「ユーザーズガイド (コピー機能編)」

をごらんください。

部数

印刷する部数を指定します。

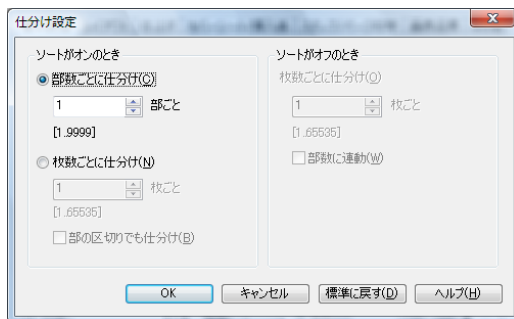
ソート

複数部数を印刷する際に、全てのページを 1 部印刷してから 2 部目、3 部目…と、1 部ずつまとめて印刷することができます。

仕分け

この機能を ON にすると、複数部数を印刷する際に、部数単位に排紙位置を、排紙ユニットが設定されている場合のみ手前と奥にシフトさせて出力することができます。

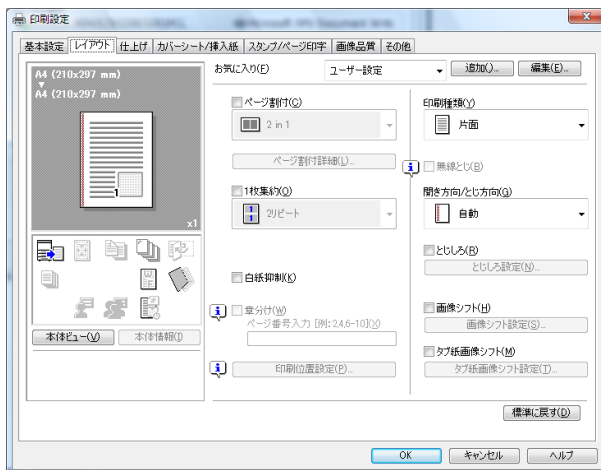
[仕分け] にチェックを入れて、[仕分け設定] をクリックすると表示される [仕分け設定] ウィンドウで設定を行います。



- 部数ごとに仕分け：
部数ごとに仕分ける場合の部数を設定します。
- 枚数ごとに仕分け：
枚数ごとに仕分ける場合の枚数を設定します。
- 部の区切りでも仕分け：
枚数ごとに仕分けした場合に、さらに部の区切りでも仕分ける場合に選択します。
- 部数に連動：
ソートがオフに設定されている場合で、部数に連動して仕分ける場合に選択します。

8.13 レイアウトタブ

レイアウトについての設定を行います。



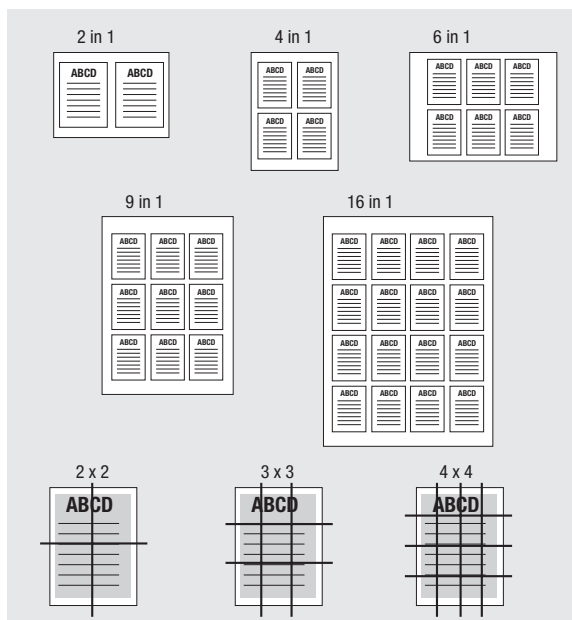
ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

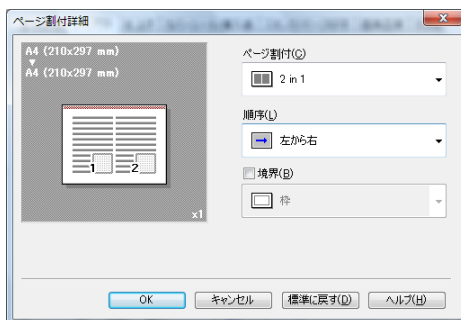
ページ割付

1 シートに何ページ分を割り付けるかを設定します。割り付けられたページは原稿に対して、N in 1 では縮小、N × N では拡大されます。



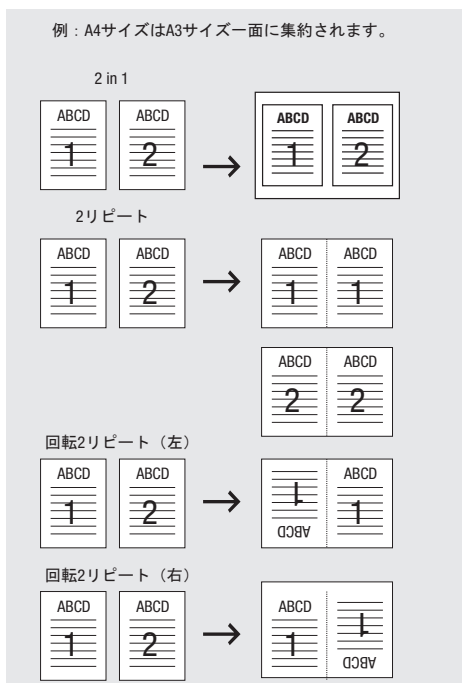
ページ割付詳細

ページ割付の [順序]、[境界]、[のりしろ線] を設定できます。



一枚集約

2 in 1、2 リPEAT機能を設定できます。

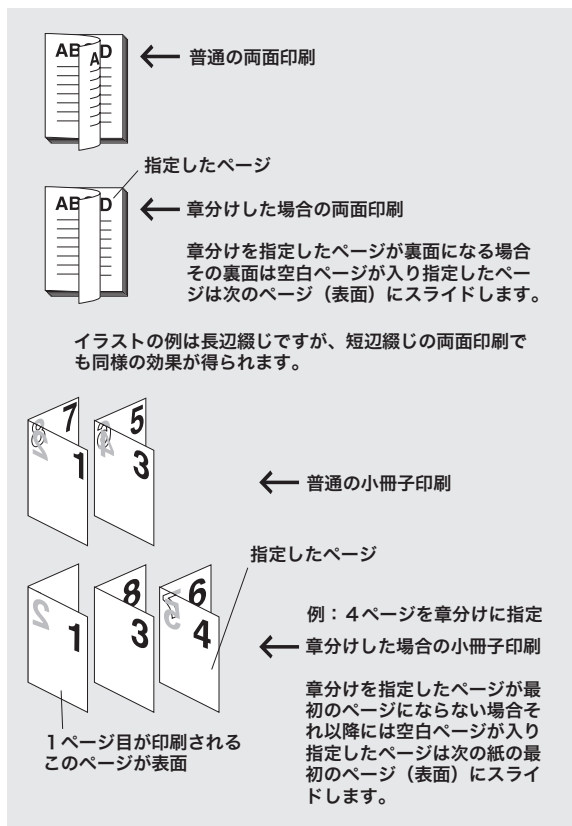


白紙抑制

白紙ページを印刷しない場合にチェックします。

章分け

表面にしたいページを「ページ番号入力」で指定します。複数ページを入力できます。ページ番号が離れた複数ページを入力する場合は、[2, 4, 6] のようにカンマを入力します。

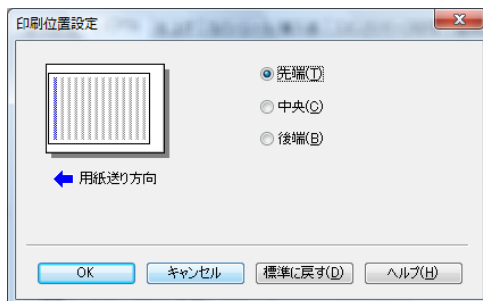


「章分け」は以下の場合設定できません。

- 「レイアウト」タブの「印刷種類」で「片面」が選択されている場合
- 「仕上げ」タブで「折り」が設定されている場合

印刷位置設定

印刷位置を [先端]、[中央]、[後端] から選択します。



印刷種類

印刷の種類を指定します。

[小冊子] を選択すると、[中とじ]、[断裁] の設定ができます。

無線とじ

無線とじをする場合に設定します。

出力後の用紙を 1 枚ずつ二つ折りにすると、本のようなページ順になります。

[無線とじ] は、以下の場合に設定できません。

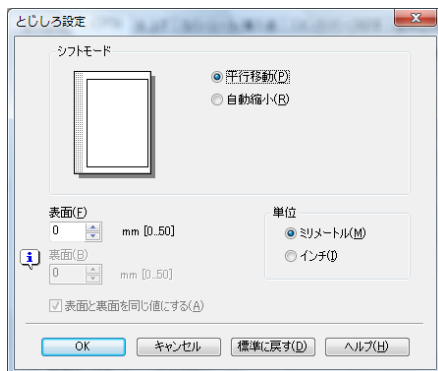
- [基本設定] タブで [印刷種類] が [両面] 以外に設定されている場合。

開き方向 / とじ方向

[ステープル]、[パンチ] などの機能を使用した場合のとじ位置を設定します。

とじしろ

出力用紙の表面と裏面にとじしろを設定できます。



表面と裏面を別々に設定するには、[表面と裏面を同じ値にする] チェックボックスを OFF にします。

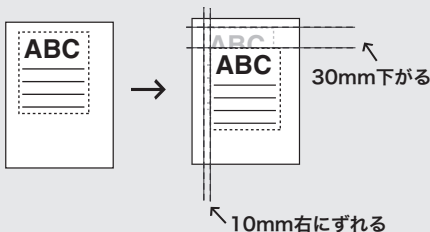
[平行移動] ラジオボタンを ON にすると、通常印刷される位置からとじしろ分平行移動した内容で、印刷することができます。

[自動縮小] ラジオボタンを ON にすると、通常印刷される位置のまま、内容を自動的に縮小して印刷することができます。

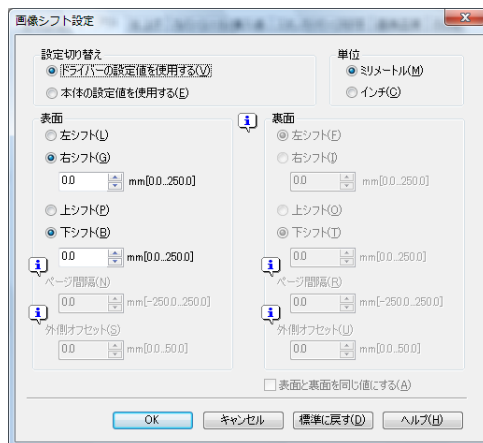
画像シフト

印刷するイメージを移動させる場合に設定します。

例：設定値を 右シフト 100、下シフト 300 にした場合
(設定値は0.1mm単位)



画像シフト設定



画像シフト設定 - 設定切り換え

イメージシフトの設定をプリンタードライバー側で行なうか、コピー機側で行なうかを選択します。

画像シフト設定 - 単位

イメージシフトの単位を指定します。

画像シフト設定 - 表面 / 裏面

表面 / 裏面の左右のシフト、上下のシフト、ページ間隔、外側オフセットのシフトを 0.1mm 単位で設定します。

[外側オフセット] は [小冊子] が設定されている場合に適用され、折った際の冊子の厚みを考慮し、外側にいくにしたがってページ間隔が広がるように調整する機能です。

画像シフト設定 - 表面と裏面を同じ値にする

裏面の設定を表面と同じ設定にする場合にチェックします。

タブ紙画像シフト

タブ紙（インデックス紙）に印刷するイメージを移動させる場合に設定します。

[タブ紙画像シフト] にチェックして、[タブ紙画像シフト設定] をクリックすると表示される [タブ紙画像シフト設定] ウィンドウで、シフト量を設定します。



この機能は、原稿内で編集したタブ部分の印字内容を、タブ紙のタブ部分に印字するための機能です。右方向にのみ 10-15mm (0.1mm 単位) シフトすることができます。

「ページ単位設定」(p. 8-53) において、ページ番号とタブ紙が設定されたトレイを設定することで、該当ページが指定されたシフト量だけ右へシフトします。

ただし、タブの位置を指定する機能がないため、あらかじめ原稿内で、タブの位置に正確な印字情報を配置しておく必要があります。



ワンポイントアドバイス

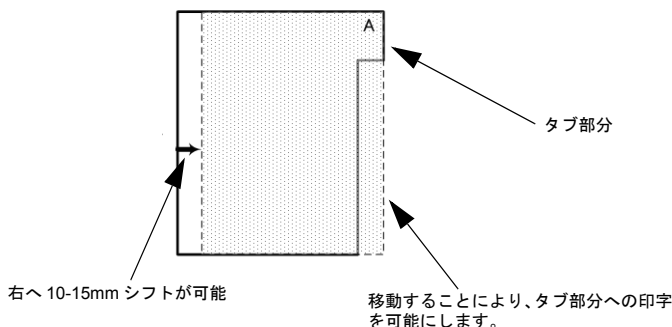
本機能で利用できる原稿サイズは A4、Letter のみです。

本体側でも、トレイ設定されていることが必要になります。

シフトしても、原稿は拡大縮小されません。

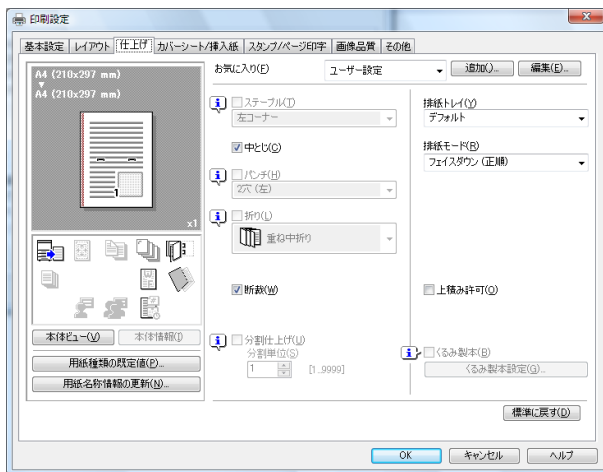
「画像シフト」(p. 8-37) との併用が可能です。

(本機能が ON の場合、[画像シフト] の設定は、タブ紙以外の用紙にのみ適用されます。)



8.14 仕上げタブ

仕上げに関する設定を行います。



ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

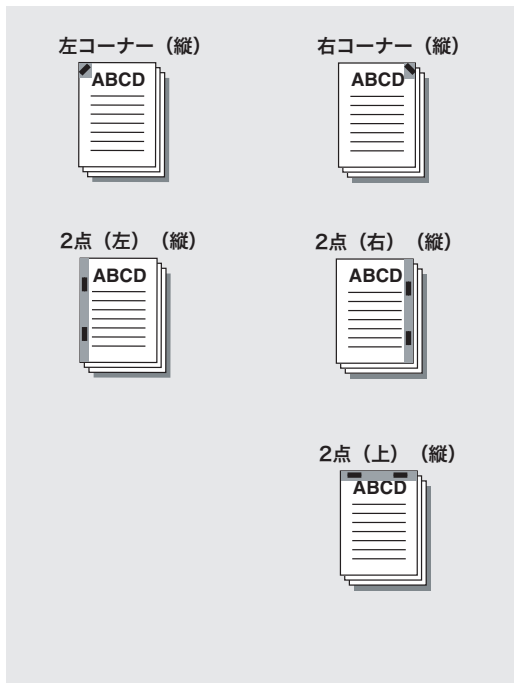
ステープル

ステープルを行なうかどうかの設定をします。



ワンポイントアドバイス)

とじ位置の設定によって、以下の組み合わせができます。



〔ステープル〕は、以下の場合に設定できません。

- 〔装置情報〕タブで〔平とじ機〕が設定されていない場合

中とじ

出力用紙を中とじにする場合に設定します。

中とじは、以下の場合は選択できません。

- 〔装置情報〕タブで、中とじ機が装着されていない場合

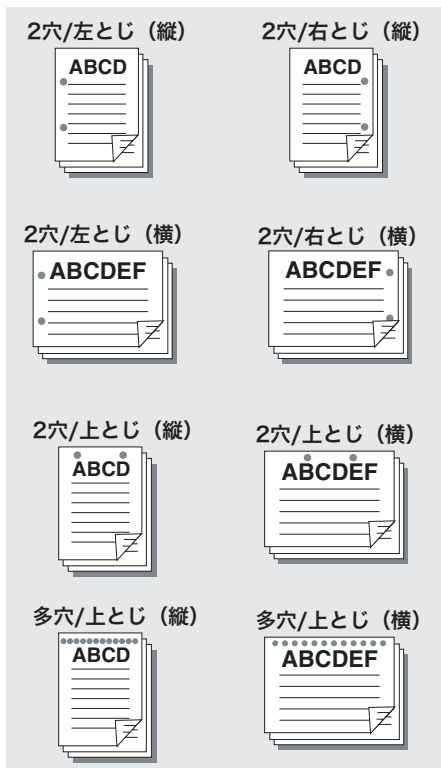
パンチ

パンチ穴を出力用紙に設定します。



ワンポイントアドバイス)

とじ位置の設定によって、以下の組み合わせができます。



[パンチ穴] は、以下の場合に設定できません。


- [装置情報] タブの [パンチ / マルチ折り機] が設定されていない場合

[多穴] は、以下の場合に設定できません。

- [装置情報] タブの [多穴] が設定されていない場合

折り

折りの種類を設定します。

イメージ	名称
	Z 折り
	中とじ
	中とじ + 断裁
	中折り内印刷
	中折り外印刷
	内三つ折り内印刷
	内三つ折り外印刷
	外三つ折り内印刷
	外三つ折り外印刷
	ダブルパラレル折り内印刷
	ダブルパラレル折り外印刷
	観音折り内印刷
	観音折り外印刷
	重ね三つ折り内印刷
	重ね三つ折り外印刷
	重ね中折り
	重ね中折り + 断裁

〔折り〕は、以下のユニットが装着している場合、設定可能です。

	パンチ/マルチ折り機	中とじ機
Z 折り	○	
中折り (内 / 外)	○	
内三つ折り (内 / 外)	○	
外三つ折り (内 / 外)	○	
ダブルパラレル折り (内 / 外)	○	
観音折り (内 / 外)	○	
重ね三つ折り (内 / 外)		○
重ね中折り	○	○

断裁

出力用紙を断裁する場合に設定します。

断裁は、以下の場合は選択できません。

- 〔装置情報〕タブで、中とじ機が設定されていない場合

分割仕上げ

ステープルをページごとに分割仕上げを設定する場合にチェックします。

〔分割仕上げ〕は、以下の場合に設定できません。

- 〔仕上げ〕タブで〔ステープル〕チェックボックスが OFF の場合。

分割仕上げ - 分割単位

分割仕上げをする場合の分割の単位を指定します。

排紙トレイ

排紙トレイを選択します。

排紙トレイは、以下の場合は設定できません。

- 〔装置情報〕タブで、排紙ユニットオプションが設定されていない場合
- 〔ステープル〕が設定されている場合は、排紙トレイで〔デフォルト〕と〔メイントレイ〕以外は設定できません。

排紙モード

印刷する用紙を上向きに出力するか、下向きに出力するかを選択します。

- フェイスダウン（正順）は、出力用紙の表面を下向きにして、ページ順に出力します。
- フェイスアップ（正順）は、出力用紙の表面を上向きにして、ページ順に出力します。
- フェイスアップ（逆順）は、出力用紙の表面を上向きにして、最後のページから逆順に出力します。

上積み許可

大容量スタックに印刷されたものがある場合に、上積みする許可を設定できます。

上積み許可をオフに設定しておくと、大容量スタックに上積み許可がされません。

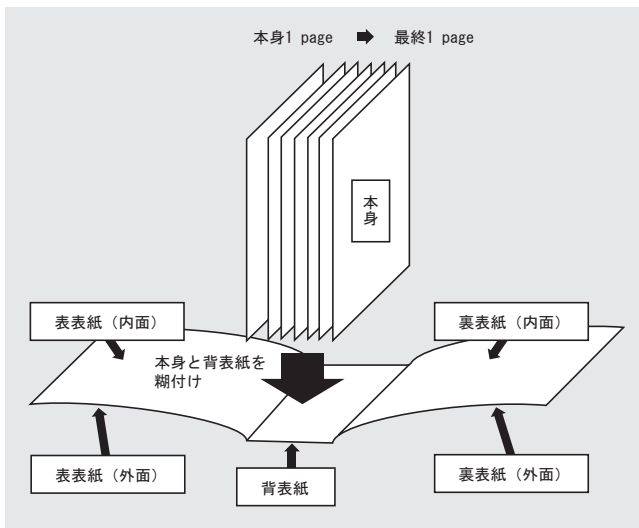
- 上積み許可がされていないジョブが、大容量スタックにあると、上積み許可をしても上積みはされません。

くるみ製本

くるみ製本機能は、くるみ製本機 (PB-502/503) によって原稿 (本身) の背部分を糊付けし、これを表紙でくるんで製本する機能です。

[くるみ製本] は以下の場合に設定できません。

- [情報装置] タブで PB-502/503 を設定していない場合



- 本身は折り曲げたり、断裁したりすることはありません。
- 上記イラストは「左とじ」です。「右とじ」にする場合は、「開き方向 / とじ方向」(p. 8-36) を参照してください。
- デフォルトは「左とじ」です。

〔くるみ製本〕で利用できる用紙サイズ・用紙種類・坪量は以下の通りです。

	使用可能サイズ	使用可能坪量	使用可能紙種
本身	定型紙 A4、B5、A5、8.5 × 11、 5.5 × 8.5、16K Z 折り時のみ可能 A3、B4、A4R、11 × 17、 8.5 × 11R、8K ※上記サイズに該当するワイド紙も使用可能です。 不定形紙 幅：150 ～ 307mm 長さ：140 ～ 221mm	62-91g/m ²	普通紙 塗工紙 上質紙 書籍紙 ラフ紙 未印字挿入紙 ※ OHP、穴あき紙は不可
表紙	不定形紙 幅：(最小)150 ～ 307mm 長さ：281 ～ (最大)483mm ※ただし表紙幅と本身幅を同じ長さにする必要があります。	72-161g/m ²	

表紙用紙は、使用するトレイによって利用できる幅・長さ・坪量が変わります。詳しくは「ユーザーズガイド（コピー編または本体編）」をご覧ください。

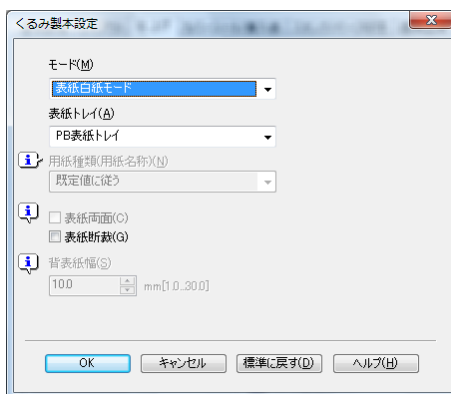
- 製本する本身枚数は 10 ～ 300 枚です。

- 1 印刷したい文書を開いて、アプリケーションの〔ファイル〕 - 〔印刷〕コマンドを選択します。

アプリケーションのプリント画面が表示されます。

- 2 〔プロパティ〕をクリックして、印刷設定画面を開き、〔仕上げ〕タブをクリックします。

- 3 〔くるみ製本モード〕にチェックを入れて、〔くるみ製本設定〕をクリックします。



〔くるみ製本モード〕は以下のモードに設定することが出来ます。

表紙白紙モード

表紙には何も印字せず、くるみのみ行う場合使用します。

〔表紙トレイ〕にセットされている原稿を表紙として扱います。

例) 〔表紙白紙モード〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像合成済み

表紙に使用する紙と同じサイズに表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿が既に準備されている場合、使用します。

表紙を両面印刷する場合は、表紙の裏面もあらかじめ作成しておく必要があります。

注意: 〔表紙画像合成済み〕では、〔PI トレイ〕、〔PB 表紙トレイ〕を使用することが出来ません。

例) 〔表紙合成済み〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像 2in1

表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ (n ページ) を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : [表紙画像 2in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

例) [表紙画像 2in1] でくるみ製本を行う場合



表紙画像 3in1

原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) を裏表紙に、そして最終ページ (n ページ) の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。

また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前 (n-2 ページ) までを本身として印字します。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : [表紙画像 3in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

例) [表紙画像 3in1] でくるみ製本を行う場合



用紙種類 (用紙名称)

既定値に従うか、用紙名称情報で登録された名称を使用するか選択します。

表紙両面

くるみ製本表紙を両面にしたい場合、[ON] にします。

表紙断裁

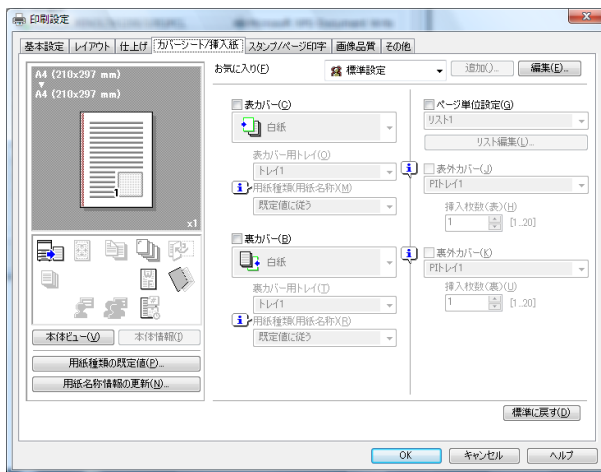
くるみ製本表紙を断裁する場合、[ON] にします。

背表紙幅

背表紙の幅を設定します。

8.15 カバーシート / 挿入紙タブ

表紙 / 挿入紙についての設定を行ないます。



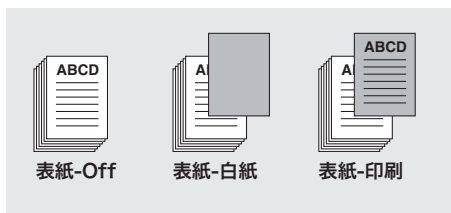
ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

表カバー

チェックを付けると表紙を挿入します。



表カバー - 白紙

表紙の用紙に印刷しないで出力します。

表カバー - 印刷

表紙の用紙に印刷して出力します。

表カバー - 表カバー用トレイ

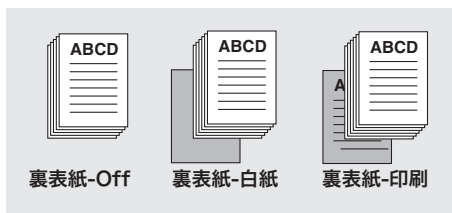
表紙用の給紙トレイを指定します。

用紙種類 (用紙名称)

既定値に従うか、用紙名称情報で登録された名称を使用するか選択します。

裏カバー

チェックを付けると裏表紙を挿入します。

**裏カバー - 白紙**

裏表紙の用紙に印刷しないで出力します。

裏カバー - 印刷

裏表紙の用紙に印刷して出力します。

裏カバー - 裏カバー用トレイ

裏表紙用の給紙トレイを指定します。

用紙種類 (用紙名称)

既定値に従うか、用紙名称情報で登録された名称を使用するか選択します。

ページ単位設定

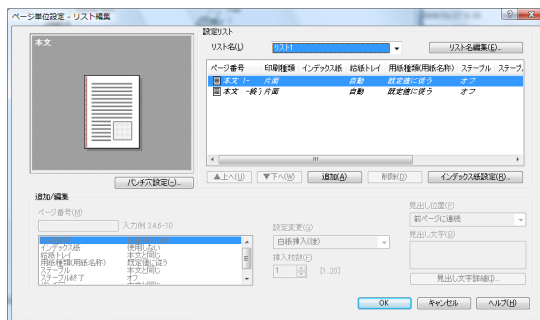
印刷種類、ステープルなどをページ単位で設定しておき、いつでも読み出せるようにすることができます。

ページ単位設定 - リスト

ページ単位設定したリストが表示されます。

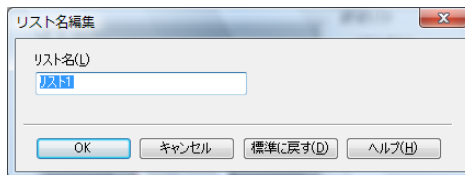
ページ単位設定 - リスト編集

リスト編集画面を表示します。



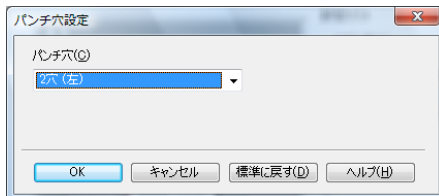
ページ単位設定 - リスト名編集

[リスト名編集] をクリックすると、リスト名を編集できます。

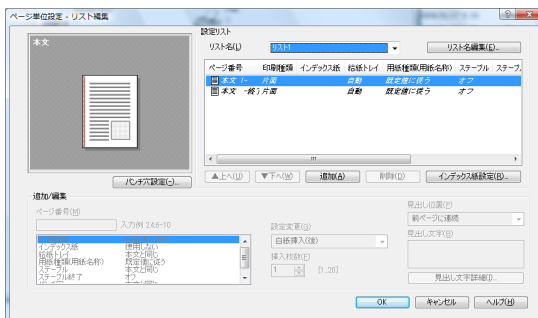


ページ単位設定 - パンチ設定

ページ単位設定でパンチ機能を使用する場合のパンチ穴を設定します。



ページ単位設定 - 追加



ページ単位設定 - 追加 / 編集 - ページ番号

ページ単位設定のページの範囲を入力します。複数ページを入力できます。ページ番号が離れた複数ページを入力する場合は、[2, 4, 6] のようにカンマを入力します。



ワンポイントアドバイス

[ページ番号] では、最大で 100 個のページ範囲を指定できます。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - 印刷種類

ページ単位設定の印刷の種類として、[白紙挿入]、[片面印刷]、[両面印刷] のいずれかを指定します。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - インデックス紙

ページ単位設定で使用するインデックス紙を指定します。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - 給紙トレイ

ページ単位設定で使用する給紙トレイを指定します。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - 用紙種類 (用紙名称)

ページ単位設定で使用する、給紙トレイに関連付ける用紙名称情報を指定します。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - ステープル

ページ単位設定のステープルをするかどうかを設定します。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - ステープル終了

ステープルを終了させる場合にチェックします。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - パンチ穴

ページ単位設定のパンチ機能を使用するかどうかを設定します。

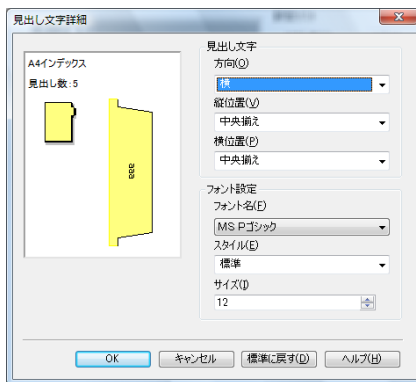
ページ単位設定 - 追加 / 編集 - 見出し位置

インデックス紙のタブの位置を選択します。

ページ単位設定 - 追加 / 編集 - 見出し文字

インデックス紙を使用する場合、インデックス紙のタブ部分に入れる文字を入力します。

ページ単位設定 - 追加 - 見出し文字 詳細



見出し文字詳細 - 見出し文字 - 方向

見出し文字の方向を選択します。

見出し文字詳細 - 見出し文字 - 縦位置

見出し文字の縦位置を選択します。

見出し文字詳細 - 見出し文字 - 横位置

見出し文字の横位置を選択します。

見出し文字詳細 - フォント設定 - フォント名

見出し文字のフォントが表示されます。[フォント変更] を押すと設定を変更できます。

見出し文字詳細 - フォント設定 - スタイル

見出し文字のスタイルが表示されます。[フォント変更] を押すと設定を変更できます。

見出し文字詳細 - フォント設定 - サイズ

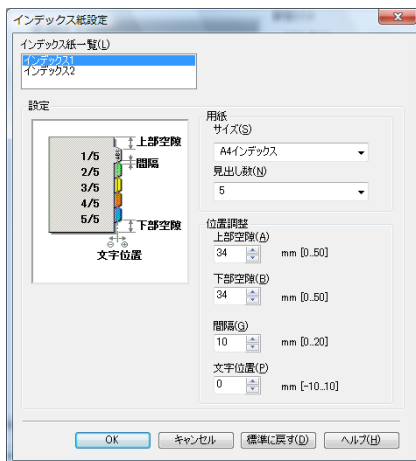
見出し文字のサイズが表示されます。[フォント変更] を押すと設定を変更できます。

ページ単位設定 - 削除

リストに表示されているページ単位設定を選択して、このボタンを押すと、選択したページ単位設定を削除することができます。

ページ単位設定 - インデックス紙設定

インデックス紙の設定をします。



インデックス紙設定 - インデックス紙一覧

設定するインデックス紙の分け方を指定します。

インデックス紙設定 - 用紙 - サイズ

インデックス紙の用紙サイズを指定します。

インデックス紙設定 - 用紙 - 見出し数

インデックス紙のタブの数を指定します。

インデックス紙設定 - 位置調整 - 上部空隙

上部スペースを 0 ～ 50mm の間で指定します。

インデックス紙設定 - 位置調整 - 下部空隙

下部空隙を 0 ～ 50mm の間で指定します。

インデックス紙設定 - 位置調整 - 間隔

各タブの間隔を 0 ～ 20mm の間で指定します。

インデックス紙設定 - 位置調整 - 文字位置

タブに入れる文字の位置を -10 ～ 10mm の間で指定します。

表外カバー / 裏外カバー

PI トレイにセットした用紙を表カバーまたは裏カバーとして挿入するかどうかを指定します。表カバーと裏カバーのどちらかまたは両方を指定することができます。

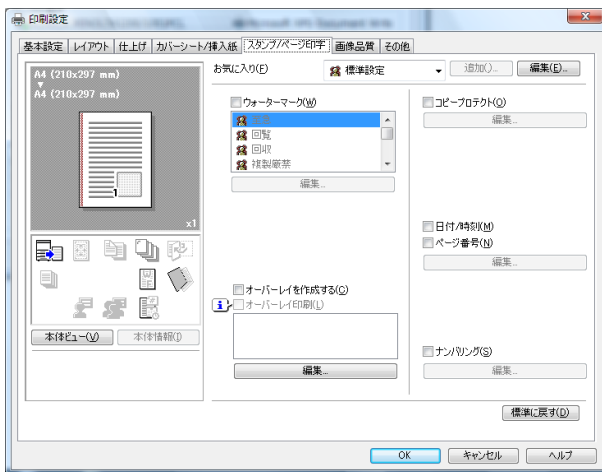
また、表カバー / 裏カバーそれぞれ最大で 20 枚、連続挿入することができます。

PI カバーシートは以下の場合は設定できません。

- [装置情報] タブで、大容量 PI ユニットが設定されていない場合

8.16 スタンプ/ページ印字タブ

ウォーターマーク（透かし）についての設定を行います。



ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

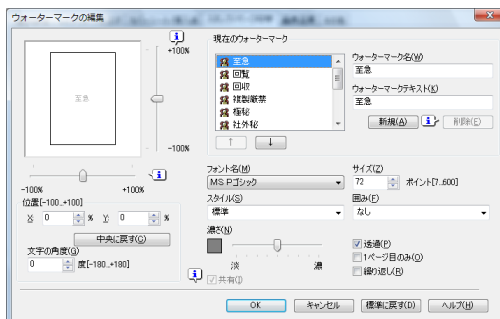
各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

ウォーターマーク

ウォーターマークの有無、種類を、[なし]、[至急]、[回覧]、[回収]、[複製厳禁]、[極秘]、[社外秘]、[重要]、[仮]、[Confidential]、[DRAFT]、[COPY] から選択します。

ウォーターマーク - 編集

ウォーターマークの内容を追加または編集できます。



新規

ユーザーが編集したウォーターマークを追加します。[新規] をクリックして、[ウォーターマーク名] および [ウォーターマークテキスト] に入力するとウォーターマークが追加されます。

削除

選択したウォーターマークをリストから削除します。

ウォーターマーク名

ウォーターマーク名を入力します。

ウォーターマークテキスト

選択したウォーターマークが表示され、編集することができます。また、[新規] をクリックして新たに文字を入力することもできます。

フォント名

ウォーターマークのフォントを設定します。

サイズ

ウォーターマークのフォントサイズを設定します。

スタイル

ウォーターマークのフォントスタイルを設定します。

罫み

ウォーターマークのフォントにフレームをつける場合に設定します。

濃さ

文字の濃さをスクロールバーで設定します。

透過

[透過] チェックボックスを ON にすると、文字の網パターンの背景を透過するように印刷します。チェックを付けない場合は、文字の網パターンの背景は白になり、陰になった印刷データは印刷されません。

1 ページ目のみ

チェックを付けると、ウォーターマークを最初のページだけに印刷します。チェックを付けない場合は、全ページにウォーターマークを印刷します。

繰り返し

ウォーターマークのパターンを繰り返す場合に設定します。

位置

ウォーターマークの印刷位置を、スクロールバーで設定します。

位置 - 中央に戻す

ウォーターマークを用紙の中央に配置します。

文字の角度

ウォーターマークの回転角をスクロールバーで設定します。

共有

ユーザーが作成したウォーターマークを他のユーザーが使用できるようにする場合に設定します。

オーバーレイ作成

オーバーレイを作成するには、以下の操作を行います。

- 1 お手持ちのアプリケーションで、オーバーレイを作成します。
- 2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。



ワンポイントアドバイス

お使いのアプリケーションによって、選択するメニューは異なります。

- 3 [KONICA MINOLTA 1200/1051 PCL] を選択します。
- 4 [プロパティ] をクリックします。
- 5 [スタンプ/ページ印字] タブをクリックします。
- 6 [オーバーレイ作成] を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。
プロパティ画面が閉じます。
- 8 [印刷] をクリックします。
- 9 オーバーレイファイルの保存先を指定します。
- 10 [保存] をクリックします。
ファイルの拡張子は、.KFO で保存されます。

オーバーレイ印刷

オーバーレイを印刷するときは、次のような手順で行います。

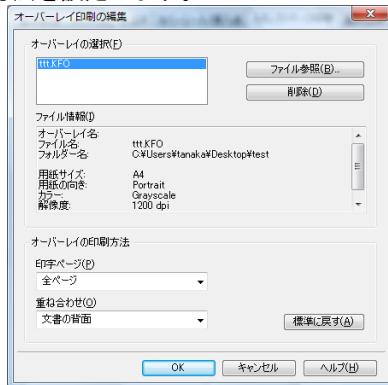
- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。



ワンポイントアドバイス

お使いのアプリケーションによって、選択するメニューは異なります。

- 2 [KONICA MINOLTA 1200/1051 PCL] を選択します。
- 3 [プロパティ] をクリックします。
プロパティ画面が開きます。
- 4 [スタンプ/ページ印字] タブをクリックします。
- 5 [オーバーレイ印刷] を選択して、表示されるオーバーレイファイルを確認します。
 - オーバーレイ印刷方法を設定するには [編集] をクリックして、印刷方法を設定します。



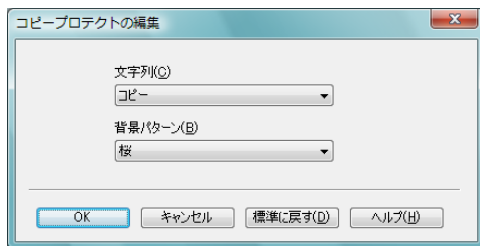
- 6 [OK] をクリックします。
プロパティ画面が閉じます。
- 7 [印刷] をクリックします。

オーバーレイデータと一緒に、印刷する文書がオーバーレイデータの上に重ねて印刷されます。

印刷が終わったら、[オーバーレイ印刷] のチェックボックスをオフにしてください。

コピープロテクト

不正コピー防止の為に、コピープロテクトを設定して印刷したい場合にチェックボックスをオンにして「編集」をクリックします。

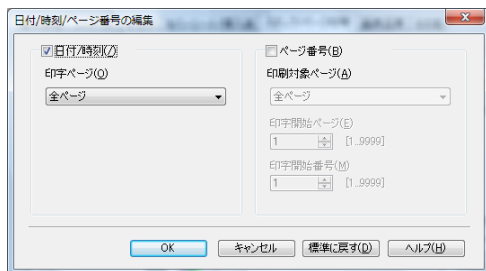


文字列 不正コピー防止の為に牽制文字を選択します。

背景パターン 印刷文書の背景パターンを選択します。

日付 / 時刻

日付、時刻を印刷したい場合にチェックボックスをオンにして「編集」をクリックします。



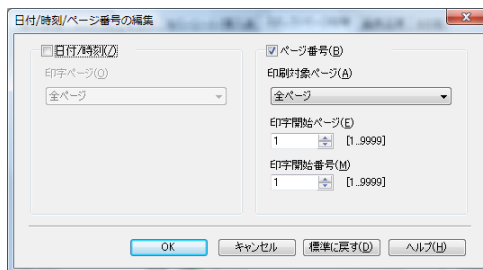
日付 / 時刻 - 印字ページ

全ページ 日付 / 時刻が、全ページに印刷されます。

先頭ページのみ 日付 / 時刻が、先頭ページのみに印刷されます。

ページ番号

ページ番号を印刷したい場合にチェックボックスをオンにして [編集] をクリックします。



ページ番号 - 印刷対象ページ

- 全ページ ページ番号が、全ページに印刷されます。
- 1 ページ目以外 ページ番号が、1 ページ目以外に印刷されます。
- 1 ページ目と最終ページ以外 ページ番号が、1 ページ目と最終ページ目以外に印刷されます。

ページ番号 - 印字開始ページ

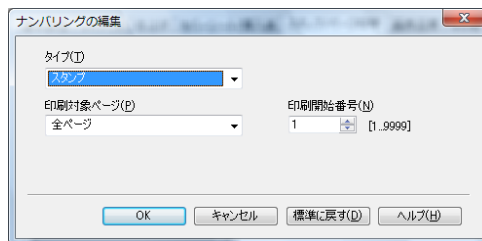
印刷を開始するページを指定します。

ページ番号 - 印字開始番号

印刷を開始するページ番号を指定します。

ナンバリング

ナンバリングを設定したい場合にチェックボックスをオンにして [編集] をクリックします。



ナンバリング - タイプ

ナンバリングのタイプとして [スタンプ] か [ウォーターマーク] のどちらかを選択します。

[スタンプ] ナンバリングされたものがドキュメントの上に印刷されます。

[ウォーターマーク] ナンバリングされたものがドキュメントの下に印刷されます。

ナンバリング - 印刷対象ページ

ナンバリングを印刷するページを指定します。

全ページ ナンバリングが、全ページに印刷されます。

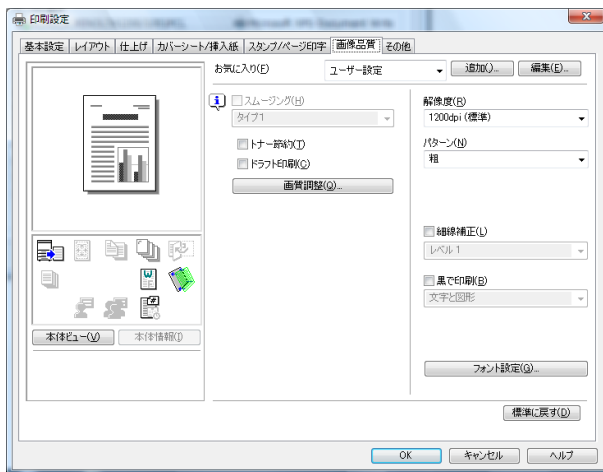
先頭ページのみ ナンバリングが、先頭ページのみに印刷されます。

ナンバリング - 印刷開始番号

ナンバリングの印刷を開始するページ番号を指定します。

8.17 画像品質タブ

印刷データの回転、反転、解像度などを指定します。



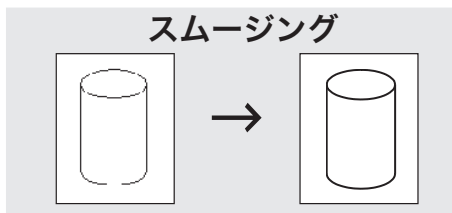
ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (8-1 ページ) を参照してください。

スムージング

文字やグラフィックスの曲線をなめらかにして印刷する場合に設定します。



- [タイプ 1] は、一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。
- [タイプ 2] は、一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。
- [タイプ 3] は、飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。

- 解像度が [1200dpi] に設定されている場合、スムージングは機能しません。

トナー節約

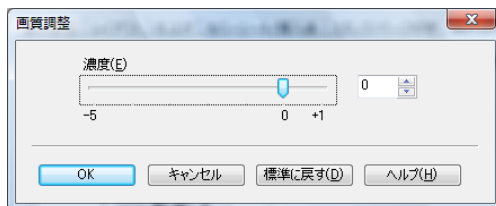
印刷濃度をおさえてトナーの使用量を節約します。

ドラフト印刷

文字以外のものを粗く印刷します。

画質調整

グラフィックの印刷濃度を調整します。濃すぎる場合はスライダーをマイナスの方に移動し、薄すぎる場合はプラスの方に移動します。



ワンポイントアドバイス)

[濃度 -2] は、[トナー節約] を設定した場合と同じ濃度になります。また、[濃度 -4] は、[ドラフト印刷] を設定した場合と同じ濃度になります。

設定項目	印刷濃度
0	100%
+1	110%
-1	90%
-2	80%
-3	70%
-4	60%
-5	50%



ご注意)

印刷濃度は目安として表示しています。

解像度

解像度を 1200dpi (高品質) / 600dpi (高品質) / 1200dpi (標準) / 600dpi (標準) から選択します。

パターン

ディザパターンを [密] または [粗] から選択します。

細線補正

文字を細くして読みやすくしたい場合に設定します。

- 細線補正は、レベル 1～4 で選択します。レベルの数が多いほど文字を細く印刷できます。

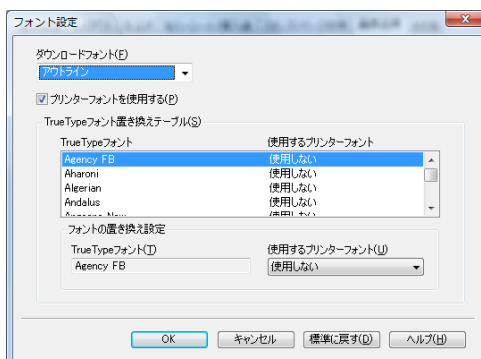
黒で印刷

白以外のものを黒で印刷する場合に設定します。

- [文字のみ] 文字をはっきりとした黒で印刷することができます。
- [文字と図形] 色付き文字や線、図形などをはっきりとした黒で印刷することができます。
- [すべて] 写真画像のようなイメージデータを含む全ての対象について、白以外の部分ははっきりとした黒で印刷することができます。

フォント設定

フォントに関する設定を行ないます。



ダウンロードフォント

ダウンロードするフォントの形式を選択します。

プリンターフォントを使用する

プリンターフォントを使用するとデータの容量を軽くすることができます。



...

ご注意)

プリンターフォントを使用するとプリントデータの容量を軽くすることができますが、フォントが置き換わることで、データイメージとプリント結果が異なる場合があります。

TrueType フォントを使用する場合は、使用している TrueType フォントのデータを直接プリンターに送信するので、データイメージと同じプリント結果を得ることができます。

TrueType フォント置き換えテーブル

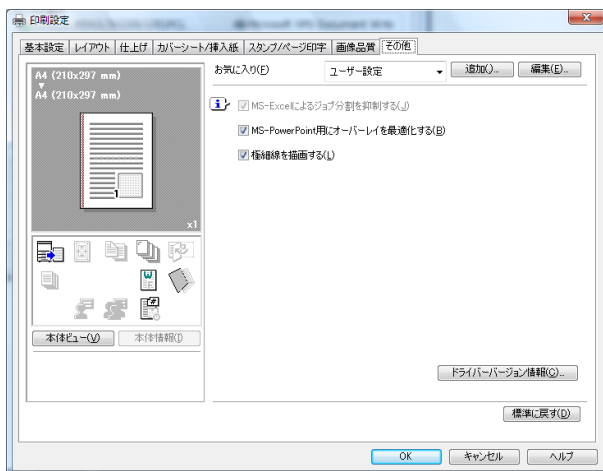
TrueType フォントとプリントフォントを使用するかどうかが一覧表示されます。

使用するプリンターフォント

TrueType フォント置き換えテーブルで、選択されているフォントを置き換えるかどうかを設定します。

8.18 その他タブ

プリンタードライバーのバージョン情報などを確認することができます。



ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、「プロパティ画面について」(8-1 ページ) を参照してください。

MS-Excel によるジョブ分割を抑制する

Microsoft Excel でページ設定の異なる複数のシートを同時に印刷する場合に、データによっては、シートごとのジョブに分割される場合があります。この機能にチェックすると、ジョブの分割をできるだけ抑制します。



ワンポイントアドバイス

「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」、「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」の設定は、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003 (全て 64bit 版) では使用できません。

「MS-Excel によるジョブ分割を抑制する」は、「プリンタ」(Windows XP/Server 2003 の場合は「プリンタと FAX」) ウィンドウで、プリンタードライバーの設定ダイアログを表示した場合のみ

変更できません。

MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する

Microsoft PowerPoint のデータにオーバーレイファイルを重ねて印刷する場合に、PowerPoint データの白背景がオーバーレイファイルを隠さないように、白色部分を除去します。チェックをはずすと、背景を除去せず、原稿データどおりに印刷します。



ワンポイントアドバイス)

「MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する」、「極細線を描画する」の機能は PCL ドライバーのみの機能です。

極細線を描画する

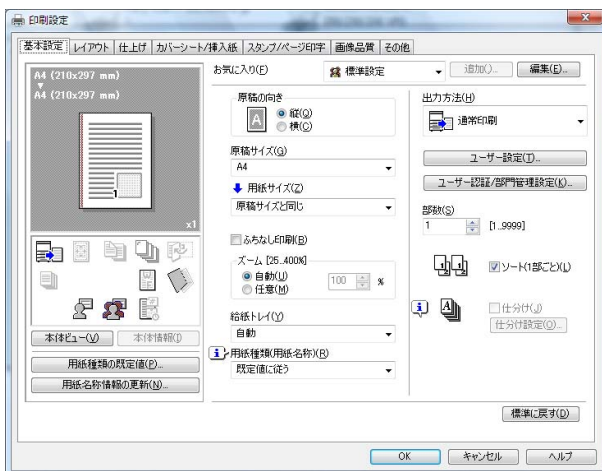
文書の極細線を印刷します。

ドライババージョン情報

お使いのプリンタードライバーのバージョンを表示します。

8.19 お気に入り

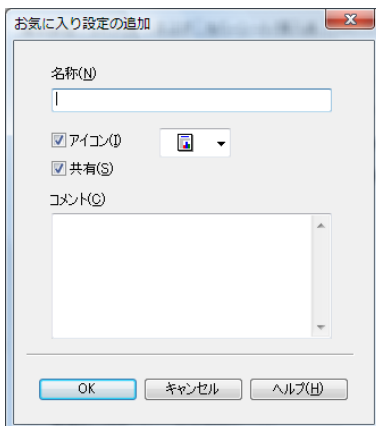
プリンタードライバーで設定した内容を保存して、必要に応じて設定内容を読み出すことができます。



設定を保存するには

現在のドライバーの設定を保存する方法は以下の通りです。

- 1 プリンタードライバーを保存したい設定にして「追加」をクリックします。
- 2 保存する名称を入力して、必要に応じてアイコンチェックボックスと共有チェックボックスを設定します。



- アイコンチェックボックスをオンにすると、リストから使用するアイコンを選択できます。
- 共有チェックボックスを洗濯すると、保存した設定を共有することができます。

3 [OK] をクリックします。

設定内容が保存され、[お気に入り] プルダウンメニューに、入力した名前が表示されます。

保存した設定を呼び出すには

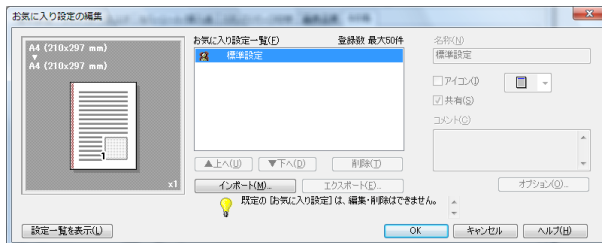
保存した設定内容は、必要に応じて呼び出すことができます。

- 1** [お気に入り] プルダウンメニューをクリックします。
- 2** 表示されたリストから、呼び出したい設定を選択します。

お気に入りのインポート

お気に入り設定ファイルは、インポートすることができます。

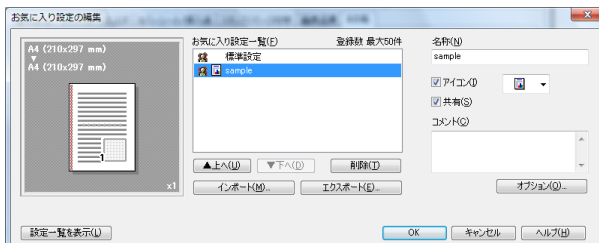
- 1 お気に入りの「編集」をクリックします。
- 2 「インポート」をクリックして、インポートしたいお気に入り設定ファイル（拡張子 .KFS）を選択して「開く」をクリックします。



お気に入りのエクスポート

お気に入りの保存した設定は、エクスポートすることができます。

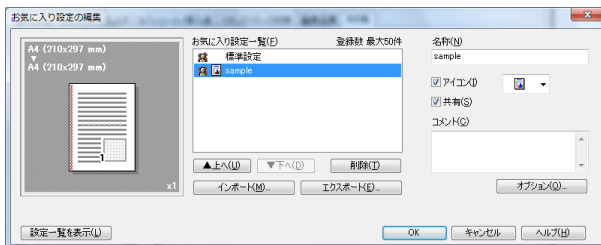
- 1 お気に入りの「編集」をクリックします。
- 2 エクスポートしたい設定ファイルを一覧から選択して、「エクスポート」をクリックして、保存先を指定して「保存」をクリックします（拡張子 .KFS）。



お気に入りの削除

お気に入りの保存した設定は、削除することができます。

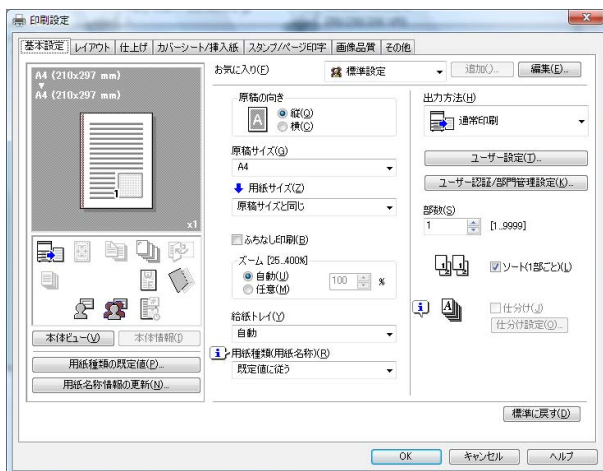
- 1 お気に入りの [編集] をクリックします。
- 2 削除したい設定ファイルを一覧から選択して、[削除] をクリックします。



- 3 確認画面で [はい] をクリックします。

8.20 ビューエリア

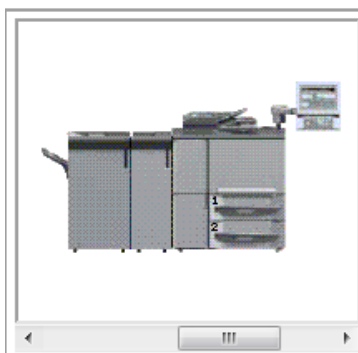
プリンタードライバーの設定内容やオプションユニットの状態を確認することができます。



オプションユニットの状態を確認するには

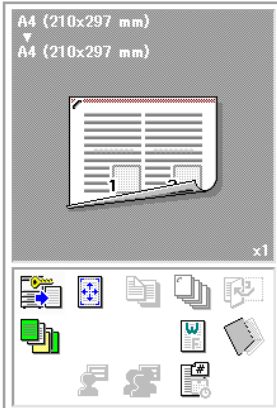
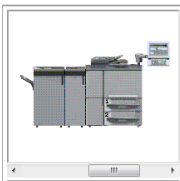




オプションユニットの状態をアイコンで確認することができます。

- 1 「本体ビュー」をクリックします。



ドライバーの設定内容を確認するには

ドライバーの設定内容は、[本体ビュー] の下にあるリストで表示されます。

イメージビュー	設定内容	イメージサンプル
用紙イメージ	ページ割付 両面 セキュリティ印刷 画像シフト カバー ウォーターマーク	
本体ビュー	コピー機本体 / オプション 給紙ユニット 排紙トレイ	
イメージアイコン	表紙 裏表紙 ページ単位設定	
	ウォーターマーク	
	セキュリティ印刷	
	画像シフト	



...

ワンポイントアドバイス)

イメージアイコンについての詳細は、ヘルプを参照してください。

9 PostScript PPD ドライバーの設定 (Windows)

この章では、Windows 用 PostScript PPD ドライバーの設定について説明します。

9.1 プロパティ画面について

本章では、Windows Vista のプロパティ画面を使って、PPD ドライバーでできる様々な設定について説明しています。

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

Windows 2000

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。

Windows XP/Server 2003

[スタート] - [プリンタと FAX] を選択して**プリンタと FAX ウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。

Windows Vista/Server 2008

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**プロパティ**を選択します。

なお、印刷設定画面の開き方も、お使いの OS によって異なります。

Windows 2000

[スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**印刷設定**を選択します。

Windows XP/Server 2003

[スタート] - [プリンタと FAX] を選択して**プリンタと FAX ウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**印刷設定**を選択します。

Windows Vista/Server 2008

[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択して**プリンタウィンドウ**を開き、プリンターアイコンを右クリックして、**印刷設定**を選択します。

9.1.1 プロパティ画面

プリンタードライバーの設定を選択 / 変更するには、以下の 2 つの方法があります。

プリンタウィンドウのプロパティ画面で設定する方法

プリンタウィンドウのプロパティ画面から設定した場合、すべてのアプリケーションから印刷する際に適用されます。

印刷するごとにアプリケーションで設定する方法

各アプリケーションの印刷コマンドで表示される印刷ダイアログで、プリンターを選択して設定します。この場合、そのアプリケーションが使用中の場合のみに有効になります。



...

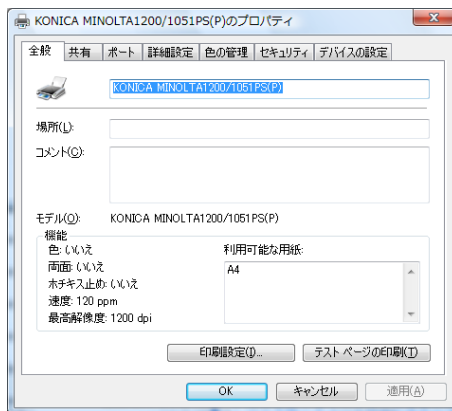
ご注意)

本章では、Windows Vista のプリンタウィンドウのプロパティ画面を使って説明をします。

プロパティ画面は、アプリケーションの印刷コマンドで表示される画面とは、若干異なります。

9.2 ボタンについて

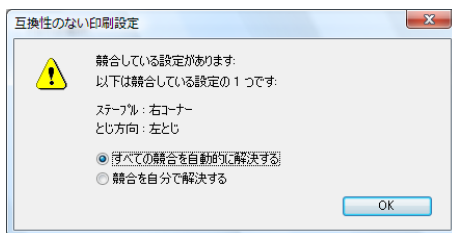
プロパティ画面の各タブに共通のボタンを以下に示します。



ボタン名	機能
OK	[OK] をクリックすると、すべてのタブの設定内容を保存してプロパティ画面を閉じます。
キャンセル	[キャンセル] をクリックすると、すべてのタブの設定内容変更を保存せずに、プロパティ画面を閉じます。
適用	[適用] をクリックすると、現在のタブの設定内容を保存します。 引き続き他のタブを使用して設定を行う場合で、他のタブに移る前に現在のタブの設定内容を登録する場合に使用します。

9.3 機能の組み合わせ

設定したい機能を選択した場合に、すでに設定されている機能を変更するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。

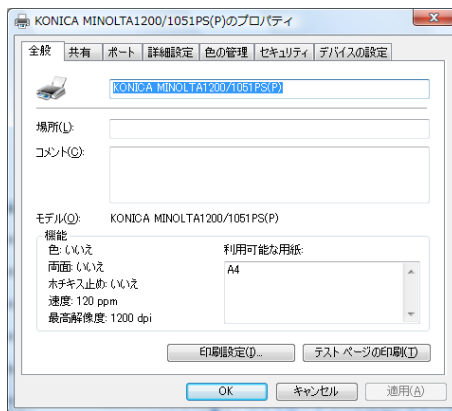


これは機能の組み合わせができない場合に、どちらかの機能を OFF にするための確認メッセージです。

この確認メッセージが表示された場合は、[すべての競合を自動的に解決する] または [競合を自分で解決する] のいずれかを選択して、どちらかの機能を変更します。[すべての競合を自動的に解決する] を選択した場合、先に設定した機能を OFF にします。

9.4 全般タブ

アプリケーションを使用しないで、プリンタードライバーから直接にプリンターの印字テスト（テストページの印刷）を行うことができます。



ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

場所

会議室、ミーティングルームなど、プリンターの場所を入力します。

コメント

「営業部用」、「ドキュメントチーム用」などプリンターに関する情報を入力します。

印刷設定

プリンターの印刷方法を設定するプロパティ画面が表示されます。プロパティ画面からプリンタードライバーの設定を変更することができます。

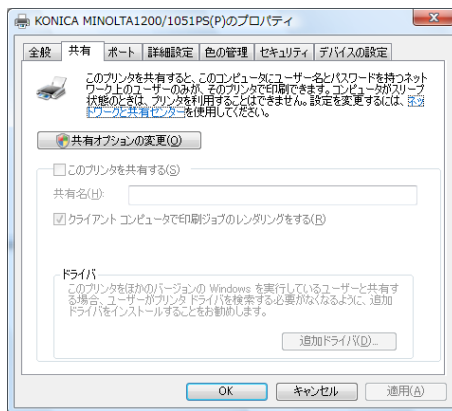
テストページの印刷

テストページが実行されます。

アプリケーションを使用せずに、プリンタードライバーから Windows 標準のテストページを印刷することができます。

9.5 共有タブ

プリンターの共有設定を行います。コンピューターをスタンドアロンで使用している場合は、表示されません。



ワンポイントアドバイス)

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

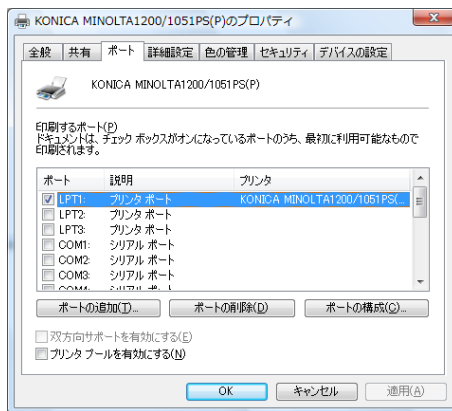
各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について" (9-1 ページ) を参照してください。

共有タブを使用すると、ネットワークユーザーがこのプリンターを利用できるようになります。

プリンター共有については、Windows の解説書を参照してください。

9.6 ポートタブ

印刷先のポートに関する設定を行います。



...

ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

ポートの追加

ポートモニター、TCP/IP あるいは、Unix プリンター (LPR ポート) などの新しいポートを追加することができます。

ポートの削除

リストから選択したポートを削除します。

ポートの構成

リストから選択したポートの構成を確認できます。

プリンタプールを有効にする

複数のプリンターで印刷を可能にします。



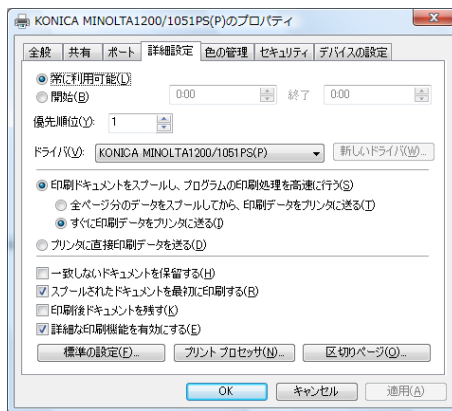
...

ワンポイントアドバイス

ポートについての詳細は、Windows の解説書を参照してください。

9.7 詳細設定タブ

印刷に使用するドライバー、ローカルポートのタイムアウト、スプールに関する設定を行います。



ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。
各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

詳細設定の画面の詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

常に利用可能 / 開始

プリンターを常に利用するか、または時間制限を設けて利用するかを設定します。

優先順位

現在の設定の優先順位を設定します。

ドライバ

インストールされているプリンタードライバー名が表示されます。

【新しいドライバ】

新しくプリンタードライバーをインストールすることができます。

印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う
印刷する前に、印刷データをスプールさせる設定にします。

プリンタに直接印刷データを送る

プリンターに印刷データを直接送信します。

一致しないドキュメントを保留する

プリンターの設定に一致しないドキュメントを保留にします。

スプールされたドキュメントを最初に印刷する

優先順位に関係なく、スプールされたドキュメントを最初に印刷します。

印刷後ドキュメントを残す

印刷後にスプールされたドキュメントのデータを残します。

詳細な印刷機能を有効にする

印刷の応用機能を有効にします。

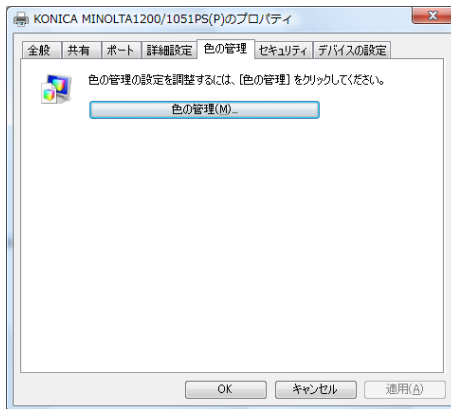


ワンポイントアドバイス)

詳細設定タブの詳細については、Windows の解説書を参照してください。

9.8 色の管理タブ

カラープリンターにカラープロファイルを関連付けることができます。



...

ワンポイントアドバイス

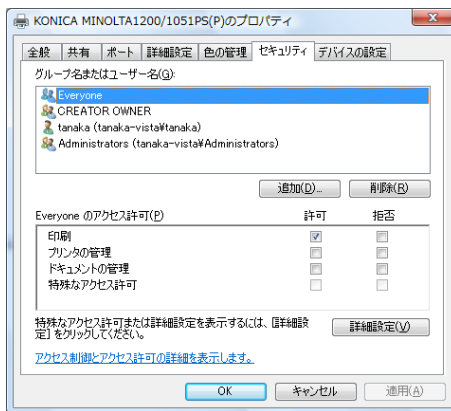
プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

本プリンティングシステムでは、色の管理タブは使用できません。

9.9 セキュリティタブ

セキュリティに関する設定ができます。



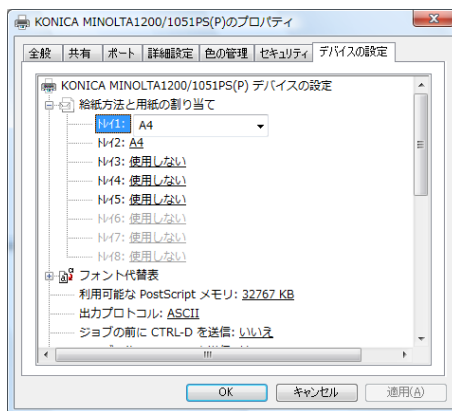
ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。
各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

セキュリティタブの詳細は、Windows の解説書を参照してください。

9.10 デバイスの設定タブ

PostScript の設定やインストール可能なオプションの設定を行ないます。



ワンポイントアドバイス

プロパティ画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS のプロパティ画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

給紙方法と用紙の割り当て

使用するトレイに用紙サイズを設定します。

選択できる用紙サイズ
使用しない
11 x 17 W
12 x 18
12 x 18 W
16K
5 1/2 x 8 1/2 W
8 1/2 x 11 W
8 1/2 x 11 インデックス
8 1/2 x 13
8 1/4 x 13
8 1/8 x 13 1/4
8K
8 x 13

選択できる用紙サイズ
9 x 11
A3
A4
A4 インデックス
A4 ワイド
A5
A5 ワイド
B4
B4 (ISO)
B4 W
B4 W (ISO)
B5
B5 (ISO)
B5W (ISO)
ISOB4
ISO-B4
Legal
Letter
SRA3
SRA4
Statement
Tabloid
はがき

初期設定は、A4 です。

フォント代替表

TrueType フォントの代替になるプリンターフォントまたは [<Don't Substitute> (代替しない)] を選択します。

利用可能な PostScript メモリ

利用可能な PostScript メモリを設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

出力プロトコル

出力プロトコルを設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

ジョブの前に CTRL-D を送信

プリントジョブの前に [CTRL-D] を送信するかどうかを設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

ジョブの後に CTRL-D を送信

プリントジョブの後に [CTRL-D] を送信するかどうかを設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

グレーテキストを PostScript グレーに変換する

ドキュメント内にあるグレーテキストを PostScript グレーに変換するかどうかを設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

グレーグラフィックスを PostScript グレーに変換する

ドキュメント内にあるグレーグラフィックスを PostScript グレーに変換するかどうかを設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

欧州通貨記号を PostScript フォントに追加する

欧州通貨記号を PostScript フォントに追加するかどうかを設定します。詳細は、詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

ジョブタイムアウト

プリントジョブが完了するまでの時間を秒単位で設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

印刷待ちタイムアウト

印刷プロセス中に、コンピューターから送られるプリントジョブをプリンターが処理できるまでの時間を設定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

アウトラインとしてダウンロードする下限フォントサイズ

アウトラインとしてダウンロードするフォントサイズの下限を指定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

ビットマップとしてダウンロードする上限フォントサイズ

ビットマップとしてダウンロードするフォントサイズの上限を指定します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

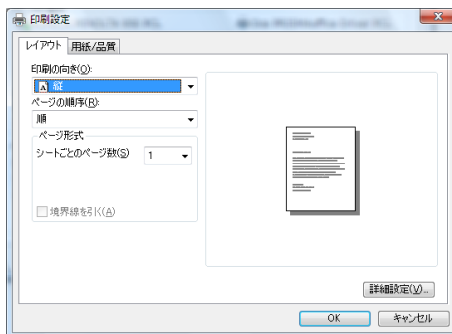
インストール可能なオプション

本プリンティングシステムでは以下のオプションをインストールできません。

プリンターメモリ	2GB / 1GB
平とじユニット	なし / FS-521
中とじユニット	なし / SD-506
大容量スタッカ	なし / LS-505 / LS-505 (2 連結)
パンチ / マルチ折りユニット	なし / FD-503 (2/3 穴) / FD-503 (2/4 穴)
給紙ユニット	なし / PF-702 / PF-703 / PF-702 + PF-703 / PF-703 (2 連結)
大容量 PI ユニット	なし / PF-703 (PI)
くるみ製本	なし / PB-502/503
マルチパンチユニット	なし / GP-501

9.11 レイアウトタブ

印刷の向き、印刷するページの順序、シートごとのページの割り付けの設定を行います。



...

ワンポイントアドバイス

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

印刷の向き

印刷する向きを選択します。

縦 / 横 / 横置きに回転

ページの順序

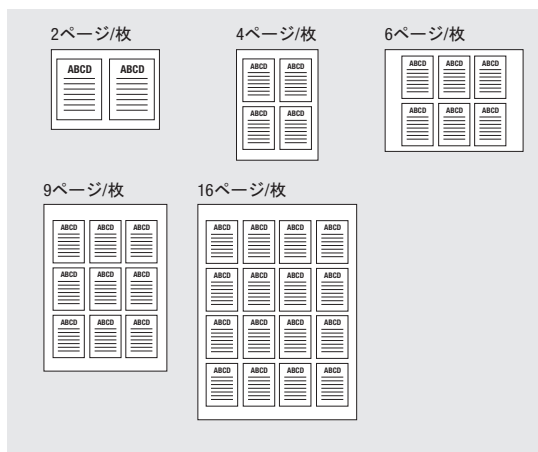
印刷するページの順序を選択します。

順：ページ順に出力します。

逆：最後のページから逆順に出力します。

シートごとのページ

1 シートに何ページ分を割り付けるかを設定します。割り付けられたページは自動的に縮小されます。



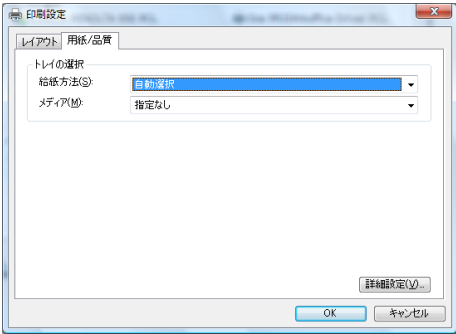
詳細設定

詳細オプション画面を表示します。

詳細オプション画面については、" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ) を参照してください。

9.12 用紙 / 品質タブ

給紙方法、用紙の種類の設定を行ないます。



ワンポイントアドバイス)
印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

給紙方法

給紙するトレイを選択します。[自動選択] に設定している場合、プリンターが自動的に用紙トレイを選択します。

給紙トレイ	使用できる用紙サイズ
トレイ 1 ～トレイ 2	11 x 17 W, 12 x 18, 12 x 18 W, 16K, 5 1/2 x 8 1/2 W, 8 1/2 x 11 W, 8 1/2 x 11 インデックス , 8 1/2 x 13, 8 1/4 x 13, 8 1/8 x 13 1/4, 8K, 8 x 13, 9 x 11, A3 , A4, A4 インデックス , A4 ワイド , A5, A5 ワイド , B4 , B4 (ISO) , B4 W, B4 W (ISO) , B5, B5 (ISO) , B5W (ISO) , ISOB4, ISO-B4, Legal, Letter, SRA3, SRA4, Statement, Tabloid, はがき
トレイ 3 ～ 8 (PF-702/PF-703)	

メディア

印刷する用紙の種類を選択します。

選択できる用紙の種類	
指定なし	
普通紙	
塗工紙	パンフレットのようなコート紙を使用する場合に選択します。
追い刷り紙	印刷済みの用紙に、追い刷りをする場合に選択します。
上質紙	メモ用紙のような用紙を使用する場合に選択します。
書籍用紙	書籍や新聞のような用紙を使用する場合に選択します。
ラフ紙	チケットのような用紙を使用する場合に選択します。
未印字挿入紙	インデックス紙などを挿入する場合に選択します。
OHP	OHP を使用する場合に選択します。

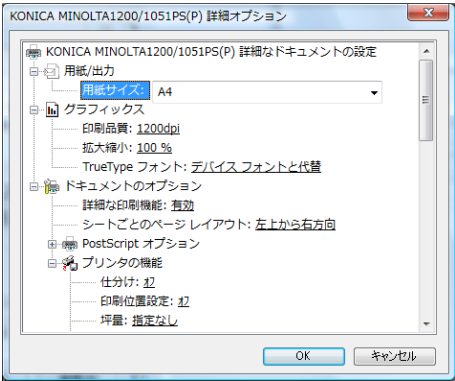
詳細設定

詳細オプション画面を表示します。

詳細オプション画面については、" 詳細オプション画面 " (9-21 ページ) を参照してください。

9.13 詳細オプション画面

プリンターの応用機能について設定できます。



ワンポイントアドバイス)

印刷設定画面の開きかたは、お使いの OS によって異なります。

各 OS の印刷設定画面の開き方は、" プロパティ画面について " (9-1 ページ) を参照してください。

用紙 / 出力 - 用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

選択できる用紙サイズ
11 x 17 W
12 x 18
12 x 18 W
16K
5 1/2 x 8 1/2 W
8 1/2 x 11 W
8 1/2 x 11 インデックス
8 1/2 x 13
8 1/4 x 13
8 1/8 x 13 1/4
8K
8 x 13
9 x 11
A3
A4

選択できる用紙サイズ
A4 インデックス
A4 ワイド
A5
A5 ワイド
B4
B4 (ISO)
B4 W
B4 W (ISO)
B5
B5 (ISO)
B5W (ISO)
ISOB4
ISO-B4
Legal
Letter
PostScript カスタムページサイズ
SRA3
SRA4
Statement
Tabloid
はがき



ご注意)

用紙サイズの最後に "ワイド" とあるのは、ワイド紙を示しています。

グラフィックス - 印刷品質

解像度を 600dpi、1200dpi から選択します。

グラフィックス - 拡大 / 縮小

1 ~ 1000% の範囲で、文書を拡大 / 縮小して印刷します。

グラフィックス - TrueType フォント

デバイスフォントと代替 / ソフトフォントとしてダウンロードのどちらかを選択します。

ドキュメントのオプション - 詳細な印刷機能

有効 / 無効のどちらかを選択します。詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

ドキュメントのオプション - シートごとのページレイアウト

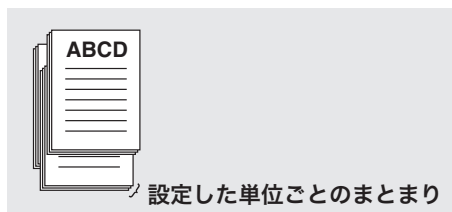
シートごとのページレイアウトを指定します。

ドキュメントのオプション - PostScript オプション

PostScript オプションの各機能についての詳細は、Adobe PS3 の解説書を参照してください。

プリンターの機能 - 仕分け

複数部数を印刷する際に、部数ごとに仕分けをして印刷します。



プリンタの機能 - 印刷位置設定

印刷する位置を設定します。

坪量

出力紙の重さを指定できます。

指定なし	40-49g/m ²	50-61g/m ²	62-71g/m ²	72-91g/m ²
92-130g/m ²	131-161g/m ²	162-216g/m ²	217-244g/m ²	245-300g/m ²
301-350g/m ²				

[245-300g/m²] および [301-350g/m²] は、以下の場合は選択できません。

○ [デバイスの設定] タブで給紙ユニットが設定されていない場合

プリンタの機能 - 紙色

用紙の紙色を設定できます。

指定なし / 白 / 透明 / 黄 / ピンク / 青 / 緑

プリンタの機能 - 穴あき

パンチ穴などがある紙を使用する場合に設定します。

プリンタの機能 - 排紙トレイ

排紙トレイを選択します。

排紙トレイは、以下の場合は設定できません。

- [デバイスの設定] タブで、インストール可能なオプションが設定されていない場合
- [ステープル] が設定されている場合は、排紙トレイで [デフォルト] と [メイントレイ] 以外は設定できません。

プリンタの機能 - 排紙モード

印刷する用紙を上向きに出力するか、下向きに出力するかを選択します。

フェイスダウンは、出力用紙の表面を下向きにして出力します。

フェイスアップは、出力用紙の表面を上向きにして出力します。

プリンタの機能 - ページ順

印刷するページ順を設定します。

- [終了ページから降順] を選択すると、最後のページから順に印刷されます。

上積み許可

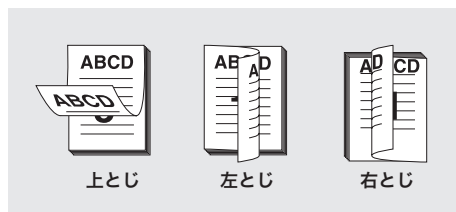
大容量スタックに印刷されたものがある場合に、上積みする許可を設定できます。

上積み許可をオフに設定しておくと、大容量スタックに上積み許可がされません。

上積み許可がされていないジョブが、大容量スタックにあると、上積み許可をしても上積みはされません。

プリンタの機能 - とじ方向

[ステープル]、[パンチ] などの機能を使用した場合のとじ位置を設定します。

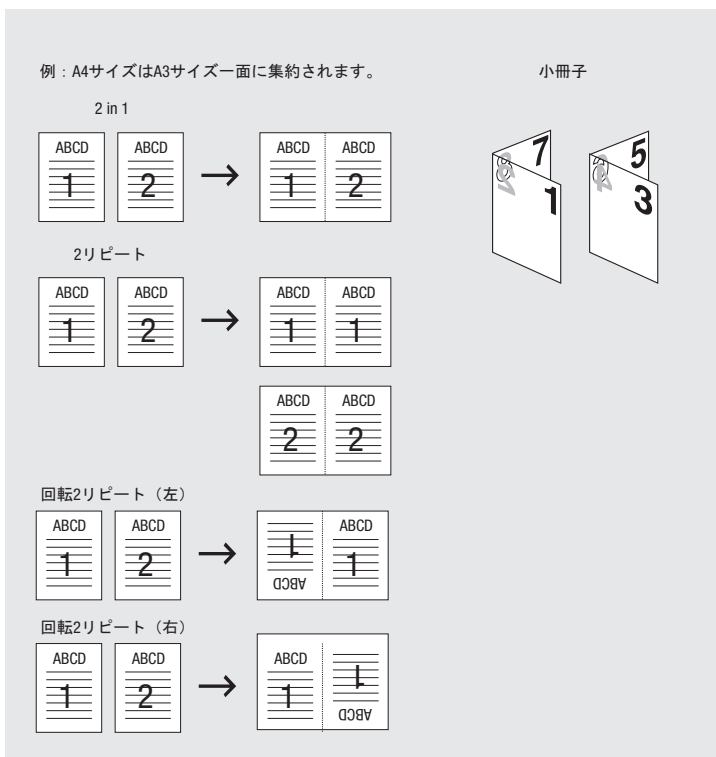


プリンタの機能 - 印刷種類

両面印刷をするかどうかの設定をします。

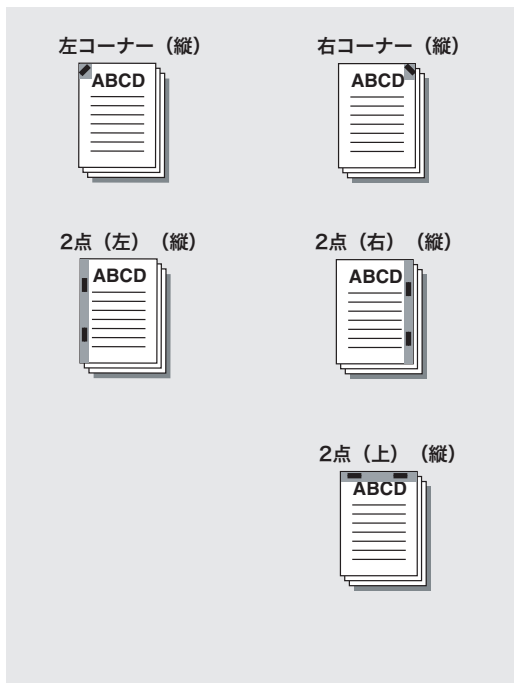
プリンタの機能 - 面付け

小冊子機能、2 in 1、2 リピート、回転リピート機能を設定できます。



プリンタの機能 - ステープル

ステープル止めをするかどうかの設定をします。

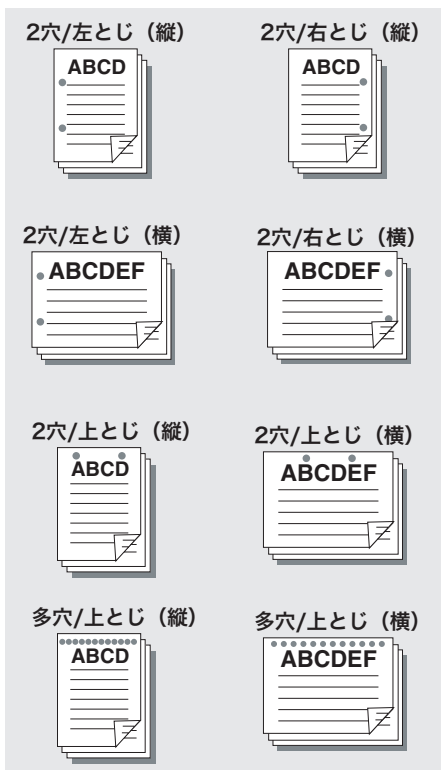


「ステープル」は、以下の場合に設定できません。

- 「デバイスの設定」タブの「インストール可能なオプション」で、「平とじユニット」が設定されていない場合
- 「排紙トレイ」で、「デフォルト」または「メイントレイ」が設定されていない場合
- 「折り」で、「Z 折り」以外が設定されている場合

プリンタの機能 - パンチ

2 穴～4 穴および多穴のパンチ穴を出力用紙に設定をします。



〔パンチ〕は、以下の場合に設定できません。

- 〔デバイスの設定〕タブの〔インストール可能なオプション〕で、
〔パンチ / マルチ折りユニット〕が設定されていない場合
- 〔折り〕で〔Z 折り〕以外が設定されている場合

〔多穴〕は、以下の場合に設定できません。

- 〔デバイスの設定〕タブの〔インストール可能なオプション〕で、
〔マルチパンチユニット〕が設定されていない場合

プリンタの機能 - 折り

折りの種類を設定します。

イメージ	名称
	Z 折り
	中とじ
	中とじ断裁
	中折り内印刷
	中折り外印刷
	内三つ折り内印刷
	内三つ折り外印刷
	外三つ折り内印刷
	外三つ折り外印刷
	ダブルパラレル折り内印刷
	ダブルパラレル折り外印刷
	観音折り内印刷
	観音折り外印刷
	重ね三つ折り内印刷
	重ね三つ折り外印刷
	重ね中折り
	重ね中折り断裁

〔折り〕は、以下の場合に設定できません。

- [ステープル]、[パンチ] で、[オフ] 以外が設定されている場合は、〔Z 折り〕以外は設定できません。
- [表カバー]、[裏カバー]、[表外カバー] または [裏外カバー] で、[オフ] 以外が設定されている場合

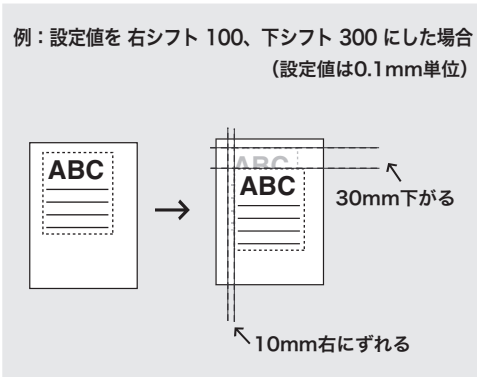
〔折り〕は、以下のユニットが装着している場合、設定可能です。

	パンチ / マルチ折りユニット	中とじユニット
Z 折り	○	
中折り（内 / 外）	○	
内三つ折り（内 / 外）	○	
外三つ折り（内 / 外）	○	
ダブルパラレル折り（内 / 外）	○	
観音折り（内 / 外）	○	
重ね三つ折り（内 / 外）		○
重ね中折り	○	○

プリンタの機能 - 画像シフト

印刷するイメージを移動させる場合に設定します。

例：設定値を 右シフト 100、下シフト 300 にした場合
（設定値は0.1mm単位）

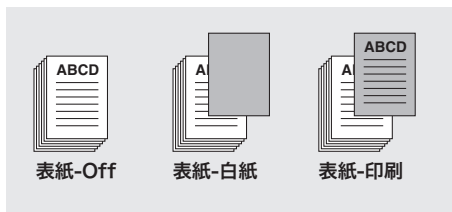


プリンタの機能 - 表カバー

表表紙を挿入する場合に設定します。

[白紙] を選択した場合、表紙には何も印刷されません。

[印刷] を選択した場合、表紙にも印刷されます。



[表カバー] は、以下の場合に設定できません。

○ [折り] で、[オフ]、[Z 折り] 以外が設定されている場合

プリンタの機能 - 表カバー用トレイ

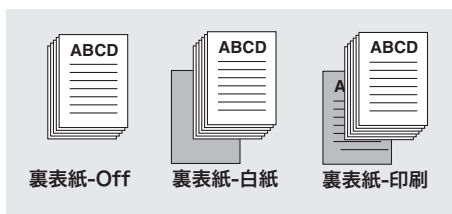
表表紙を出力するトレイを設定します。

プリンタの機能 - 裏カバー

裏表紙を挿入する場合に設定します。

[白紙] を選択した場合、表紙には何も印刷されません。

[印刷] を選択した場合、表紙にも印刷されます。



[裏カバー] は、以下の場合に設定できません。

○ [折り] で、[オフ]、[Z 折り] 以外が設定されている場合

プリンタの機能 - 裏カバー用トレイ

裏表紙を出力するトレイを設定します。

プリンタの機能 - 表外カバー

表表紙を出力用紙と異なる厚紙などの用紙にする場合に設定します。

〔表外カバー〕は、以下の場合に設定できません。

- 〔デバイスの設定〕タブの〔インストール可能なオプション〕で、
〔パンチ / マルチ折りユニット〕が設定されていない場合
- 〔折り〕で、〔オフ〕以外が設定されている場合

プリンタの機能 - 裏外カバー

裏表紙を出力用紙と異なる厚紙などの用紙にする場合に設定します。

〔裏外カバー〕は、以下の場合に設定できません。

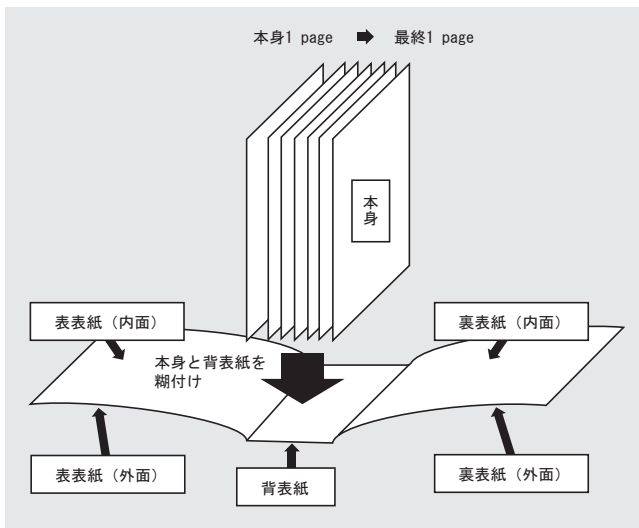
- 〔デバイスの設定〕タブの〔インストール可能なオプション〕で、
〔パンチ / マルチ折りユニット〕が設定されていない場合
- 〔折り〕で、〔オフ〕以外が設定されている場合

くるみ製本設定

くるみ製本機能は、くるみ製本機 (PB-502/503) によって原稿 (本身) の背部分を糊付けし、これを表紙でくるんで製本する機能です。

[くるみ製本] は以下の場合に設定できません。

- [デバイスの設定] タブで PB-502/503 を設定していない場合



- 本身は折り曲げたり、断裁したりすることはありません。
- 上記イラストは「左とじ」です。「右とじ」にする場合は、「プリンタの機能 - とじ方向」(p. 9-24) を参照してください。
- デフォルトは「左とじ」です。

〔くるみ製本〕で利用できる用紙サイズ・用紙種類・坪量は以下の通りです。

	使用可能サイズ	使用可能坪量	使用可能紙種
本身	定型紙 A4、B5、A5、8.5 × 11、 5.5 × 8.5、16K Z 折り時のみ可能 A3、B4、A4R、11 × 17、 8.5 × 11R、8K ※上記サイズに該当するワイド紙も使用可能です。 不定形紙 幅：150 ～ 307mm 長さ：140 ～ 221mm	62-91g/m ²	普通紙 塗工紙 上質紙 書籍紙 ラフ紙 未印字挿入紙 ※ OHP、穴あき紙は不可
表紙	不定形紙 幅：(最小)150 ～ 307mm 長さ：281 ～ (最大) 483mm ※ただし表紙幅と本身幅を同じ長さにする必要があります。	72-161g/m ²	

表紙用紙は、使用するトレイによって利用できる幅・長さ・坪量が変わります。詳しくは「ユーザーズガイド (コピー編または本体編)」をご覧ください。

- 製本する本身枚数は 10 ～ 300 枚です。

- 1 印刷したい文書を開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] コマンドを選択します。

アプリケーションのプリント画面が表示されます。

- 2 [プロパティ] をクリックして、印刷設定画面を開き、[詳細設定] をクリックします。

- 3 [プリンタの機能] - [くるみ製本モード] で設定を行います。

〔くるみ製本モード〕は以下のモードに設定することが出来ます。

表紙白紙モード

表紙には何も印字せず、くるみのみ行う場合使用します。

〔表紙トレイ〕にセットされている原稿を表紙として扱います。

例) 〔表紙白紙モード〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像合成済み

表紙に使用する紙と同じサイズに表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿が既に準備されている場合、使用します。

表紙を両面印刷する場合は、表紙の裏面もあらかじめ作成しておく必要があります。

注意: 〔表紙画像合成済み〕では、〔PI トレイ〕、〔PB 表紙トレイ〕を使用することが出来ません。

例) 〔表紙合成済み〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像 2in1

表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ (n ページ) を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : [表紙画像 2in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

例) [表紙画像 2in1] でくるみ製本を行う場合



表紙画像 3in1

原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) を裏表紙に、そして最終ページ (n ページ) の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。

また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前 (n-2 ページ) までを本身として印字します。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : [表紙画像 3in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

例) [表紙画像 3in1] でくるみ製本を行う場合



くるみ製本表紙トレイ

くるみ製本表紙用のトレイを選択します。

くるみ製本表紙両面

くるみ製本表紙を両面にしたい場合、[オン] にします。

くるみ製本表紙断裁

くるみ製本表紙を断裁する場合、[オン] にします。

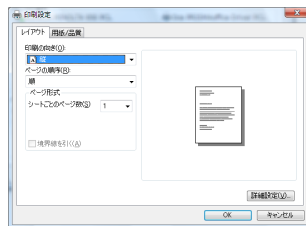
プリンタの機能 - 一時停止

印刷前に試し印刷の出力内容や現在の設定内容を確認することができます。

大量の印刷を行なう前に使用することを推奨します。

- 1 印刷したい文書を開いて、印刷コマンドを選択します。
アプリケーションのプリント画面が表示されます。

- 2 [プロパティ] をクリックして、印刷設定画面を開き、[詳細設定] をクリックします。



- 3 [プリンタの機能] - [一時停止] で、[一時停止] または [確認印刷] を選択して、[OK] をクリックし、詳細オプション画面を閉じます。

- 印刷前に、コピー機の操作パネルから現在の設定を確認したい場合は、[一時停止] を選択します。
- 1 ページだけをテスト印刷をして、現在の設定を確認する場合は、[確認印刷] を選択します。

- 4 必要に応じて、その他の印刷設定を行い、[OK] をクリックして、プリント画面に戻ります。

- 5 アプリケーションのプリント画面で、[OK] をクリックして、印刷を開始します。

[一時停止] を選択した場合は、プリントは、実行されず停止します。[確認印刷] を選択した場合は、一部プリントされ、停止します。

コピー機の操作パネルに設定内容画面が表示されます。

- 6 [一時停止] の場合は、コピー機のタッチパネル画面右上に [機械状態] が点滅するので、[機械状態] を押します。

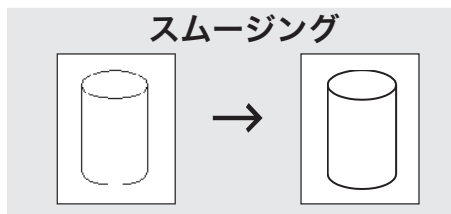
コピー機の操作パネルに設定内容確認画面が表示されます。

- 7 現在の設定を確認します。
設定を変更しない場合は、手順 10
へ進みます。
- 8 設定を変更する場合は、設定項目
を選択して表示された画面で設定
を変更します。
- 9 [OK] を押します。
設定内容画面に戻ります。
- 10 [スタート] を押します。
プリントジョブが印刷されます。



プリンタの機能 - スムージング

文字やグラフィックスの曲線をなめらかにして印刷する場合に設定します。



- [タイプ 1] は、一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。
- [タイプ 2] は、一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。
- [タイプ 3] は、飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
- 印刷品質が [1200dpi] に設定されている場合、スムージングは機能しません。

プリンタの機能 - 細線補正

文字を細くして読みやすくしたい場合に設定します。

- 細線補正は、レベル 1～4 で選択します。レベルの数が多いほど文字を細く印刷できます。

プリンタの機能 - 日付 / 時刻

日付、時刻を印刷したい場合に設定します。

全ページ 日付 / 時刻が、全ページに印刷されます。

先頭ページのみ 日付 / 時刻が、先頭ページのみに印刷されます。

プリンタの機能 - コピープロテクト

不正コピー防止の為に、コピープロテクトを設定して印刷したい場合に [オン] を選択し、[定型スタンプ] および [背景パターン] を設定します。

プリンタの機能 - 定型スタンプ

コピープロテクトを [オン] にした場合に、不正コピー防止の為に牽制文字を選択します。

プリンタの機能 - 背景パターン

コピープロテクトを [オン] にした場合に、不正コピー防止の為に背景パターンを選択します。

プリンタの機能 - 印刷濃度

印刷濃度を調節したい場合に設定します。

設定項目	印刷濃度
標準	100 %
濃い	110 %
薄い 1	90 %
薄い 2	80 %
薄い 3	70 %
薄い 4	60 %
薄い 5	50 %
トナー節約	80 %
ドラフト印刷	60 %



....
ご注意)

印刷濃度は目安として表示しています。

10 PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS 9)

この章では、Mac OS 9 用 PostScript PPD ドライバーの設定について説明します。

基本的な印刷方法

本章では、本プリンティングシステムを使用して Mac OS 9 からの印刷する方法について説明します。

本プリンティングシステムをご使用の Mac OS 9 から使用する基本的な方法は以下のとおりです。

- 1 本プリンティングシステムの電源が入っていることを確認し、コンピューターの電源を入れ、Mac OS 9 を起動します。
- 2 セレクタで [Adobe PS] を選択し、本プリンティングシステムに該当するプリンター名を選択します。
- 3 印刷するファイルを開きます。
- 4 アプリケーションの [ファイル] - [用紙設定] を選択します。
用紙設定ダイアログが表示されます。



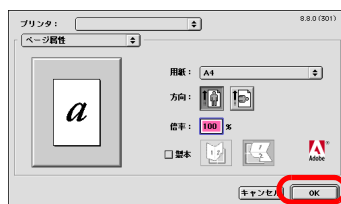
...

ワンポイントアドバイス)

用紙設定ダイアログで、本プリンティングシステムの機能を詳細に設定することができます。

- 5 用紙を設定し、[OK] をクリックします。

用紙設定ダイアログを閉じます。



- 6 アプリケーションの [ファイル] - [印刷] ([プリント]) を選択します。

印刷設定ダイアログが表示されます。

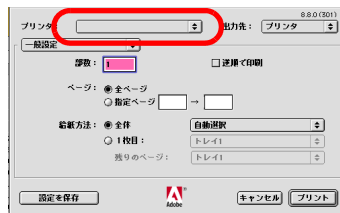


ワンポイントアドバイス)

印刷設定ダイアログでは、本プリンティングシステムの詳細な機能を設定することができます。

- 7 [プリンタ] 欄が本プリンティングシステムの名前であることを確認します。

→ [プリンタ] 欄に本プリンティングシステムの名前が表示されていない場合は、[プリンタ] 欄横の [▼] をクリックして表示されるリストから、本プリンティングシステムを選択します。



- 8 印刷設定ダイアログの設定を確認します。



ワンポイントアドバイス)

印刷設定ダイアログでは、本プリンティングシステムの詳細な機能を設定することができます。

- 9 [プリント] をクリックします。

印刷が実行されます。

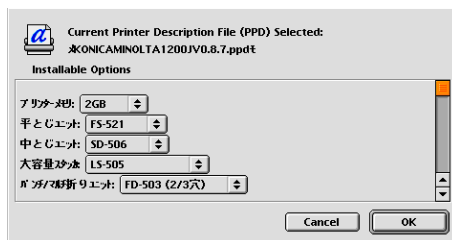
10.1 本プリンティングシステムの設定に使用する画面

10.1.1 設定に使用する3つの画面

本プリンティングシステムを使用して Macintosh から印刷を行う際に、本プリンティングシステムを設定して、さまざまな機能を使用することができます。これらの機能を設定するために使用する画面は以下の3つの画面となります。

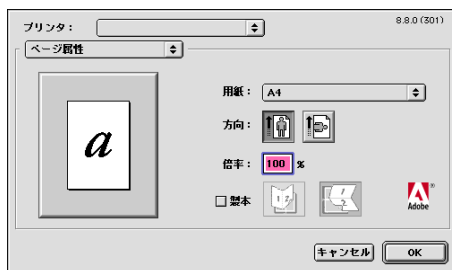
オプションの構成画面

セレクトから表示する画面です。本プリンティングシステムのオプション機器の装着状況をプリンタードライバーに認識させるための設定を行います。



用紙設定ダイアログ

アプリケーションから表示するダイアログです。用紙のサイズ、方向、拡大縮小倍率、透かし文字（ウォーターマーク）、ビジュアル効果、代替フォント、スムージング、カスタムページ設定を行います。



印刷設定ダイアログ

アプリケーションから表示するダイアログです。その他のさまざまな機能の設定を行います。



オプションの構成画面の表示方法

- 1 [アップルメニュー] の [セクタ] を選択します。
- 2 [AppleTalk] 欄で [使用] が選択されていることを確認します。
- 3 [AdobePS] アイコンをクリックします。
- 4 [PostScript プリンタの選択] 一覧から、PS3 プリンティングシステムのプリンターに該当するプリンター名をクリックします。

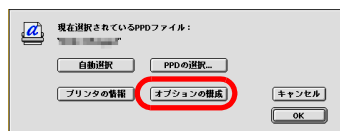


- 5 はじめて PS3 プリンティングシステムのプリンターを使用する場合は、[作成] をクリックします。

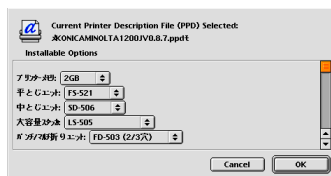
ダイアログが表示されます。

- 6 [オプションの構成] をクリックします。

オプションの構成画面が表示されます。



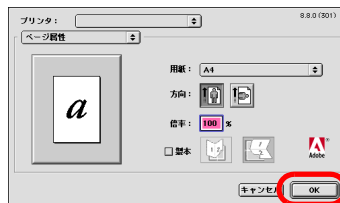
- 7 [OK] をクリックして、画面を閉じます。



用紙設定ダイアログの表示方法

- 1 アプリケーションの [ファイル] - [用紙設定...] を選択します。

用紙設定ダイアログの [ページ属性] 画面が表示されます。



- 2 必要に応じて用紙設定ダイアログ左上の [▼] をクリックして、各メニューを選択し、画面を切り換えます。

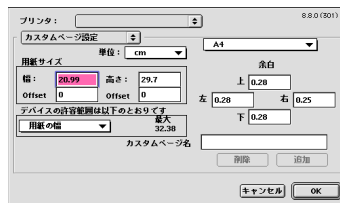
用紙設定ダイアログ - [ウォーターマーク] 画面



用紙設定ダイアログ - [PostScript オプション] 画面



用紙設定ダイアログ - [カスタム ページ設定] 画面

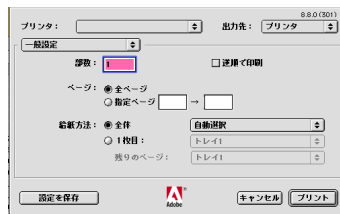


印刷設定ダイアログの表示方法

- 1 アプリケーションの [ファイル] - [印刷...] ([プリント...]) を選択します。

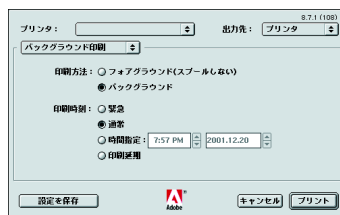
印刷設定ダイアログ - [一般設定] 画面が表示されます。

印刷設定ダイアログ - [一般設定] 画面

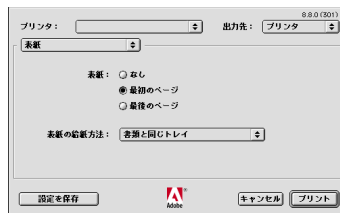


- 2 必要に応じて [プリンタ] 欄下の [▼] をクリックして、各メニューを選択し、画面を切り換えます。

印刷設定ダイアログ - [バックグラウンド印刷] 画面



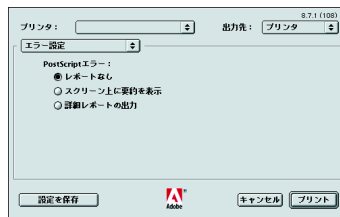
印刷設定ダイアログ - [表紙] 画面



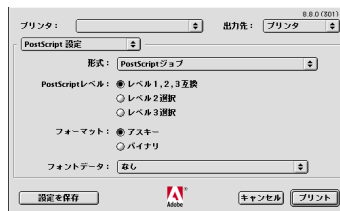
印刷設定ダイアログ - [レイアウト] 画面



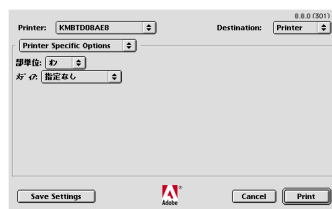
印刷設定ダイアログ - [エラー設定] 画面



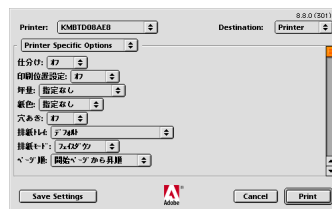
印刷設定ダイアログ - [PostScript設定] 画面



印刷設定ダイアログ - [プリンタ固有機能] 画面 (1)



印刷設定ダイアログ - [プリンタ固有機能] 画面 (2)



10.2 本章での記載について

本章では、次ページ以降の各画面を使用して各機能を設定する手順を記載する際に、各画面の表示方法についての記載は省略します。

適宜、前記の表示方法をご参照ください。

例)

「オプションの設定画面を開きます。」

- "オプションの構成画面の表示方法" (10-5 ページ)

「用紙設定ダイアログ - [表紙] 画面を開きます。」

- "用紙設定ダイアログの表示方法" (10-6 ページ)

「印刷設定ダイアログ - [プリンタの固有の機能] 画面 (1) を開きます。」

- "印刷設定ダイアログの表示方法" (10-7 ページ)

また、本章では本プリンティングシステム固有の機能を中心に記載をしています。Adobe PS3 プリンタードライバー共通機能の詳細については、Adobe PS3 プリンタードライバーの説明書等をご参照ください。

10.3 ページ属性画面

この画面では、ページ属性に関する設定をすることができます。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、"用紙設定ダイアログの表示方法" (10-6 ページ) を参照してください。

用紙

用紙サイズを指定します。

選択できる用紙サイズ
A3
A4
A5
B4
B5
B4 (ISO)
B5 (ISO)
SRA3
SRA4
12 x 18
Tabloid
9 x 11
Legal
Letter
Statement
8 x 13
8 1/2 x 13
8 1/4 x 13
8 1/8 x 13 1/4
8K
16K

選択できる用紙サイズ
はがき
A3 W
A4 W
A5 W
B4 W
B5 W
B4 W (ISO)
B5W (ISO)
12 x 18 W
11 x 17 W
8 1/2 x 11 W
5 1/2 x 8 1/2 W
8 1/2 x 11 インデックス
A4 インデックス
Custom



ご注意

原稿サイズの末尾に「ワイド」と記されている用紙は、「ワイド紙」であることを意味します。

用紙サイズを設定し、名前をつけて登録しておくことができます。
[カスタム] 用紙として選択できます。

他の機能の設定により特定の用紙サイズが選択できない場合があります。詳細は、個々の機能についての記載をご参照ください。

方向

印刷する用紙の方向を指定します。



用紙方向を縦にして印刷します。



用紙方向を横にして印刷します。

倍率

25%から 400%までの拡大・縮小倍率を数値で指定して印刷することができます。

以下の場合、数値で拡大縮小率を指定することはできません。

- 印刷設定ダイアログ - [レイアウト] 画面 - [レイアウト] が [1] 以外に設定されている場合

製本

製本用に 2-UP で印刷されます。縦折り、横折りから選択します。詳しくは、Adobe PS3 プリンタードライバーの説明書等をご参照ください。

10.4 ウォーターマーク画面

出力用紙に透かし文字を設定して印刷することができます。



...

ワンポイントアドバイス)

画面の表示方法については、" 用紙設定ダイアログの表示方法 " (10-6 ページ) を参照してください。

ウォーターマーク

ウォーターマークは以下の方法で設定します。

- ウォーターマークを入れない場合は、[なし] ラジオボタンを ON にします。
- ウォーターマークを最初のページのみに入れる場合は、[最初] ラジオボタンを ON にします。
- すべてのページにウォーターマークを入れる場合は、[すべて] ラジオボタンを ON にします。

ウォーターマークの種類

ウォーターマークの種類は以下の方法で設定します。

- ウォーターマークのファイル形式として、PICT ファイルを使用する場合は、[PICT] ラジオボタンを ON にします。
- ウォーターマークのファイル形式として、EPS ファイルを使用する場合は、[EPS] ラジオボタンを ON にします。
- 入力したテキストをウォーターマークとして使用する場合は、[TEXT] ラジオボタンを ON にします。



...

ご注意)

PICT ファイルまたは EPS ファイルをウォーターマークとして使用するには、そのファイルまたはエイリアスを初期設定フォルダーのウォーターマークフォルダーに配置する必要があります。



ワンポイントアドバイス

あらかじめ5種類の透かし文字（ウォーターマーク）が登録されています。

[PICT] を ON にした場合は、[Adobe-PICT2]、または [Confidential.pict] を選択することができます。

[EPS] を ON にした場合は、[Adobe.B&W.eps]、または [Adobe.color.eps] を選択することができます。

[TEXT] を ON にした場合は、[Draft]、または作成した透かし文字（ウォーターマーク）を選択することができます。

前景

ウォーターマークを前景として印刷したい場合は、このチェックボックスを ON にします。

書類とともに保存

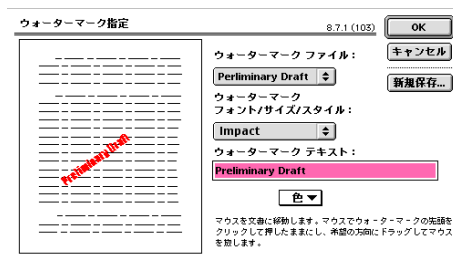
ウォーターマークを印刷する書類とともに保存する場合は、[書類と共に保存] チェックボックスを ON にします。

[書類と共に保存] チェックボックスを ON にすると、次回に書類を印刷する際に、同様の設定内容でウォーターマークの印刷を行うことができます。

編集

ウォーターマークの種類を [TEXT] にした場合、ウォーターマークとして印刷するテキストを作成または修正することができます。

[編集] をクリックすると、[ウォーターマーク設定] 画面が表示されます。



配置

左のプレビュー画面でウォーターマークの先頭となる場所でクリックし、そのままプレスします。さらに希望の方向にドラッグすることで、回転角度を設定できます。

ウォーターマークファイル

修正するウォーターマークを指定します。

ウォーターマーク フォント/サイズ/スタイル

ウォーターマークとして印刷するテキストのフォント、フォントサイズ、フォントスタイルを設定することができます。

ウォーターマークテキスト

ウォーターマーク用のテキストを入力します。

色

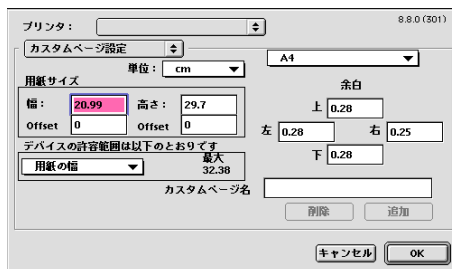
このプリンティングシステムでは使用できません。

新規保存

現在の変更を新規ウォーターマークファイルとして保存する場合にクリックします。

10.5 カスタムページ設定画面

ページ設定に名前をつけて、ページ設定を登録することができます。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、"用紙設定ダイアログの表示方法" (10-6 ページ) を参照してください。

単位

この画面で使用する単位を指定します。

用紙サイズ

出力用紙の高さと幅、用紙の端から印刷領域までの水平方向、垂直方向のオフセットを設定します。

余白

上下左右の余白を設定します。

デバイスの許容範囲は以下のとおりです

PPD ファイルに記述されている制限値を確認できます。

カスタムページ名

カスタムページ設定を登録する名前を半角 31 文字までで入力します。

削除

カスタムページ名に登録されている名前を入力し、登録から削除できます。

追加

カスタムページ名に入力されている名前でもカスタムページ設定を登録します。

10.6 一般設定画面

この画面では、一般的な印刷の設定をすることができます。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、"印刷設定ダイアログの表示方法" (10-7 ページ) を参照してください。

部数

印刷する部数を入力します。

逆順で印刷

ページが印刷される順序を逆にします。

ページ

ページの設定は以下の方法で行います。

- 全てのページを印刷する場合は、[全ページ] ラジオボタンを ON にします。
- 印刷するページを指定したい場合は、[指定ページ] ラジオボタンを ON にして、印刷したい開始ページと終了ページを入力します。1 ページ印刷したい場合には、そのページ番号を両方のボックスに入力します。

給紙方法

給紙方法は、以下の方法で設定します。

- すべてのページを同じトレイから給紙する場合は、[全体] ラジオボタンを ON にします。
- 1 枚目と残りの印刷でトレイを分ける場合は、[1 枚目] ラジオボタンを ON にして、1 枚目と残りのページのそれぞれに給紙トレイを指定します。



ワンポイントアドバイス)

[自動選択トレイ] の場合、アプリケーションから本プリンティングシステムの [プロパティ] で指定した用紙がセットされた給紙トレイが自動的に選択されます。

給紙トレイ	使用可能な用紙サイズ
トレイ 1 から トレイ 2	A3, A4, A5, B4 , B5, B4 (ISO) , B5 (ISO) , SRA3, SRA4, 12 x 18, Tabloid, 9 x 11, Legal, Letter, Statement, 8 x 13, 8 1/2 x 13, 8 1/4 x 13, 8 1/8 x 13 1/4, 8K , 16K
トレイ 3 ~ 8 (PF-702/PF-703)	はがき , A3 W, A4 W, A5 W, B4 W, B5 W, B4 W (ISO) , B5W (ISO) , 12 x 18 W, 11 x 17 W, 8 1/2 x 11 W, 5 1/2 x 8 1/2 W, 8 1/2 x 11 インデックス , A4 インデックス , Custom

10.7 バックグラウンド印刷画面について

この画面では、バックグラウンド印刷についての設定をすることができます。



ワンポイントアドバイス)

画面の表示方法については、"印刷設定ダイアログの表示方法"
(10-7 ページ) を参照してください。

印刷方法

フォアグラウンド印刷またはバックグラウンド印刷を選択します。

- [フォアグラウンド (スプールしない)] : 印刷されるまでコンピューターを使用しない場合に選択します。このボタンが選択されている場合、すばやくプリンターに印刷データが送られます。
- [バックグラウンド] : 印刷中もコンピューターを使用することができます。スプール後、プリンターに印刷データが送られます。

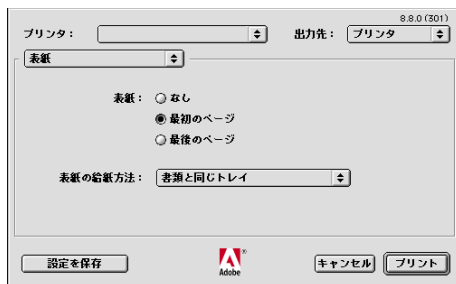
印刷時刻

印刷される時刻を選択します。

- [緊急] : 通常の印刷より早く印刷する場合に選択します。
- [通常] : 通常の印刷です。プリントキューの最後に印刷されます。
- [時間指定] : 印刷する日時を指定して印刷します。
- [印刷延期] : 印刷されずにプリントキューに残ります。

10.8 表紙画面について

この画面では、表紙についての設定をすることができます。



...

ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、"印刷設定ダイアログの表示方法" (10-7 ページ) を参照してください。

表紙

表紙の設定は、以下の方法で行います。

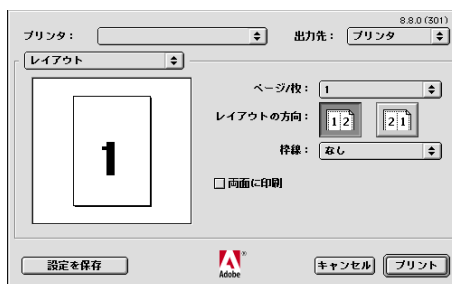
- 表紙を使用しない場合は、[なし] ラジオボタンを ON にします。
- 最初のページに表紙を挿入する場合は、[最初のページ] ラジオボタンを ON にします。
- 最後のページに裏表紙を挿入する場合は、[最後のページ] ラジオボタンを ON にします。

表紙の給紙方法

表紙の給紙トレイを指定します。

10.9 レイアウト画面

この画面では、印刷するレイアウトについて設定することができます。

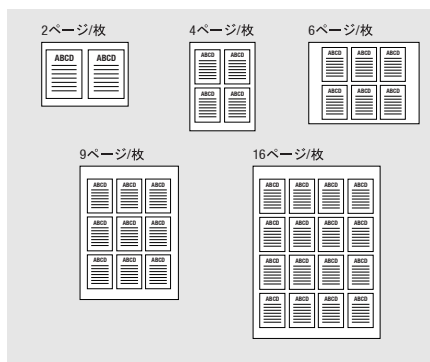


ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、"印刷設定ダイアログの表示方法" (10-7 ページ) を参照してください。

ページ/枚

1 枚に 2、4、6、9 または 16 ページ分を印刷する設定を行います。割付けられたページは、出力用紙の印刷可能領域を基準に、自動的に縮小されて印刷されます。



2 x 2 枚 / ページ ~ 6 x 6 枚 / ページを選択すると、ページを分割して出力することもできます。

レイアウトの方向

[ページ / 枚] で複数ページを 1 枚に割り付けたときのレイアウトの方向を指定します。

枠線

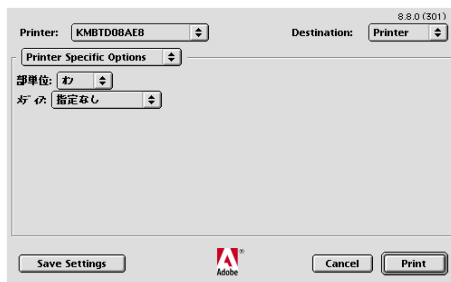
[ページ / 枚] で設定したページの外枠線を入れる場合に設定します。

両面に印刷

両面印刷する場合には、このチェックボックスを ON にします。

10.10 プリンター固有機能画面 (1)

この画面では、用紙の種類を指定することができます。



ワンポイントアドバイス)

画面の表示方法については、"印刷設定ダイアログの表示方法" (10-7 ページ) を参照してください。

部単位

複数部数を印刷する際に、全てのページを 1 部印刷してから 2 部目、3 部目…と、1 部ずつまとめて印刷することができます。

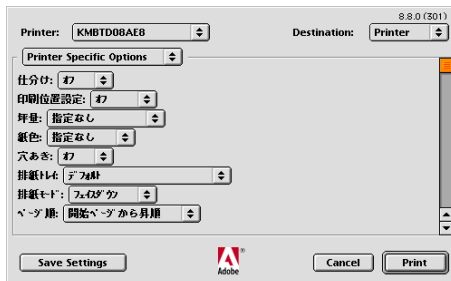
メディア

以下の用紙種類を指定できます。

選択できる用紙の種類	
指定なし	
普通紙	
塗工紙	パンフレットのようなコート紙を使用する場合に選択します。
追い刷り紙	印刷済みの用紙に、追い刷りをする場合に選択します。
上質紙	メモ用紙のような用紙を使用する場合に選択します。
書籍用紙	書籍や新聞のような用紙を使用する場合に選択します。
ラフ紙	チケットのような用紙を使用する場合に選択します。
未印字挿入紙	インデックス紙などを挿入する場合に選択します。
OHP	OHP を使用する場合に選択します。

10.11 プリンター固有機能画面 (2)

この画面では、プリンター固有機能に関する設定をすることができます。



ワンポイントアドバイス)

画面の表示方法については、"印刷設定ダイアログの表示方法" (10-7 ページ) を参照してください。

仕分け

この機能を ON にすると、複数部数を印刷する際に、部数単位またはページグループ単位に排紙位置を手前と奥にシフトさせて出力することができます。

[仕分け] は以下の場合には設定することができません。

- 用紙設定ダイアログ - [用紙] で、[はがき] または [カスタム] が選択されている場合

印刷位置設定

印刷する位置を設定できます。

オフ / 左 / 中央 / 右

坪量

出力紙の重さを指定できます。

指定なし	40-49g/m ²	50-61g/m ²	62-71g/m ²	72-91g/m ²
92-130g/m ²	131-161g/m ²	162-216g/m ²	217-244g/m ²	245-300g/m ²
301-350g/m ²				

[245-300g/m²] および [301-350g/m²] は、以下の場合には選択できません。

- オプション構成画面で給紙ユニットが設定されていない場合

紙色

用紙の紙色を設定できます。

指定なし / 白 / 透明 / 黄 / ピンク / 青 / 緑

穴あき

パンチ穴などがある紙を使用する場合に設定します。

オフ / オン

排紙トレイ

排紙トレイを選択します。

排紙トレイは、以下の場合は設定できません。

- [ステープル] が設定されている場合は、排紙トレイで [デフォルト] と [メイントレイ] 以外は設定できません。



ワンポイントアドバイス)

オプションの排紙トレイは、オプション構成画面で設定しておく必要があります。

排紙モード

排紙を上向きに出力するかどうかを設定できます。

- 下向きに出力する場合は、[フェイスダウン] を選択します。
- 上向きに出力する場合は、[フェイスアップ] を選択します。

ページ順

印刷するページ順を設定します。

- [終了ページから降順] を選択すると、最後のページから順に印刷されます。

上積み許可

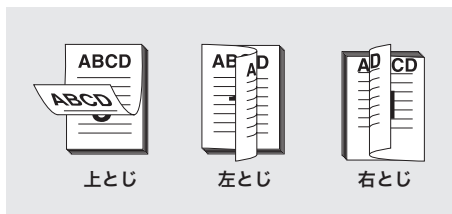
大容量スタックに印刷されたものがある場合に、上積みする許可を設定できます。

上積み許可をオフに設定しておく、と、大容量スタックに上積み許可がされません。

上積み許可がされていないジョブが、大容量スタックにあると、上積み許可をしても上積みはされません。

とじ方向

両面印刷する場合のとじ位置を設定します。



左とじ / 上とじ / 右とじ

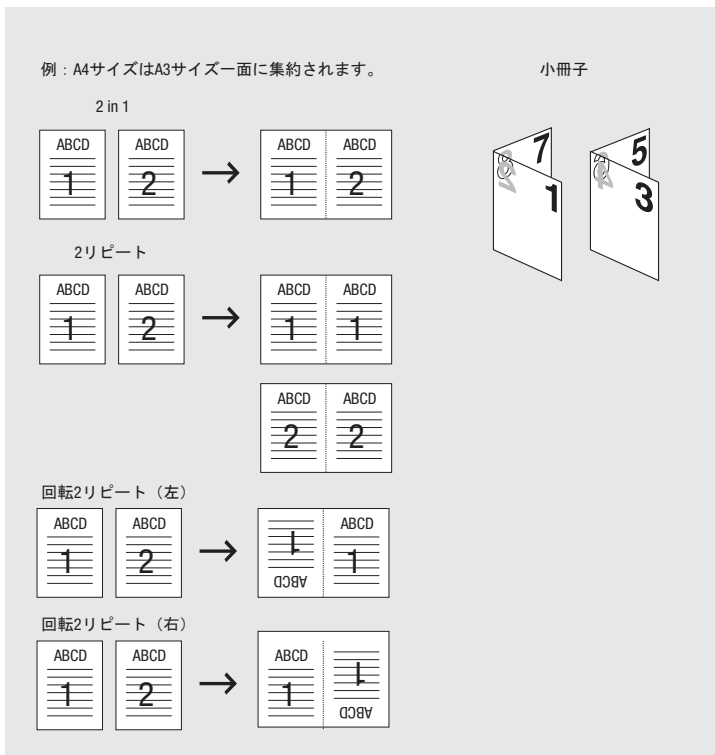
印刷種類

両面印刷をするかどうかの設定をします。

片面 / 両面

面付け

小冊子機能、2 in 1、2 リピート機能を設定できます。



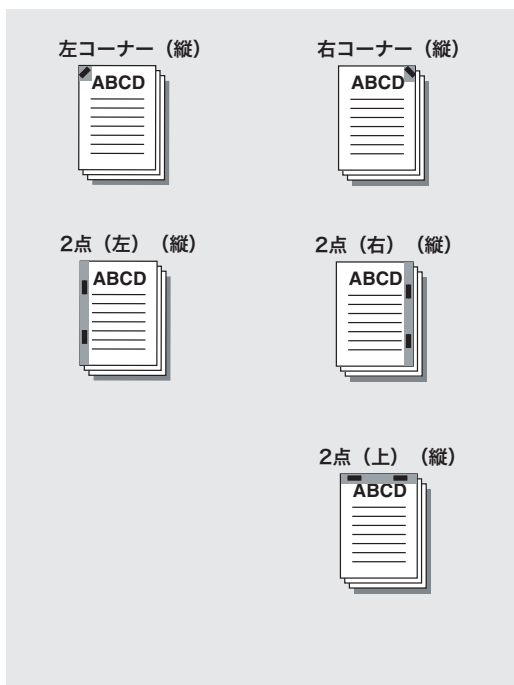
オフ / 小冊子 / 無線とじ / 2 in 1 / 2 リピート / 回転2リピート (左) / 回転2リピート (右) / 回転2リピート (上) / 回転2リピート (下)

[2 in 1] / [2 リピート] は、以下の場合には設定することができません。

- [プリンタ固有機能] 画面 (2) - [表カバー用トレイ]、[裏カバー用トレイ]、[表カバー]、または [裏カバー] で [オフ] 以外が設定されている場合

ステーブル

出力用紙をステーブル止めすることができます。ステーブル止めの数や位置などは、以下のように設定することができます。



[ステーブル] は以下の場合は設定することができません。

- オプションの構成画面 - [選択可能なオプション] の [平とじユニット] で [なし] が設定されている場合
- 印刷設定ダイアログ - [プリンタ固有機能] 画面 (2) - [折り] で [Z 折り] 以外が選択されている場合



ワンポイントアドバイス

ステーブル、パンチについての詳細はユーザーズガイド (コピー編または本体編) を参照してください。

パンチ

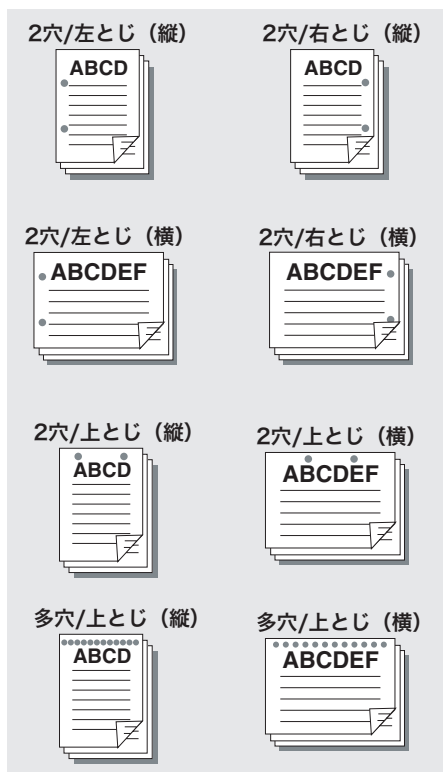
出力用紙に 2 穴～ 4 穴および多穴のパンチ穴を空けることができます。
パンチ穴の設定は、以下のように行うことができます。



...

ワンポイントアドバイス

とじ位置の設定によって、以下の組み合わせができます。



〔パンチ〕は以下の場合には設定することができません。

- オプションの構成画面 - 〔設定可能なオプション〕の〔パンチ / マルチ折りユニット〕で〔オフ〕が選択されている場合
- 印刷設定ダイアログ - 〔プリンタ固有機能〕画面 (2) - 〔折り〕で〔Z 折り〕以外が選択されている場合

〔多穴〕は以下の場合には設定することができません。

- オプションの構成画面 - 〔設定可能なオプション〕の〔マルチパンチユニット〕で〔オフ〕が選択されている場合

折り

折りの種類を設定します。

イメージ	名称
	Z 折り
	中とじ
	中とじ断裁
	中折り内印刷
	中折り外印刷
	内三つ折り内印刷
	内三つ折り外印刷
	外三つ折り内印刷
	外三つ折り外印刷
	ダブルパラレル折り内印刷
	ダブルパラレル折り外印刷
	観音折り内印刷
	観音折り外印刷
	重ね三つ折り内印刷
	重ね三つ折り外印刷
	重ね中折り
	重ね中折り断裁

〔折り〕は以下の場合には設定することができません。

- 印刷設定ダイアログ - [プリンタ固有機能] 画面 (2) - [ステープル] または [パンチ] で [オフ] 以外が選択されている場合 (〔Z 折り〕は設定できます。)
- [プリンタ固有機能] 画面 (2) - [表カバー用トレイ]、[裏カバー用トレイ]、[表カバー]、または [裏カバー] で [オフ] 以外が設定されている場合

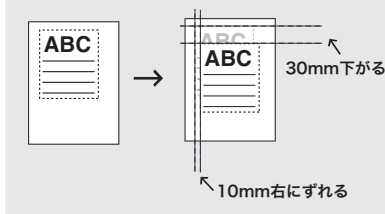
〔折り〕は、以下のユニットが装着している場合、設定可能です。

	パンチ/ マルチ折りユニット	中とじユニット
Z 折り	○	
中折り (内 / 外)	○	
内三つ折り (内 / 外)	○	
外三つ折り (内 / 外)	○	
ダブルパラレル折り (内 / 外)	○	
観音折り (内 / 外)	○	
重ね三つ折り (内 / 外)		○
重ね中折り	○	○

画像シフト

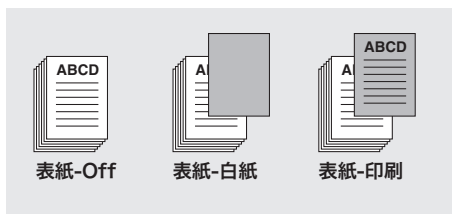
出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整することができます。〔オン〕を選択すると、コピー機の操作パネルで設定した印刷位置で印刷が行われます。

例：設定値を 右シフト 100、下シフト 300 にした場合
(設定値は0.1mm単位)



表カバー

本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の表紙を設定することができます。



〔表カバー〕は、以下の場合には設定することができません。

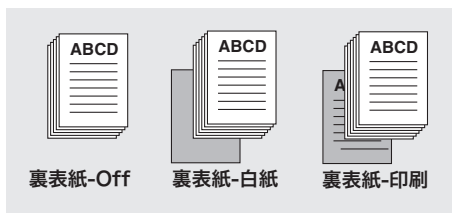
- 〔プリンタ固有機能〕画面 (2) - 〔折り〕で 〔オフ〕以外が設定されている場合

表カバー用トレイ

〔表カバー〕で表紙を設定した場合に、表紙用の給紙トレイを指定します。

裏カバー

本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の裏表紙を設定することができます。



〔裏カバー〕は、以下の場合には設定することができません。

- 〔プリンタ固有機能〕画面 (2) - 〔折り〕で 〔オフ〕以外が設定されている場合

裏カバー用トレイ

〔裏カバー〕で裏表紙を設定した場合に、裏表紙用の給紙トレイを指定します。

表外カバー

設定した出力用紙と異なる厚紙などの用紙をカバーとして、PI トレイ 1 または PI トレイ 2 から排紙することができます。

〔表外カバー〕は以下の場合は設定することができません。

- オプションの構成画面 - 〔設定可能なオプション〕の〔パンチ / マルチ折りユニット〕で〔オフ〕が選択されている場合
- 〔プリンタ固有機能〕画面 (2) - 〔折り〕で〔オフ〕以外が設定されている場合

裏外カバー

設定した出力用紙と異なる厚紙などの用紙をカバーとして、PI トレイ 1 または PI トレイ 2 から排紙することができます。

〔裏外カバー〕は以下の場合は設定することができません。

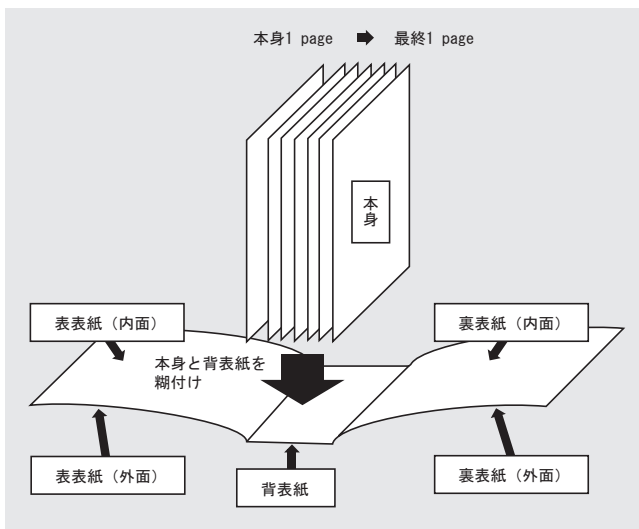
- オプションの構成画面 - 〔設定可能なオプション〕の〔パンチ / マルチ折りユニット〕で〔オフ〕が選択されている場合
- 〔プリンタ固有機能〕画面 (2) - 〔折り〕で〔オフ〕以外が設定されている場合

くるみ製本設定

くるみ製本機能は、くるみ製本機 (PB-502/503) によって原稿 (本身) の背部分を糊付けし、これを表紙でくるんで製本する機能です。

[くるみ製本] は以下の場合に設定できません。

- オプション構成画面で PB-502/503 を設定していない場合



- 本身は折り曲げたり、断裁したりすることはありません。
- 上記イラストは「左とじ」です。「右とじ」にする場合は、「とじ方向」(p. 10-26) を参照してください。
- デフォルトは「左とじ」です。

〔くるみ製本〕で利用できる用紙サイズ・用紙種類・坪量は以下の通りです。

	使用可能サイズ	使用可能坪量	使用可能紙種
本身	定型紙 A4、B5、A5、8.5 × 11、 5.5 × 8.5、16K Z 折り時のみ可能 A3、B4、A4R、11 × 17、 8.5 × 11R、8K ※上記サイズに該当するワイド紙も使用可能です。 不定形紙 幅：150 ～ 307mm 長さ：140 ～ 221mm	62-91g/m ²	普通紙 塗工紙 上質紙 書籍紙 ラフ紙 未印字挿入紙 ※ OHP、穴あき紙は不可
表紙	不定形紙 幅：(最小)150 ～ 307mm 長さ：281 ～ (最大)483mm ※ただし表紙幅と本身幅を同じ長さにする必要があります。	72-161g/m ²	

表紙用紙は、使用するトレイによって利用できる幅・長さ・坪量が変わります。詳しくは「ユーザーズガイド（コピー編または本体編）」をご覧ください。

- 製本する本身枚数は 10 ～ 300 枚です。

- 1 印刷したい文書を開いて、アプリケーションの〔ファイル〕 - 〔印刷〕 コマンドを選択します。
アプリケーションのプリント画面が表示されます。
- 2 〔プリンタの固有機能 (2)〕 を選択して、〔くるみ製本設定〕 を設定します。

〔くるみ製本モード〕は以下のモードに設定することが出来ます。

表紙白紙モード

表紙には何も印字せず、くるみのみ行う場合使用します。

〔表紙トレイ〕にセットされている原稿を表紙として扱います。

例) 〔表紙白紙モード〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像 2in1

表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ (n ページ) を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : 〔表紙画像 2in1〕では、〔PI トレイ〕、〔PB 表紙トレイ〕を使用することが出来ません。

例) 〔表紙画像 2in1〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像 3in1

原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) を裏表紙に、そして最終ページ (n ページ) の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。

また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前 (n-2 ページ) までを本身として印字します。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : [表紙画像 3in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

例) [表紙画像 3in1] でくるみ製本を行う場合



くるみ製本表紙トレイ

くるみ製本表紙用のトレイを選択します。

くるみ製本表紙両面

くるみ製本表紙を両面にしたい場合、[オン]にします。

くるみ製本表紙断裁

くるみ製本表紙を断裁する場合、[オン]にします。

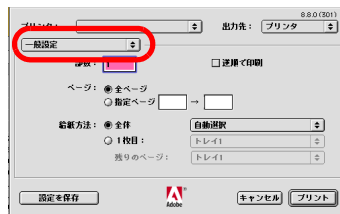
一時停止

印刷前に試し印刷の出力内容や現在の設定内容を確認することができます。

大量の印刷を行なう前に使用することを推奨します。

- 1 印刷したい文書を開いて、印刷コマンドを選択します。
アプリケーションのプリント画面が表示されます。

- 2 [プリンタ固有機能 (2)] を選択します。



- 3 [一時停止] で、[一時停止] または [確認印刷] を選択します。
 - 印刷前に、コピー機の操作パネルから現在の設定を確認したい場合は、[一時停止] を選択します。
 - 1 ページだけをテスト印刷して、現在の設定を確認する場合は、[確認印刷] を選択します。
 - 4 必要に応じて、その他の印刷設定を行い、[プリント] をクリックして、印刷を開始します。
 - [一時停止] を選択した場合は、プリントは、実行されず停止します。[確認印刷] を選択した場合は、一部プリントされ、停止します。
- コピー機の操作パネルに設定内容画面が表示されます。
- 5 [一時停止] の場合は、コピー機操作パネルのタッチパネル画面右上に [機械状態] が点滅するので、[機械状態] を押します。
コピー機の操作パネルに設定内容確認画面が表示されます。

- 6 現在の設定を確認します。
設定を変更しない場合は、手順 9
へ進みます。



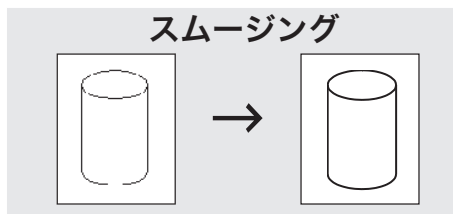
- 7 設定を変更する場合は、設定項目を選択して表示された画面で設定
を変更します。
- 8 [OK] を押します。
設定内容画面に戻ります。
- 9 [スタート] を押します。
プリントジョブが印刷されます。

解像度

プリンターの解像度を選択します (1200dpi/600dpi)。

スムージング

文字やグラフィックスの曲線をなめらかにして印刷する場合に設定しま
す。



- [タイプ 1] は、一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。
- [タイプ 2] は、一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。
- [タイプ 3] は、飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
- 解像度が [1200dpi] に設定されている場合、スムージングは機能
しません。

細線補正

文字を細くして読みやすくしたい場合に設定します。

- 細線補正は、レベル 1～4 で選択します。レベルの数が多いほど文字を細く印刷できます。

日付 / 時刻

日付、時刻を印刷したい場合に設定します。

全ページ 日付 / 時刻が、全ページに印刷されます。

先頭ページのみ 日付 / 時刻が、先頭ページのみに印刷されます。

コピープロテクト

不正コピー防止の為に、コピープロテクトを設定して印刷したい場合に [オン] を選択し、[定型スタンプ] および [背景パターン] を設定します。

定型スタンプ

コピープロテクトを [オン] にした場合に、不正コピー防止の為に牽制文字を選択します。

背景パターン

コピープロテクトを [オン] にした場合に、不正コピー防止の為に背景パターンを選択します。

印刷濃度

印刷濃度を調節したい場合に設定します。

設定項目	印刷濃度
標準	100 %
濃い	110 %
薄い 1	90 %
薄い 2	80 %
薄い 3	70 %
薄い 4	60 %
薄い 5	50 %
トナー節約	80 %
ドラフト印刷	60 %



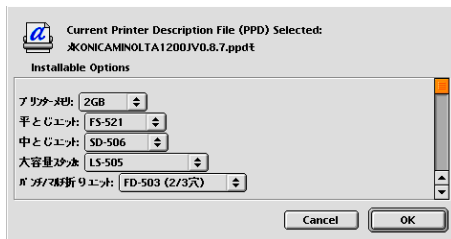
...

ご注意)

印刷濃度は目安として表示しています。

10.12 オプション構成画面

この画面では、インストールするオプションを設定できます。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、" オプションの構成画面の表示方法 " (10-5 ページ) を参照してください。

プリンターメモリ

イメージコントローラが使用しているメモリーを指定します。

平とじユニット

平とじ、ステープル機能を使う場合に設定します。

中とじユニット

中とじ機能を使う場合に設定します。

大容量スタック

大量の印刷物を積み重ねる場合に設定します。

パンチ / マルチ折りユニット

パンチ機能または各種折り機能を使う場合に設定します。

給紙ユニット

オプションの給紙ユニットを使う場合に設定します。

くるみ製本

くるみ製本機能を使う場合に設定します。

マルチパンチユニット

パンチ機能の多穴機能を使う場合に設定します。

11 PostScript PPD ドライバーの設定 (Mac OS X)

この章では、Mac OS X 用 PostScript PPD ドライバーの設定について説明します。

11.1 Mac OS X の画面について

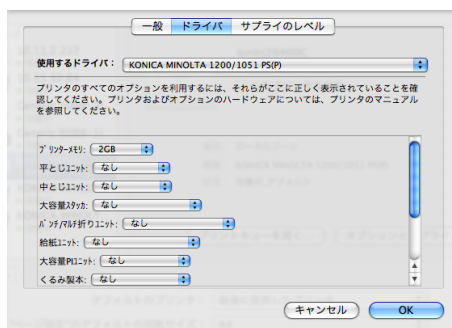
Mac OS X では、プリンタ情報画面、ページ設定画面、プリント画面を使って、ドライバーの設定を行います。

ここでは、Mac OS X の画面の開き方について説明します。

プリンタ情報画面の開き方 (OS 10.4/10.5 の場合)

- 1 アップルメニューの [システム環境設定] を選択します。
- 2 [プリントとファクス] を選択します。
- 3 プリンタを選択して、[オプションとサプライ (プリンタ設定)] をクリックします。
- 4 表示された画面で [ドライバ (インストール可能なオプション)] を選択します。

プリンタ情報画面が表示されます。



プリンタ情報画面の開き方 (OS 10.2/10.3 の場合)

- 1 システムのあるハードディスク内の [アプリケーション] - [ユーティリティ] - [プリントセンター] をダブルクリックします。

プリンタリスト画面が表示されます。

- 2 プリンタを選択して、[プリンタ] メニューの [情報を見る] を選択します。

プリンタ情報画面が表示されます。

プリンターメモリ

イメージコントローラが使用しているメモリーを指定します。

平とじユニット

平とじ、ステープル機能を使う場合に設定します。

中とじユニット

中とじ機能を使う場合に設定します。

大容量スタッカ

大量の印刷物を積み重ねる場合に設定します。

パンチ / マルチ折りユニット

パンチ機能または各種折り機能を使う場合に設定します。

給紙ユニット

オプションの給紙ユニットを使う場合に設定します。

大容量 PI ユニット

外カバーを使う場合に設定します。

くるみ製本

くるみ製本機能を使う場合に設定します。

マルチパンチユニット

パンチ機能の多穴機能を使う場合に設定します。

ページ設定画面の開き方

- 1 印刷したいファイルを開いてから、[ファイル] メニューから [用紙 (ページ) 設定] を選択します。



プリント画面の開き方

- 1 印刷したいファイルを開いてから、[ファイル] メニューから [印刷] (プリント) を選択します。

プリント画面が表示されます。



ワンポイントアドバイス)

印刷する場合は、[プリント] をクリックします。

[PDFとして保存] をクリックすると、PDF ファイルを作成します。

[プリセット] ポップアップメニューから [別名で保存] を選択すると、プリント画面で設定した内容を保存することができます。

11.2 ページ属性の設定 (ページ設定画面)

ページ設定画面から「設定」ポップアップメニューで「ページ属性」を選択して表示します。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「ページ設定画面の開き方」(11-3 ページ) を参照してください。

対象プリンタ

ご使用になりたいプリンターを選択します。

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

選択できる用紙サイズ
A3
A4
A5
B4
B5
B4 (ISO)
B5 (ISO)
SRA3
SRA4
12 x 18
11 x 17
9 x 11
8 1/2 x 14
8 1/2 x 11
5 1/2 x 8 1/2

選択できる用紙サイズ
8 x 13
8 1/2 x 13
8 1/4 x 13
8 1/8 x 13 1/4
8K
16K
はがき
A3 W
A4 W
A5 W
B4 W
B5 W
B4 W (ISO)
B5W (ISO)
12 x 18 W
11 x 17 W
8 1/2 x 11 W
5 1/2 x 8 1/2 W
8 1/2 x 11 インデックス
A4 インデックス



ご注意

原稿サイズの末尾に「ワイド」と記されている用紙は、「ワイド紙」であることを意味します。

他の機能の設定により特定の用紙サイズが選択できない場合があります。詳細は、個々の機能についての記載をご参照ください。

方向

用紙方向を指定します。

拡大縮小

拡大縮小の倍率を設定します。



ワンポイントアドバイス

数値は1きざみ（1%きざみ）で指定することができます。

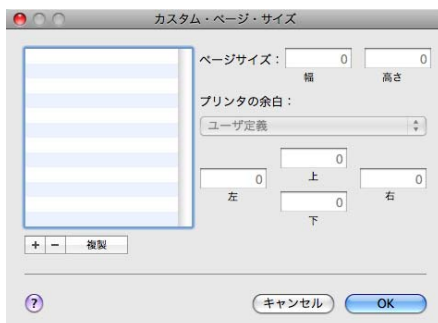
「倍率」ボックス内の数字を範囲選択し、拡大縮小する倍率を半角数字で直接入力することもできます。

11.3 カスタム用紙サイズの設定 (ページ設定画面)

ページ設定画面から「設定」ポップアップメニューで「カスタム用紙サイズ」を選択 (OS 10.2/10.3 の場合)、または「用紙サイズ」ポップアップメニューで「カスタムサイズを管理」を選択 (OS 10.4/10.5 の場合) して表示します。



(OS 10.2/10.3 の場合)



(OS 10.4/10.5 の場合)



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「ページ設定画面の開き方」(11-3 ページ) を参照してください。

新規

カスタム用紙サイズを新規で登録することができます。

OS 10.4/10.5 の場合は、[+] をクリックして新規作成を行います。

用紙サイズ

用紙の長さと幅を設定します。

プリンタの余白

用紙の余白を設定します。

11.4 印刷部数と印刷ページ (プリント画面)

プリント画面のポップアップメニューから「印刷部数と印刷ページ」を選択して表示します。



...

ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「プリント画面の開き方」(11-3 ページ)を参照してください。

部数

印刷する部数を入力します。

丁合い

複数部数を印刷する際に、全てのページを1部印刷してから2部目、3部目…と、1部ずつまとめて印刷することができます。

ページ

ページの設定は、以下のいずれかを選択します。

- 全てのページを印刷する場合は、「すべて」ラジオボタンをONにします。
- 印刷するページを指定したい場合は、「開始」ラジオボタンをONにして、印刷したい開始ページと終了ページを入力します。

11.5 レイアウト (プリント画面)

プリント画面のポップアップメニューから「レイアウト」を選択して表示します。

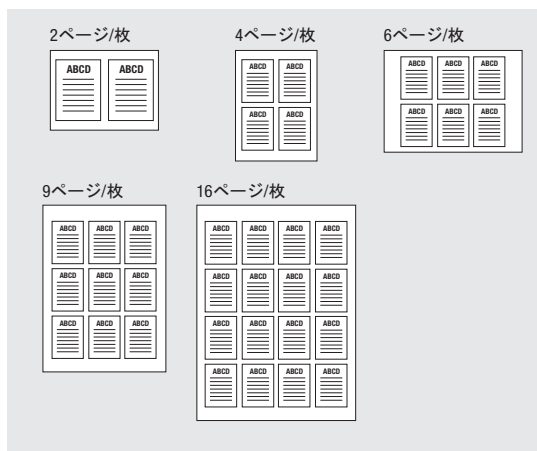


ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「プリント画面の開き方」(11-3 ページ)を参照してください。

ページ数 / 枚

1 ページ分、2 ページ分、4 ページ分、6 ページ分、9 ページ分、または 16 ページ分を 1 ページに割付けて印刷することができます。割付けられたページは、出力用紙の印刷可能領域を基準に、自動的に縮小されて印刷されます。



レイアウト方向

[ページ数 / 枚] で複数ページを 1 ページに割り付けたときのレイアウトの方向を指定します。

枠線

[ページ数 / 枚] で設定したページの境界線を入れる場合に設定します。

11.6 給紙 (プリント画面)

プリント画面のポップアップメニューから [給紙] を選択して表示します。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、" プリント画面の開き方 " (11-3 ページ) を参照してください。

給紙

給紙方法は、以下の方法で設定します。

- すべてのページを同じトレイから給紙する場合は、[全体] ラジオボタンを ON にします。
- 1 枚目と残りの印刷でトレイを分ける場合は、[先頭ページのみ] ラジオボタンを ON にして、1 枚目と残りのページのそれぞれに給紙トレイを指定します。



ワンポイントアドバイス

[自動選択] の場合、アプリケーションから本プリンティングシステムの [ページ属性] 画面で指定した用紙がセットされた給紙トレイが自動的に選択されます。

用紙種類

以下の用紙種類を指定できます。

選択できる用紙の種類	
指定なし	
普通紙	
塗工紙	パンフレットのようなコート紙を使用する場合に選択します。
追い刷り紙	印刷済みの用紙に、追い刷りをする場合に選択します。
上質紙	メモ用紙のような用紙を使用する場合に選択します。
書籍用紙	書籍や新聞のような用紙を使用する場合に選択します。
ラフ紙	チケットのような用紙を使用する場合に選択します。
未印字挿入紙	インデックス紙などを挿入する場合に選択します。
OHP	OHP を使用する場合に選択します。

坪量

出力紙の重さを指定できます。

指定なし	40-49g/m ²	50-61g/m ²	62-71g/m ²	72-91g/m ²
92-130g/m ²	131-161g/m ²	162-216g/m ²	217-244g/m ²	245-300g/m ²
301-350g/m ²				

[245-300g/m²] および [301-350g/m²] は、以下の場合は選択できません。

- [装置情報] タブで給紙ユニットが設定されていない場合

紙色

用紙の紙色を設定できます。

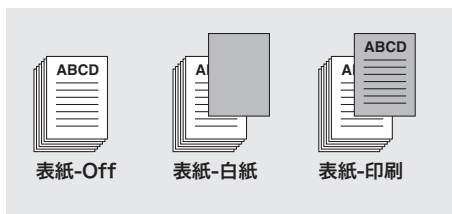
指定なし / 白 / 透明 / 黄 / ピンク / 青 / 緑

穴あき

パンチ穴などがある紙を使用する場合に設定します。

表カバー

本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の表紙を設定することができます。



〔表カバー〕は、以下の場合には設定することができません。

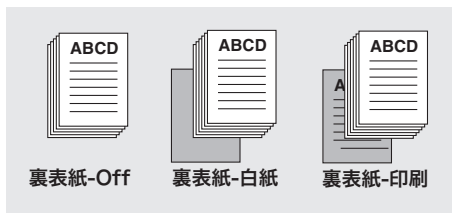
- 出力設定画面 - 〔仕分け〕が選択されている場合
- 画像/レイアウト画面 - 〔特殊モード〕で [2 in 1]、または [2 リピー ト] が選択されている場合

表カバー用トレイ

〔表カバー〕で表紙を設定した場合に、表紙用の給紙トレイを指定し ます。

裏カバー

本文用紙と異なる種類の用紙（カラー用紙等）の裏表紙を設定すること ができます。



〔裏カバー〕は、以下の場合には設定することができません。

- 出力設定画面 - 〔仕分け〕が選択されている場合
- 画像/レイアウト画面 - 〔特殊モード〕で [2 in 1]、または [2 リピー ト] が選択されている場合

裏カバー用トレイ

〔裏カバー〕で裏表紙を設定した場合に、裏表紙用の給紙トレイを指定 します。

表外カバー

設定した出力用紙と異なる厚紙などの用紙を表表紙として、PI トレイ 1 または PI トレイ 2 から排紙することができます。

裏外カバー

設定した出力用紙と異なる厚紙などの用紙を裏表紙として、上段トレイまたは下段トレイから排紙することができます。

[表外カバー] / [裏外カバー] は、以下の場合には設定することができません。

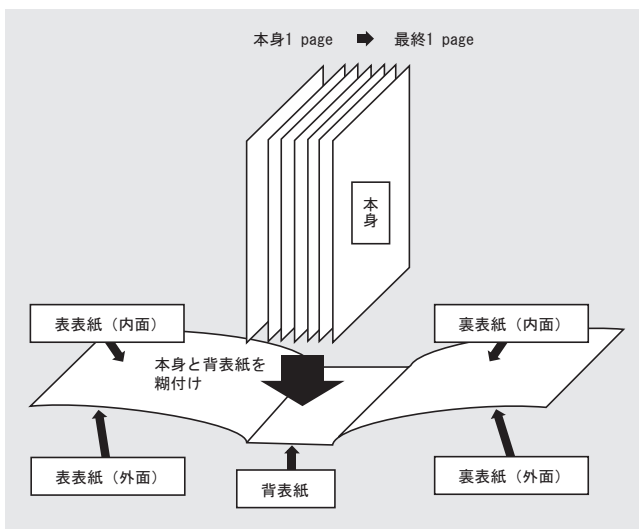
- プリンタ情報画面の [パンチ/マルチ折りユニット] で [なし] が選択されている場合

くるみ製本設定

くるみ製本機能は、くるみ製本機 (PB-502/503) によって原稿 (本身) の背部分を糊付けし、これを表紙でくるんで製本する機能です。

[くるみ製本] は以下の場合に設定できません。

- プリンタ情報画面で PB-502/503 を設定していない場合



- 本身は折り曲げたり、断裁したりすることはありません。
- 上記イラストは「左とじ」です。「右とじ」にする場合は、「とじ方向」(p. 11-25)を参照してください。
- デフォルトは「左とじ」です。

〔くるみ製本〕で利用できる用紙サイズ・用紙種類・坪量は以下の通りです。

	使用可能サイズ	使用可能坪量	使用可能紙種
本身	定型紙 A4、B5、A5、8.5 × 11、 5.5 × 8.5、16K Z 折り時のみ可能 A3、B4、A4R、11 × 17、 8.5 × 11R、8K ※上記サイズに該当するワイド紙も使用可能です。 不定形紙 幅：150 ～ 307mm 長さ：140 ～ 221mm	62-91g/m ²	普通紙 塗工紙 上質紙 書籍紙 ラフ紙 未印字挿入紙 ※ OHP、穴あき紙は不可
表紙	不定形紙 幅：(最小)150 ～ 307mm 長さ：281 ～ (最大) 483mm ※ただし表紙幅と本身幅を同じ長さにする必要があります。	72-161g/m ²	

表紙用紙は、使用するトレイによって利用できる幅・長さ・坪量が変わります。詳しくは「ユーザーズガイド（コピー編または本体編）」をご覧ください。

- 製本する本身枚数は 10 ～ 300 枚です。

- 1 印刷したい文書を開いて、アプリケーションの〔ファイル〕 - 〔印刷〕 コマンドを選択します。

アプリケーションのプリント画面が表示されます。

- 2 プルダウンメニューから〔セットアップ〕を選択します。

- 3 〔くるみ製本設定〕からくるみ製本のモードを選択します。

〔くるみ製本モード〕は以下のモードに設定することが出来ます。

表紙白紙モード

表紙には何も印字せず、くるみのみ行う場合使用します。

〔表紙トレイ〕にセットされている原稿を表紙として扱います。

例) 〔表紙白紙モード〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像 2in1

表紙は、原稿の 1 ページ目と最終ページ (n ページ) を 2 in 1 として作成し、2 ページ目から最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) までを本身として印字し、背表紙は印字せず、くるみ製本を行います。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : 〔表紙画像 2in1〕では、〔PI トレイ〕、〔PB 表紙トレイ〕を使用することが出来ません。

例) 〔表紙画像 2in1〕でくるみ製本を行う場合



表紙画像 3in1

原稿の 1 ページ目を表表紙に、最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) を裏表紙に、そして最終ページ (n ページ) の背表紙として 3 in 1 に自動で面付けした後に、表紙を印刷します。

また、2 ページ目から最終ページの 2 ページ前 (n-2 ページ) までを本身として印字します。

なお、背表紙幅は本体で設定した幅に反映されます。

注意 : [表紙画像 3in1] では、[PI トレイ]、[PB 表紙トレイ] を使用することが出来ません。

例) [表紙画像 3in1] でくるみ製本を行う場合



くるみ製本表紙トレイ

くるみ製本表紙のトレイを選択します。

くるみ表紙両面

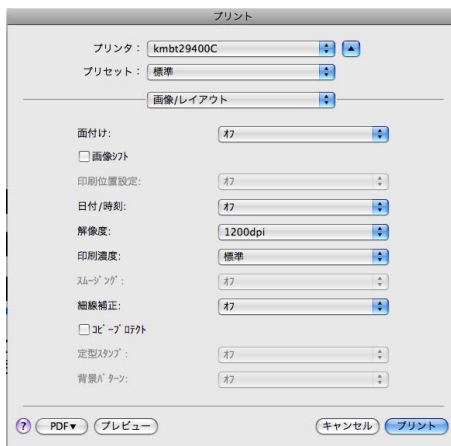
くるみ製本表紙を両面にしたい場合、[ON] にします。

くるみ製本表紙断裁

くるみ製本表紙を断裁する場合、[ON] にします。

11.8 画像 / レイアウト (プリント画面)

プリント画面のポップアップメニューから「画像 / レイアウト」を選択して表示します。

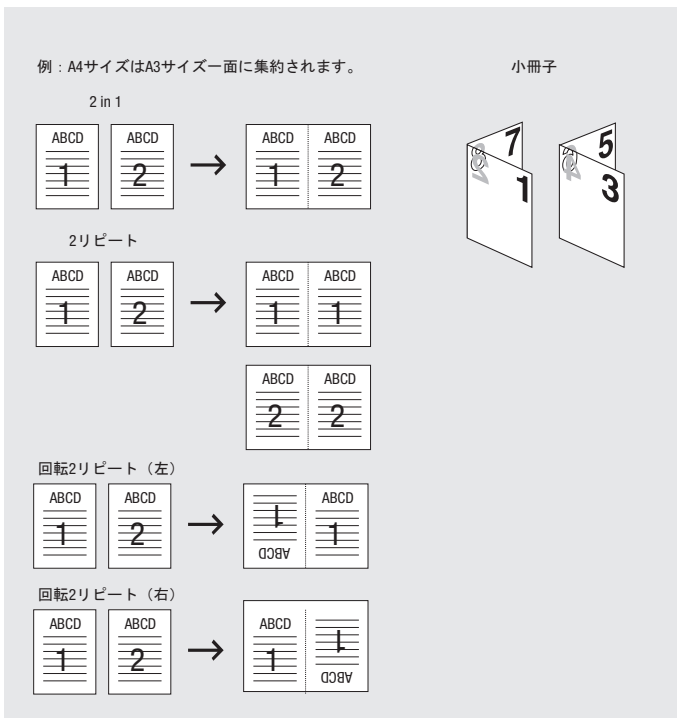


ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「プリント画面の開き方」(11-3 ページ)を参照してください。

面付け

小冊子機能、無線とじ、2 in 1、2 リピート機能を設定できます。

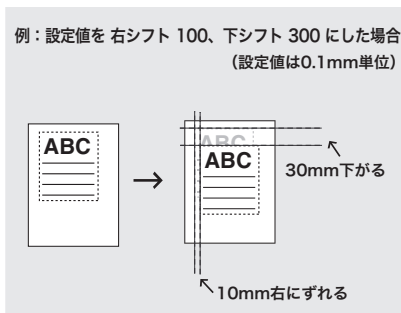


〔2 in 1〕 / 〔2 リピート〕 は、以下の場合には設定することができません。

- 出力設定画面 - 〔仕分け〕 が選択されている場合
- セットアップ画面 - 〔表カバー〕、または 〔裏カバー〕 で 〔オフ〕 以外が設定されている場合

画像シフト

出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整することができます。
[チェック] を入れると、コピー機の操作パネルで設定した印刷位置で印刷が行われます。



印刷位置設定

印刷する位置を設定できます。

オフ / 左 / 中央 / 右

日付 / 時刻

日付、時刻を印刷したい場合に設定します。

全ページ 日付 / 時刻が、全ページに印刷されます。

先頭ページのみ 日付 / 時刻が、先頭ページのみに印刷されます。

解像度

プリンターの解像度を選択します (1200dpi/600dpi)。

印刷濃度

印刷濃度を調節したい場合に設定します。

設定項目	印刷濃度
標準	100 %
濃い	110 %
薄い 1	90 %
薄い 2	80 %
薄い 3	70 %
薄い 4	60 %
薄い 5	50 %
トナー節約	80 %
ドラフト印刷	60 %

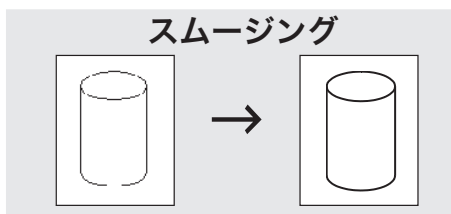


ご注意)

印刷濃度は目安として表示しています。

スムージング

文字やグラフィックスの曲線をなめらかにして印刷する場合に設定します。



- [タイプ 1] は、一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。
- [タイプ 2] は、一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。
- [タイプ 3] は、飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
- 解像度が [1200dpi] に設定されている場合、スムージングは機能しません。

細線補正

文字を細くして読みやすくしたい場合に設定します。

細線補正は、レベル 1 ～ 4 で選択します。レベルの数が多いほど文字を細く印刷できます。

コピープロテクト

不正コピー防止の為に、コピープロテクトを設定して印刷したい場合に「オン」を選択し、「定型スタンプ」および「背景パターン」を設定します。

定型スタンプ

コピープロテクトを「オン」にした場合に、不正コピー防止の為に牽制文字を選択します。

背景パターン

コピープロテクトを「オン」にした場合に、不正コピー防止の為に背景パターンを選択します。

11.9 出力設定（プリント画面）

プリント画面のポップアップメニューから「出力設定」を選択して表示します。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「プリント画面の開き方」（11-3 ページ）を参照してください。

ソート

複数部数を印刷する際に、全てのページを 1 部印刷してから 2 部目、3 部目…と、1 部ずつまとめて印刷することができます。

仕分け

この機能を ON にすると、複数部数を印刷する際に、部数単位に排紙位置を手前と奥にシフトさせて出力することができます。

「仕分け」は以下の場合は設定することができません。

- ページ属性の設定画面で、「はがき」または「カスタム」が選択されている場合
- 排紙ユニットが設定されていない場合

上積み許可

大容量スタックに印刷されたものがある場合に、上積みする許可を設定できます。

上積み許可をオフに設定しておくと、大容量スタックに上積み許可がされません。

上積み許可がされていないジョブが、大容量スタックにあると、上積み許可をしても上積みはされません。

排紙トレイ

排紙トレイを選択します。

排紙トレイは、以下の場合は設定できません。

- [ステープル] が設定されている場合は、排紙トレイで [デフォルト] と [メイントレイ] 以外は設定できません。



ワンポイントアドバイス

オプションの排紙トレイは、プリンタ情報画面で設定しておく必要があります。インストール可能なオプションについては、" プリンタ情報画面の開き方 (OS 10.4/10.5 の場合) " (11-1 ページ) を参照してください。

排紙モード

排紙を上向きに出力するかどうかを設定できます。

- 下向きに出力する場合は、[フェイスダウン] を選択します。
- 上向きに出力する場合は、[フェイスアップ] を選択します。

ページ順

印刷するページ順を設定します。

- [終了ページから降順] を選択すると、最後のページから順に印刷されます。

とじ方向

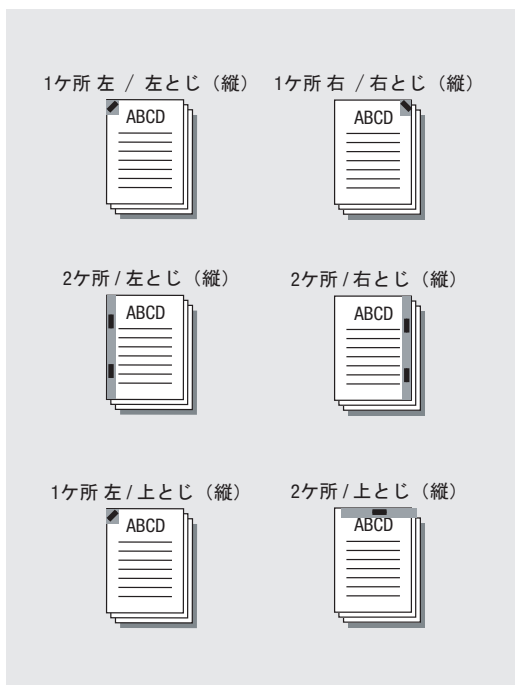
[ステープル]、[パンチ] などの機能を使用した場合のとじ位置を設定します。

両面

両面印刷をする際にチェックします。

ステーブル

出力用紙をステーブル止めすることができます。ステーブル止めの数や位置などは、以下のように設定することができます。

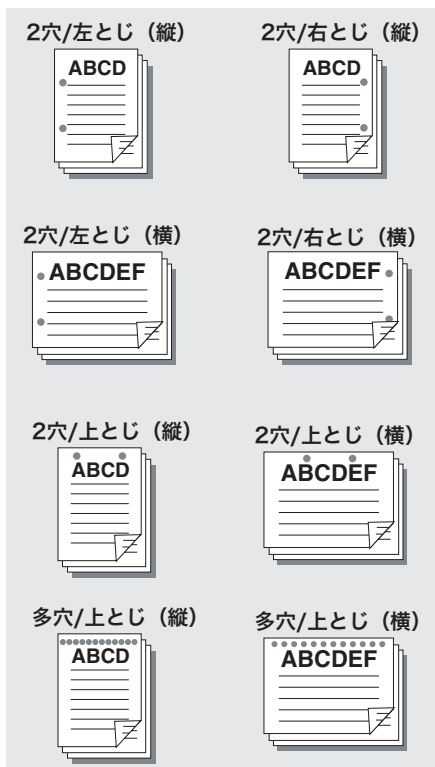


〔ステーブル〕は以下の場合は設定することができません。

- プリンタ情報画面 - 〔平とじユニット〕が設定されていない場合
- 出力設定画面 - 〔折り〕で〔Z 折り〕以外が選択されている場合
- 出力設定画面 - 〔排紙モード〕で〔フェイスアップ〕が選択されている場合

パンチ

パンチの設定は、以下のように行うことができます。



〔パンチ〕は以下の場合には設定することができません。

- プリンタ情報画面の〔パンチ/マルチ折りユニット〕で〔なし〕が選択されている場合
- ページ属性の設定画面 - 〔用紙〕で〔はがき〕、〔ワイド紙 (W)〕、〔カスタム〕が選択されている場合
- 出力設定画面 - 〔折り〕で〔Z 折り〕以外が選択されている場合

〔多穴〕は以下の場合には設定することができません。

- プリンタ情報画面の〔マルチパンチユニット〕で〔オフ〕が選択されている場合

折り

折りの種類を設定します。

イメージ	名称
	Z 折り
	中とじ
	中とじ断裁
	中折り内印刷
	中折り外印刷
	内三つ折り内印刷
	内三つ折り外印刷
	外三つ折り内印刷
	外三つ折り外印刷
	ダブルパラレル折り内印刷
	ダブルパラレル折り外印刷
	観音折り内印刷
	観音折り外印刷
	重ね三つ折り内印刷
	重ね三つ折り外印刷
	重ね中折り
	重ね中折り断裁

〔折り〕 は以下の場合には設定することができません。

- 出力設定画面 - 〔ステープル〕、〔パンチ〕 が設定されている場合、〔Z 折り〕 以外は選択できません。
- セットアップ画面 - 〔表カバー〕、〔裏カバー〕、〔表外カバー〕、または 〔裏外カバー〕 で 〔オフ〕 以外が設定されている場合

[折り] は、以下のユニットが装着している場合、設定可能です。

	パンチ/ マルチ折りユニット	中とじユニット
Z 折り	○	
中折り (内 / 外)	○	
内三つ折り (内 / 外)	○	
外三つ折り (内 / 外)	○	
ダブルパラレル折り (内 / 外)	○	
観音折り (内 / 外)	○	
重ね三つ折り (内 / 外)		○
重ね中折り	○	○



...

ワンポイントアドバイス)

それぞれの折りを設定するには、プリンタードライバー上で対応する排紙トレイを設定しておく必要があります。

排紙トレイについては、" 排紙トレイ " (11-25 ページ) を参照してください。

11.10 セキュリティー（プリント画面）

プリント画面のポップアップメニューから「セキュリティ」を選択して表示します。



ワンポイントアドバイス

画面の表示方法については、「プリント画面の開き方」（11-3 ページ）を参照してください。

出力方法 - 通常印刷

通常の印刷を行います。

出力方法 - 機密プリント

機密性の高い文書を印刷する場合に使用します。

機密プリント機能を使うと、機密プリント ID とパスワードをコピー機の操作パネル上で入力するまで、プリントされなくなります。

- 1 印刷したいファイルを開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] (プリント) コマンドを選択します。
- 2 ポップアップメニューをクリックして、[セキュリティ] ウィンドウを表示します。
- 3 [出力方法] から [機密プリント] を選択します。
機密プリント設定フィールドがアクティブになります。
- 4 機密プリント ID とパスワードを入力して、[プリント] をクリックします。
印刷が開始されます。
- 5 コピー機のタッチパネルで [読出し] を押します。


- 6 [機密フォルダー] を押して、ボックスを選択して、[OK] を押します。

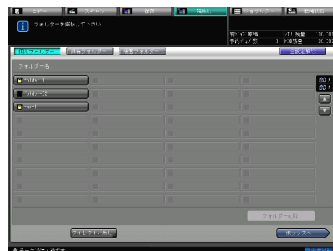
パスワード入力画面が表示されます。

- 7 パスワードを入力します。

- 8 [OK] を押して、パスワード入力画面を閉じます。

- 9 印刷したいファイルを選択して、

 を押します。



- 10 [自動] を選択して、[OK] を押します。

印刷が開始されます。



...

ワンポイントアドバイス)

親展出力の設定を確認するには、[ウェイト出力] または [プルーフ出力] を選択して、[OK] を押します。

出力方法 - ボックス保存 / ボックス保存 & 印刷

プリントジョブをコピー機内蔵のハードディスクに画像として保存して、必要に応じて、再出力することができます。出力するには、操作パネルから操作します。

- 1 印刷したいファイルを開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] (プリント) コマンドを選択します。
- 2 ポップアップメニューをクリックして、[セキュリティ] ウィンドウを表示します。
- 3 [出力方法] から [ボックス保存] または [ボックス保存 & 印刷] を選択します。
ボックス保存設定フィールドがアクティブになります。
 - [ボックス保存] を選択した場合は、プリントジョブが内蔵ハードディスクに保存されます。
 - [ボックス保存 & 印刷] を選択した場合は、プリントジョブが内蔵ハードディスクに保存され、1 部プリントされます。ボックス保存フィールドがアクティブになります。
- 4 ファイル名とボックスナンバーを入力して、[プリント] をクリックします。
- 5 印刷が開始されます。
プリントジョブがコピー機内蔵ハードディスクに保存されます。

一時停止 / 確認印刷

印刷前に試し印刷の出力内容や現在の設定内容を確認することができます。

大量の印刷を行なう前に使用することを推奨します。

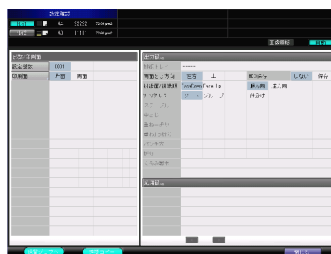
- 1 印刷したいファイルを開いて、アプリケーションの [ファイル] - [印刷] (プリント) コマンドを選択します。
- 2 ポップアップメニューをクリックして、[セキュリティ] ウィンドウを表示します。
- 3 [出力方法] から [一時停止] または [確認印刷] を選択します。
- 4 必要に応じて、その他の印刷設定を行い、[プリント] をクリックして、印刷を開始します。
 - [一時停止] を選択した場合は、プリントは、実行されず停止します。[確認印刷] を選択した場合は、一部プリントされ、停止します。

コピー機の操作パネルに設定内容確認画面が表示されます。

- 5 [一時停止] の場合は、コピー機操作パネルのタッチパネル画面右上に [機械状態] が点滅するので、[機械状態] を押します。

コピー機の操作パネルに設定内容確認画面が表示されます。

- 6 現在の設定を確認します。
設定を変更しない場合は、手順 9 へ進みます。



- 7 設定を変更する場合は、設定項目を選択して表示された画面で設定を変更します。
- 8 [OK] を押します。
設定内容画面に戻ります。
- 9 [スタート] を押します。
プリントジョブが印刷されます。

認証設定 / 部門管理



ワンポイントアドバイス)

認証設定 / 部門管理については、管理者にお問い合わせください。

認証設定 - Public ユーザ

パブリックユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスする場合にチェックします。

認証設定 - 登録ユーザ

登録ユーザーとしてイメージコントローラーにアクセスする場合にチェックします。

認証設定 - 登録ユーザ - ユーザー名

登録ユーザーのユーザー名を入力します。

認証設定 - 登録ユーザ - パスワード

登録ユーザーのパスワードを入力します。

部門管理 - 部門名

部門管理を設定している場合に、部門名を入力します。

部門管理 - パスワード

部門管理を設定している場合に、パスワードを入力します。

セキュリティ強化モード

「セキュリティ強化モード」チェックボックスを ON にすると、以下の機能のパスワード入力欄が入力不可になり、プリンタードライバーからプリンティングシステムに対してパスワードをネットワーク経由で送信することができなくなります。

- 機密プリント (p. 11-31)
- 認証 / 部門管理 (p. 11-35)

本機能を使用してプリントする場合、プリントデータ送信後にコピー機のパネル上でパスワードを入力する必要があります。詳しくはユーザーズガイド (セキュリティ編) を参照してください。

12 トラブルが生じたら

この章では、印刷に関する基本的なトラブルシューティングおよび PostScript 関連のトラブルシューティングについて説明します。

12.1 基本的なトラブルシューティング

ここでは、問題が起こったときのトラブルシューティング方法を記述します。ここでの方法を参照しても問題が解決しない場合は、サービス管理店にお問い合わせください。

トラブルが起きた場合に最初に確認すること

- 1 コピー機およびコンピューターの電源とケーブル接続をチェックします。
- 2 コピー機のタッチ画面をチェックして、トラブル情報を集めます。
- 3 設定メニュー画面にある [コントローラー] の [レポートタイプ] から [設定情報リスト] を印刷して、正しい設定であるかどうかを確認します。



...

ワンポイントアドバイス

テストページの詳細については、" テスト印刷をして確認する " (4-42 ページ) を参照してください。

- 4 本プリンティングシステムの現在の状況をチェックします。
 - 操作パネルのタッチ画面に表示される現在の状況を確認します。
 - コピー機タッチパネルの [ジョブ確認] を押して、ジョブの状況を調べます。

自分のジョブが処理中、または、印刷待ちの場合：

Windows では：

[スタート] — [プリンタと FAX] から、ご使用中のプリンターのアイコンをダブルクリックして表示されるダイアログに、現在のジョブの状況が表示されます。

Macintosh では :

デスクトップ画面上にあるご使用中のプリンターのアイコンをダブルクリックして表示されるダイアログに、現在のジョブの状況が表示されます。

12.2 印刷上の一般的な問題

本プリンティングシステムが【プリント（印刷）】コマンドに反応しない

- 1 ご使用中のプリンターを現在使用するプリンターとして選択しているか確認してください。
 - 印刷の前にコンピューターから、該当プリンターを現在使用するプリンターとして選択している必要があります。
- 2 コピー機の電源スイッチが ON になっているか確認してください。
- 3 「テストページ」を印刷してみてください。
 - テストページが印刷できるのにコンピューターからジョブの印刷ができない場合は、システム管理者またはサービス管理店へ連絡してください。
- 4 コピー機のタッチ画面右上のアイコンに【エラー】が表示されている場合、コピー機の操作パネルが、スキャナーモードではなくコピーモードであることを確認してください。

【普通紙】以外の【用紙種類】が選択できない

- 1 プリンタードライバの設定を初期設定の状態に戻してください。
- 2 給紙トレイを【自動】以外に設定してください。

セットしていない用紙サイズを要求するメッセージが表示される

- 1 ジョブを取り消して、アプリケーション上で【ページ（用紙）設定】ダイアログの用紙サイズを変更してください。
- 2 操作パネルのサイズ選択で異なるサイズの用紙を選択し、【スタート】を押してください。強制排紙を開始します。

テストページの印刷ができない

- 1 コピー機操作パネルのタッチ画面を確認してください。
 - タッチ画面に「コピーできます」と表示されている場合、ステップ3に進んでください。
 - タッチ画面に診断メッセージまたはエラーメッセージが表示されている場合は、ユーザズガイド（コピー編または本体編）を参照してください。
 - タッチ画面が一面ブランクの場合は、ステップ2に進んでください。
- 2 操作パネル上の［パワーセーブモード ON/OFF］を押してください。
 - コピー機がパワーセーブモードの場合、このスイッチを押すとタッチ画面が表示モードになります。
- 3 コピーを試行してください。
 - コピーができる場合は、ステップ4に進んでください。
- 4 コピー機の電源を一旦切り、10 秒待ってから再起動してください。本プリンティングシステムが使用可能な状態になってから、再度テストページを印刷してみてください。
 - テストページを印刷できない場合は、サービス管理店へご連絡ください。

ジョブのプリント設定と印刷結果が一致しない

- 1 プリンター設定が変更されていないかどうか確認してください。

【両面印刷】が選択できない

（Windows の場合）

- 1 プリンタードライバを初期設定の状態に戻してください。
- 2 原稿サイズ / 出力用紙として [B6]、[ハガキ] 以外が選択されていることを確認してください。
- 3 用紙種類として [普通紙] が選択されていることを確認してください。
- 4 [小冊子] が [OFF] になっていることを確認してください。

12.3 PostScript に関する一般的な問題

ポストスクリプトエラーが表示される

ポストスクリプトエラーの内容は、

「<http://www.adobe.com/cfusion/search/index.cfm?cat=support&term=&loc=ja>」から検索することができます。

どのコンピューターからの印刷にもポストスクリプトエラーメッセージが表示される

(対処)

PS3 プリンティングシステムの接続不良などが考えられます。再度、接続等をご確認ください。

特定のアプリケーションからの印刷にポストスクリプトエラーメッセージが表示される

(対処)

アプリケーションの不良などが考えられます。簡単なテストファイルで印刷を試してみてください。それでも印刷できない場合は、該当アプリケーションを再度インストールしてください。

特定のファイルからの印刷にポストスクリプトエラーメッセージが表示される

(対処)

ファイルの印刷設定が間違っている、含まれるグラフィックが壊れている、問題のある要素がファイルに含まれているなどが考えられます。

エラーの発生しない印刷設定を使ってファイルで印刷を試してみてください。それでも印刷できない場合は、ファイルを新規保存（または別名保存）してください。

不定形紙（カスタム）に正しく印刷できない（Macintosh）

(対処)

不定形紙（カスタム）のコピー機でのセット方向が間違っているなどが考えられます。

不定形紙（カスタム）のセット方向を 90 度回転させ、ドライバー及びコピー機の設定を変更後印刷を試してみてください。

12.4 未出力ジョブの確認

出力されないジョブがある場合は、未出力ジョブリスト画面で確認できます。

未出力ジョブリスト画面は以下の方法で表示させることができます。

- 1 コピー機のタッチパネルで、[ジョブリスト] を押します。
- 2 [未出力履歴] を押します。



- 3 未出力ジョブを確認します。




ワンポイントアドバイス)

ジョブリストについての詳細は、管理者にお問い合わせください。

13 フォントについて

本章では、フォントについて説明します。

13.1 フォントリスト (PCL)

<div>  KONICA MINOLTA pcl font list </div>					
PCL Internal Fonts					
Font	Pitch/Point	Orient	Escape Sequence	Font#	FontID
Courier	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	0	
CG Times	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	1	
CG Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	2	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	3	
CG Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	4	
CG Omega	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4113T	5	
CG Omega Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4113T	6	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4113T	7	
CG Omega Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4113T	8	
<i>Caravel</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	9	
Clarendon Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	10	
Univers Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	11	
Univers Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	12	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	13	
Univers Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	14	
Univers Med. Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	15	
Univers Bold Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	16	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	17	
Univers Bold Cond. It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	18	
Antique Olive	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	19	
Antique Olive Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	20	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	21	
Garamond Antiqua	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	22	
Garamond Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	23	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	24	
Garamond Kursiv Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4197T	25	
<i>Matigold</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4297T	26	
Albertus Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s1b4362T	27	
Albertus Extra Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s4b4362T	28	

13.3 スクリーンフォントについて

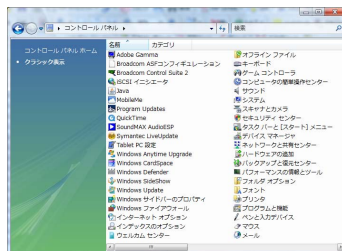
付属 CD-ROM には、Windows 標準添付以外の TrueType フォントが [スクリーンフォント] として添付されています。

このスクリーンフォントをご使用のシステムにインストールすることで、プリンターフォントと TrueType フォントの WYSIWYG 環境が実現されます。また、印刷パフォーマンスも向上する場合があります。

TrueType フォントのインストール手順 (Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008)

- 1 タスクバーの [スタート] - [コントロールパネル] をクリックします。
 - Windows 2000 の場合は、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [フォント] アイコンをダブルクリックします。

[フォント] ウィンドウが表示されます。



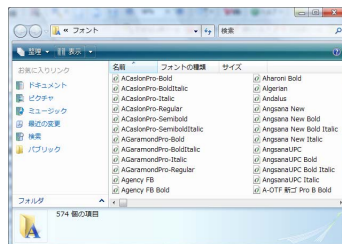
ご注意)

Windows Vista をご使用の場合は、[デスクトップのカスタマイズ] をクリックし、[フォント] をクリックします。

Windows XP/Server 2003 をご使用の場合は、[デスクトップの表示とテーマ] をクリックし、[関連項目] 下にある [フォント] をクリックします。

3 フォントフォルダー内で右クリックします。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、[ファイル] メニューを選択します。



4 [新しいフォントのインストール] を選択します。

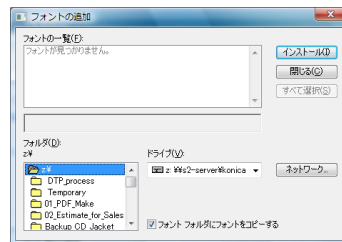
[フォントの追加] ダイアログが表示されます。

5 Driver CD の [¥ScreenFonts] フォルダー内から、追加するフォントを選択します。

6 このとき、[フォントフォルダにフォントをコピーする] チェックボックスを ON にします。

7 [インストール] をクリックします。

- Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、[OK] をクリックします。



また Driver CD 内には、PostScript Type 1 フォントが用意されています。

PostScript Type1 フォントは、内蔵のプリンターフォントと同じデザインのフォントを用意しています。プリンターフォントを使用して印刷する場合で、モニタ表示と印刷結果を合わせたい場合にインストールすることをお勧めします。

Postscript Type1 フォントのインストール手順

Windows 2000/XP/Vista/Server 2003/Server 2008 にはシステムレベルにて ATM と同等の機能が組み込まれております。ATM をインストールする必要はありません。

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 2000 の場合は、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 フォントアイコンをダブルクリックします。
- 3 フォントフォルダー内で右クリックし、[新しいフォントのインストール] を選択します。
 - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、[ファイル] メニューから [新しいフォントのインストール] 選択します。
- 4 場所の選択にて [¥ScreenFonts¥PS¥Type 1 Fonts] ディレクトリを開きます。
- 5 [すべて選択] をクリックします。
- 6 [インストール] をクリックします。
 - Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、[OK] をクリックします。

13.4 Font Management Utility について

PCL フォント、PostScript フォントをイメージコントローラーに追加および削除することができる "Font Management Utility" があります。

詳しくは "PAGESCOPE UTILITIES" CD-ROM [Font ManagementUtility] 内にあるユーザーズガイドを参照してください。

14 ユーティリティツールについて

この章では、イメージコントローラー関連のユーティリティツールについて説明しています。

14.1 PageScope Web Connection

本プリンティングシステムは、Web サーバー機能を持っています。PageScope Web Connection は、ブラウザソフト（Microsoft Internet Explorer など）を使って Web サーバーにアクセスして、プリンターの状態を確認するためのツールです。



ご注意

本章では、イメージコントローラーの一般ユーザーのための機能を説明しています。管理者用の機能については、「ユーザーズガイド (POD 管理者編または本体編)」を参照してください。

また「セキュリティ強化機能設定」がONの時には、PageScope Web Connection は使用できません。また「セキュリティ強化機能設定」をONからOFFに変更した場合、PageScope Web Connection は「使用しない」の状態を維持します。

PageScope Web Connection を使用可能に変更したい場合は、管理者にお問い合わせください。

ここでは、"bizhub PRO 1200" の画面を使って説明しています。そのため、"bizhub PRO 1200P" では表示されない項目があります。

14.1.1 PageScope Web Connection の概要

ここでは、PageScope Web Connection の概要について説明します。

一般ユーザーは、PageScope Web Connection を使って、イメージコントローラーの設定を確認することができますが、設定を変更するには管理者権限が必要になります。

プリンターの設定内容を確認する

PageScope Web Connection を使うと、イメージコントローラーの設定内容を表示することができます。

表示できる設定内容は、以下の通りです。

- 装置情報 - 構成要素
- 装置情報 - オプション
- 装置情報 - 消耗品情報
- 装置情報 - カウンター
- サポート情報
- ネットワーク設定情報
- 印刷設定情報 - デフォルト設定
- 印刷設定情報 - フォント情報
- 印刷設定情報 - マクロー覧
- 印刷設定情報 - PCL 設定
- 印刷設定情報 - PS 設定
- 印刷設定情報 - TIFF 設定
- 実行中リスト
- 履歴リスト

各種情報を印刷する

PageScope Web Connection を使って、印刷できる情報は、以下の通りです。

- PS フォントリスト
- PS デモページ
- PCL フォントリスト
- PCL デモページ
- 設定情報リスト

ダイレクトプリントを行う

PageScope Web Connection を使って、ダイレクトプリントを実行することができます。

14.1.2 PageScope Web Connection を使うには

PageScope Web Connection は、ブラウザソフトを使用して使うことができます。

PageScope Web Connection を起動する

- 1 ブラウザソフトを起動します。
- 2 [アドレス] にイメージコントローラーの IP アドレスを入力して、[Enter] または [Return] を押します。

PageScope Web Connection のトップページが表示されます。



...

ワンポイントアドバイス

イメージコントローラーの IP アドレスについては、管理者にお問い合わせください。

いろいろな設定の表示方法

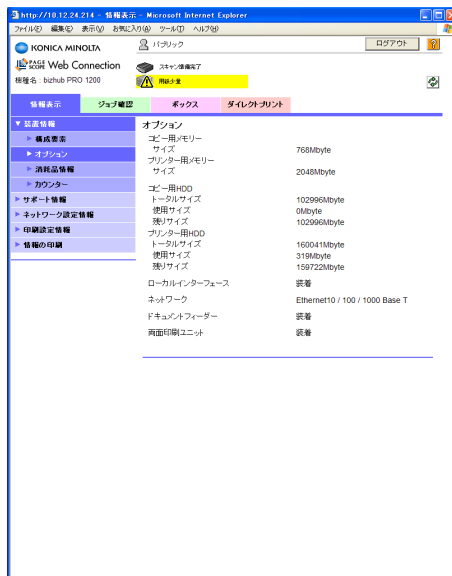
装置情報 - 構成要素

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「装置情報」をクリックします。
「装置情報」ページが表示されます。
- 3 サブメニューの「構成要素」をクリックします。
「構成要素」ページが表示されます。



装置情報 - オプション

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「装置情報」をクリックします。
「装置情報」ページが表示されます。
- 3 サブメニューの「オプション」をクリックします。
「オプション」ページが表示されます。



装置情報 - 消耗品情報

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「装置情報」をクリックします。
「装置情報」ページが表示されます。
- 3 サブメニューの「消耗品情報」をクリックします。
「消耗品情報」ページが表示されます。



装置情報 - カウンター

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「装置情報」をクリックします。
「装置情報」ページが表示されます。
- 3 サブメニューの「カウンター」をクリックします。
「カウンター」ページが表示されます。



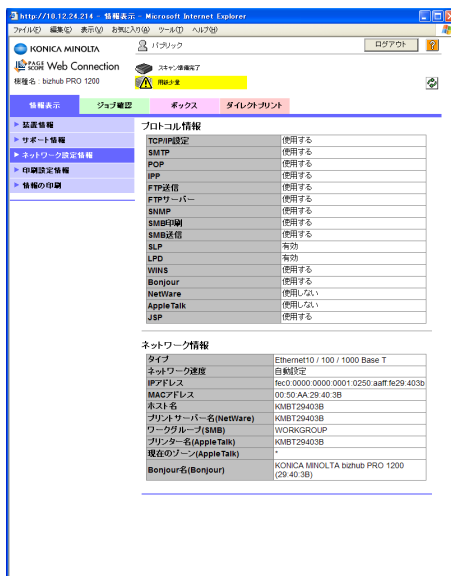
サポート情報

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「サポート情報」をクリックします。
「サポート情報」ページが表示されます。



ネットワーク設定情報

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「ネットワーク設定情報」をクリックします。
「ネットワーク設定情報」ページが表示されます。



印刷設定情報 - デフォルト設定

- 1 [情報表示] をクリックします。
[情報表示] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [印刷設定情報] をクリックします。
[印刷設定情報] ページが表示されます。
- 3 サブメニューの [デフォルト設定] をクリックします。
[デフォルト設定] ページが表示されます。



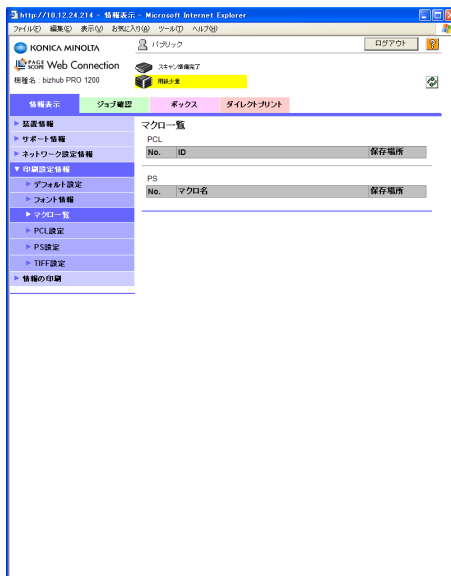
印刷設定情報 - フォント情報

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューの「印刷設定情報」をクリックします。
「印刷設定情報」ページが表示されます。
- 3 サブメニューの「フォント情報」をクリックします。
「フォント情報」ページが表示されます。



印刷設定情報 - マクロ一覧

- 1 [情報表示] をクリックします。
[情報表示] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [印刷設定情報] をクリックします。
[印刷設定情報] ページが表示されます。
- 3 サブメニューの [マクロ一覧] をクリックします。
[マクロ一覧] ページが表示されます。



印刷設定情報 - PCL 設定

- 1 [情報表示] をクリックします。
[情報表示] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [印刷設定情報] をクリックします。
[印刷設定情報] ページが表示されます。
- 3 サブメニューの [PCL 設定] をクリックします。
[PCL 設定] ページが表示されます。



印刷設定情報 - PS 設定

- 1 [情報表示] をクリックします。
[情報表示] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [印刷設定情報] をクリックします。
[印刷設定情報] ページが表示されます。
- 3 サブメニューの [PS 設定] をクリックします。
[PS 設定] ページが表示されます。



印刷設定情報 - TIFF 設定

- 1 [情報表示] をクリックします。
[情報表示] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [印刷設定情報] をクリックします。
[印刷設定情報] ページが表示されます。
- 3 サブメニューの [TIFF 設定] をクリックします。
[TIFF 設定] ページが表示されます。



実行中リスト

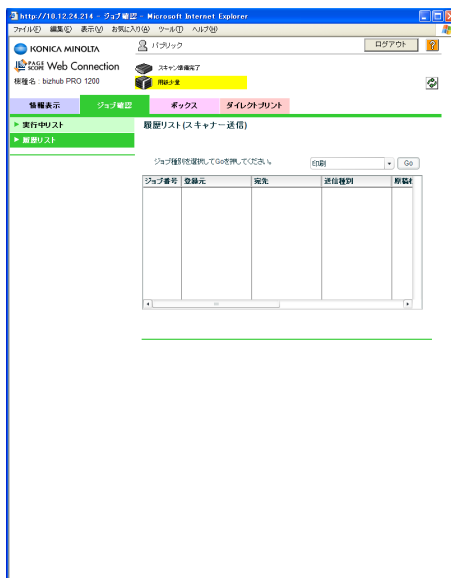
- 1 [ジョブ] をクリックします。
[ジョブ] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [実行中リスト] をクリックします。
[実行中リスト] ページが表示されます。



- 3 一覧右上のプルダウンから [印刷] または [スキャナー送信] を選択後 [Go] をクリックして、一覧の内容を切り替えます。

履歴リスト

- 1 [ジョブ] をクリックします。
[ジョブ] ページが表示されます。
- 2 左側メニューの [履歴リスト] をクリックします。
[履歴リスト] ページが表示されます。

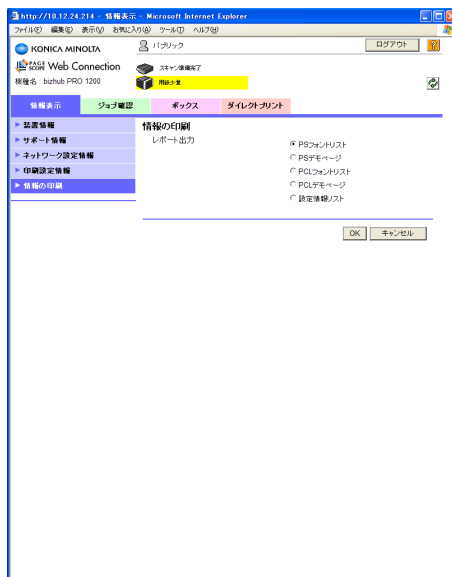


- 3 一覧右上のプルダウンから [印刷] または [スキャナー送信] を選択後 [Go] をクリックして、一覧の内容を切り替えます。

14.1.3 各種情報を印刷するには

各種情報の印刷方法

- 1 「情報表示」をクリックします。
「情報表示」ページが表示されます。
- 2 左側メニューから「情報の印刷」をクリックします。
「情報の印刷」ページが表示されます。



- 3 印刷したい情報を選択します。
- 4 「OK」をクリックします。
選択した情報が印刷されます。



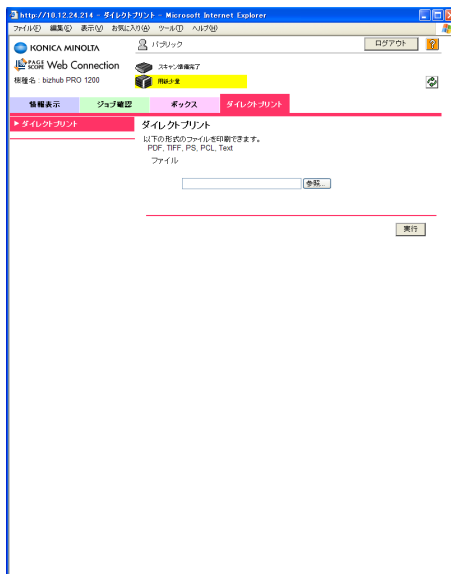
ワンポイントアドバイス

レポートの種類については、「各種情報を印刷する」(14-2 ページ)を参照してください。

14.1.4 ダイレクトプリントを行うには

ダイレクトプリントを行う方法

- 1 [ダイレクトプリント] をクリックします。
[ダイレクトプリント] ページが表示されます。



- 2 [参照] をクリックして表示される画面で、印刷するファイルを指定し、[開く] をクリックします。
[ダイレクトプリント] ページに戻ります。
- 3 [実行] をクリックします。
指定したファイルのダイレクトプリントが実行されます。

14.2 NetWare 設定

NetWare の設定について説明します。

NetWare 3.x の設定

NetWare サーバの設定をする前に、コピー機の操作パネルなどから、プリントサーバの名前などを設定しておきます。

NetWare 3.x での設定の手順は、次のとおりです。この設定は、スーパーバイザ権限で行います。

- 1 PCONSOLE を起動して、使用するファイルサーバを選びます。



ワンポイントアドバイス)

PCONSOLE での設定についての詳細は、Novell NetWare のマニュアルを参照してください。

- 2 プリントキューを作成し、割り当てます。
- 3 ネットワークボードをプリントサーバとして設定します。
- 4 必要に応じて、通知リスト／パスワードの設定を行います。
- 5 必要に応じて、プライマリファイルサーバの設定を行います。

設定が終了したら、コピー機の主電源を一度 OFF にし、10 秒以上待ってから再び ON にします。

ネットワーク設定リストなどによって、ファイルサーバとそのファイルサーバがサービスするキューを確認してください。



ワンポイントアドバイス)

プライマリファイルサーバは、ネットワークが大規模で、複数のファイルサーバを持つ多数のサイトに接続されている場合に定義する必要があります。この設定は *PCONSOLE* を使って行います。

NetWare 4.x-6 の設定

Novell 社の NetWare 4.x-6 は、Novell ディレクトリサービス (NDS) と バインダリサービスエミュレーション (バインダリエミュレーション) の 2 つのモードで動作することができます。バインダリエミュレーションサービスと NDS サービスは同時に実行することが可能ですが、プリントサーバをバインダリサービスモードだけ、または NDS モードだけでも動作するようにも設定できます。

もしプリントサーバに正しく NDS が設定されておらず、かつ、バインダリサービスモードが動作していないと、プリントサーバカードはそのファイルサーバを見つけることができず、ネットワーク設定リストに Novell NetWare プロトコルがアクティブでないことが表示されます。

設定の概要

NDS

Novell ディレクトリサービス (NDS) では、従来の NetWare バージョンとは異なる、より高度なネットワーク管理が可能です。基本的にすべてのネットワークオブジェクトが保存、管理されます。

原則として、NDS が機能するためには、すべての 4.x-6J サーバに NDS がロードされていなくてはなりません。したがって、すべての NetWare 4.x-6J サーバがプリンティングシステム、プリントサーバ、プリントキューなど、指定されたディレクトリオブジェクトのサービスを行うため、それぞれのサーバがディレクトリサーバとなります。

適切な権限を持っていればプリントサーバオブジェクトが作成できます。またこのオブジェクトをネットワーク上のコンテキスト内に設定すると、各ネットワークサーバ上でプリントサーバをセットアップするという非能率的な作業が解消されます。

NDS では、個々に定義された物理的サイトではなく、共有ネットワークデータベースを基盤とした真のエンタプライズネットワーキングが可能です。その結果、プリントサーバセットアップと管理の効率が大幅に改善されます。

バインダリエミュレーション

NetWare 4.x-6J は、バインダリエミュレーションで 3.xJ、4.x-6J プリントサービスとの下位互換性があります。

サーバ／サービス、ユーザ、プリンティングシステム、ゲートウェイなどの情報の保存には Directory Information Base (DIB) が使用されます。これは分散データベースで、任意の位置に保存された情報にネットワーク上のどこからでもアクセスが可能です。

4.x-6J より前の NetWare バージョンでもデータは DIB と同じですが、この場合は NetWare バインダリに保存されます。DIB は柔軟なアクセ

ス性と明確なセキュリティが備わった設計になっており、分散させるためパーティションに分割されています。

このディレクトリには、バインダリとは異なり、フラットファイル構造ではなくオブジェクト指向構造が用いられ、サーバごとのアクセスではなくネットワークにアクセスすることができます。

このディレクトリは、バインダリエミュレーションモードで NetWare バインダリとの下位互換性があります。バインダリエミュレーションが有効の場合、アクセス中の NetWare サーバ上にバインダリが存在するかのように、ディレクトリサービスがバインダリリクエストを受け付けて応答します。

ディレクトリはパーティションに分けられた分散データベースなので、バインダリ問い合わせで得られた情報が、アクセスしているサーバに保存されたものでない場合があります。NetWare 4.x-6 サーバはバインダリで動作していませんが、バインダリリクエストを行うアプリケーションからはその違いが分かりません。

NDS の設定

PageScope Web Connection

プリントサーバ（ネットワークボード）のコンテキスト設定に使います。PagePageScope Web Connection については、管理者にお問い合わせください。

Novell NWADMIN

ディレクトリツリー、プリントサーバ、プリンティングシステム、ツリー内のプリントキューオブジェクトの作成には、Novell NWADMIN を使います。

本ネットワークボードには、接続するだけで NetWare 管理者ユーティリティ（NWADMIN）をサポートする機能があります。このため、NDS の管理者が 1 つのポイントで制御（プリントサーバの集中管理）を行うことが可能になります。



ワンポイントアドバイス)

NWADMIN での設定の詳細は、Novell NetWare のマニュアルをご参照ください。

PCONSOLE

NWADMIN に代わる方法として、NetWare では PCONSOLE も使えます。PCONSOLE は、どのキューをサービスするのか、問題が起こった場合、誰に通知するかといったプリントサーバの静的情報の設定に使います。

**ワンポイントアドバイス)**

NDS の PCONSOLE での設定についての詳細は、Novell NetWare のマニュアルをご参照ください。

バインダリエミュレーションの設定

バインダリコンテキストを確認します

プリントサーバ（ネットワークボード）をバインダリモードの Novell NetWare 4.x-6 サーバに接続する前に、まず、この NetWare サーバにバインダリコンテキストがあるかどうかを確認します。

バインダリコンテキストの設定がされていない場合は、ネットワーク管理者が AUTOEXEC.NCF ファイルを修正して適切な SET コマンドを追加し、NetWare サーバを再起動するか、システムコンソールから SET コマンドを入力し変更を行う必要があります。

コンソールプロンプトのコマンドは直ちに有効となるのに対し、AUTOEXEC.NCF ファイルの定義は、サーバの電源を切って再起動しないと有効になりません。

PCONSOLE を使ったバインダリモードでの設定

ファイルサーバにバインダリコンテキストがあることが確認できた場合は、PCONSOLE を使ってネットワークボードを設定します。

バインダリモードで使用する場合は、NetWare プリンターサーバのパスワードは大文字のみが有効となります。

**ワンポイントアドバイス)**

PCONSOLE での設定の詳細については、Novell NetWare のマニュアルをご参照ください。

14.3 ToneCurve Utility について

ToneCurveUtility を使うと、印刷する文書の明るさやコントラストを調整することができます。また登録したトーンカーブは、ネットワーク上の他のコンピュータでも使用することができます。

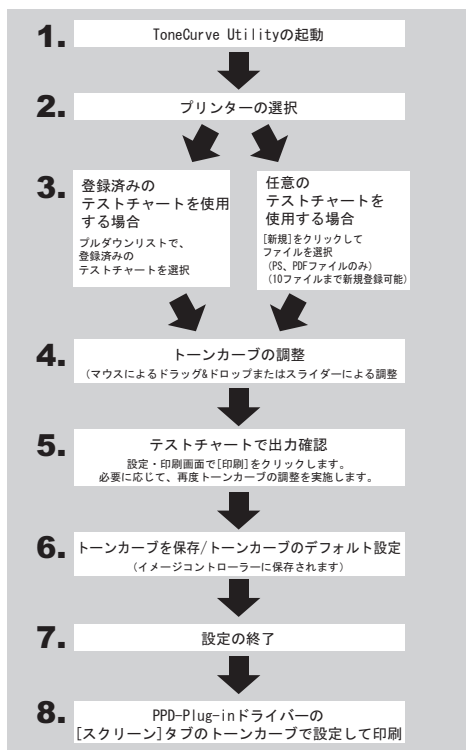


ご注意)

ToneCurveUtility で作成し、イメージコントローラーに登録したトーンカーブは、PPD Plug-in ドライバーでのみ選択し、印刷に使用できます。

ToneCurve Utility の詳細は、ヘルプファイルをご覧ください。

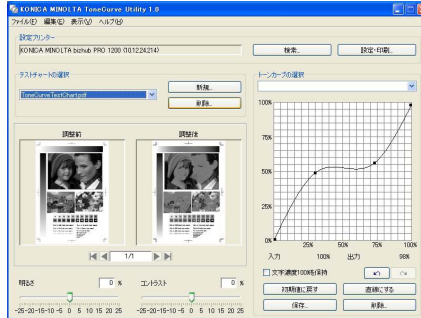
ToneCurve Utility の操作フローチャートは以下の通りです。



ご注意)

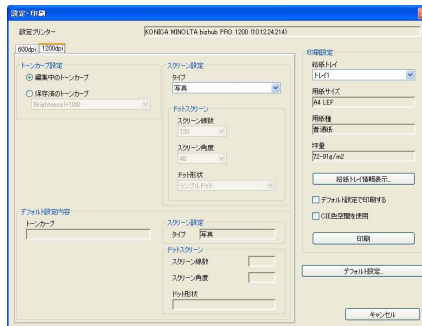
11 ページを超えるファイルは、テストチャートに追加できません。

ToneCurve Utility のメイン画面



- テストチャートを追加するには、[新規] をクリックしてファイルを選択します。
- トーンカーブは [明るさ] / [コントラスト] のスライダーもしくは、トーンカーブエリアで調整点をマウスでドラッグ & ドロップして調整します。
- [保存] をクリックして、トーンカーブの設定を保存します。
- トーンカーブの出力値を 100% 未満にした場合のみ [文字濃度 100% 保持] がアクティブになります。[文字濃度 100% 保持] をチェックしない場合は、文字の濃度に注意してください。

設定・印刷画面



- トーンカーブを調整して [設定・印刷] をクリックすると、設定印刷画面が表示されます。設定・印刷設定画面では、スクリーン設定、印刷設定などを行います。
- [印刷] をクリックすると、確認用の印刷ができます。
- [デフォルト設定] をクリックして、デフォルトで使用するトーンカーブとスクリーンを指定できます。これにより、PPD Plug-in ドライバーでの設定を簡略化できます。
- CIE 色空間にチェックを入れると、XYZ 色空間を経由した色変換処理を行なうため、階調性をあげることができますが、出力に時間がかかる場合があります。

15 付録

15.1 コントローラーメモリースイッチ設定について

下記現象が発生した場合、[コントローラーメモリースイッチ]を設定することによって問題が解消される場合があります。

[コントローラーメモリースイッチ] は、コピー機操作パネル上から、[機械状態] - [コントローラー設定] - [08 管理者設定] - [01 メモリースイッチ] 上で設定する事が可能です。

Off (0) から On (1) に切り替えることで問題が解消される場合があります。メモリースイッチのデフォルトは、全て Off (0) です。



ご注意

リスト内に載っていないスイッチ番号は絶対にスイッチを切り替えないでください。

現象例	スイッチ番号	スイッチの効果 (On(1)にすると ...)
トンボつきの PDF ファイルを、PDF ダイレクトプリントで印刷した際、トンボがない状態のサイズで印刷される	1	トンボがついたまま印刷される。
特定のアプリケーションより、複数ジョブを、単ジョブにまとめて印刷する際、出力がエラー終了する。	2	コントローラーの SPOOL 設定に関わらず、全プリントデータを受信後に、ジョブが実行される。ただし、プリント速度が低下する場合がある。 ※設定後、主電源の OFF/ON が必要。
サポートされていないファイルを出力してしまった際、エラーページが印刷されるようにしたい。 (PostScript エラーは除く)	3	サポートされていないファイルの受信時に、エラー印刷を行う。
複数ジョブが1つにまとまってしまう。	4	設定した通りのジョブ数で印刷される。
1つのジョブが分割されてしまう。	5	1つのジョブで印刷される。ただし、複数のジョブを連続印刷すると、1つのジョブとしてまとまってしまうことがある。
カラー画像含むファイルを出力する際に、ハーフトーン部分の再現性が悪い。	6	カラー画像のモノクロハーフトーンへの変換が改善され、再現性が良くなる。 ただし、プリント速度が低下する場合がある。

現象例	スイッチ番号	スイッチの効果 (On(1)にすると ...)
複数のジョブがマージされている単ジョブ（各ジョブ毎に、出カトレイが設定されている）を出力する際、出カトレイが切り替わらない。	7	コピー機にて複数ジョブとして扱われる為、各ジョブ毎に出カトレイが切り替わる。
定型サイズの下稿をスキャンして作成した Tiff ファイルを、Tiff ダイレクトプリントにて出力する際、コピー機にて、不定型サイズが要求される。	8 9	スイッチ 8 と 9 の組み合わせによりサイズの許容範囲が変更される。 切り替えることによって、コピー機が定型サイズと認識し、出力することが出来る。
コピー機の給紙トレイ指定を常に自動にしたい。	11	コピー機の給紙トレイが常に自動になる。ただしプリンタードライバーからの給紙トレイ指定も反映されなくなる。
LPR コマンドで指定したファイル名を、ジョブ名として操作パネルのジョブリストに表示したい。	12	ジョブ名として操作パネルのジョブリストに表示される。
フォントインストール時にエラーが発生する。 (主に Font Management Utility 使用時)	13	エラーが解消される。ただし PostScript のフォントを大量にインストールすると処理に時間がかかる場合がある。
PDF ダイレクトプリントにて、Letter Tab サイズを出力する際、本体にて、9x11 インチサイズの用紙が要求される。	14	Letter Tab サイズで出力される。
Mac OS 10.5 以降で、表紙挿入の設定を行い、複数部数を指定して出力を行う際、1 部しか出力されない。	15	正常に動作する。ただしバイナリーリーダーを受信するとエラーが発生する場合がある。
Mac OS 10.2 にて、LPR コマンドを使用して出力する際、LPR バナーページが印字されない。	16	LPR バナーページが印字される。ただしプリンタードライバーから LPR ポートを使って印刷しても、バナーページが印字される。

15.2 用語集

用語	内容
10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T	Ethernet の規格における仕様の一種。 銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
BOOTP	BOOTstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。 ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている
Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルータなどの機器のこと。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。 DHCP サーバで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name System の略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。
DPI (dpi)	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。 1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。 この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。

用語	内容
EPS	Encapsulated PostScript の略。イラスト用のファイル形式の 1 つ（拡張子は .eps）。低解像度用と高解像度用の両方のデータを内部に持つ。画面上では低解像度用のデータで高速に編集することができ、印刷時には高解像度用のデータでプリンターの最高性能の出力を得ることができる。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバとクライアント (Web ブラウザなど) がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPX/SPX	Internetwork Packet eXchange/Sequenced Packet eXchange の略。Novell 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割り当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割り当てる番号である。
NDS	Novell Directory Service の略。 ネットワーク上に存在するサーバやプリンター、ユーザ情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザーのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。

用語	内容
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。 通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
OHP/OHT	OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、特に高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
PPD	PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズ等、PostScript プリンターの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
ppm	Pages Per Minute の略。1 分間に印刷できる枚数を表わす単位のこと。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバのこと。
Pserver	NetWare 環境下におけるプリントサーバモジュールのこと。 プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。
Rendezvous	IP ネットワーク上の Rendezvous 対応機器を、相互に自動検出する技術のこと。 Apple 社が MacOS 10.2 から新しく採用した。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。 インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。 個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。

用語	内容
TIFF	Tagged Image File Format の略。 画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .tif）。 データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。
TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。 ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェイスに関する規格のこと。 TWAIN 対応機器を使用するためには、TWAIN ドライバーが必要である。
アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。 文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
イーサネット (Ethernet)	LAN の伝送路に関する規格のこと。
プリントジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したものの。
階調	画像の濃淡の段階のこと。 数が大きいほど、滑らかな濃度変化を再現できる。
拡張子	ファイルの保存形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。 ピリオドに続けて表記される。「.bmp」や「.jpg」など。
ガンマ (gamma)	入力信号と実際の出力の相対関係を示す値のこと。 ディスプレイ、スキャナー、プリンターなどのカラー周辺機器で用いられる。
キュー名	LPD/LPR 印刷の際に必要な論理プリンター名のこと。
共有プリンター	ネットワーク上のサーバに接続され、複数のコンピューターから使用可能なように設定されたプリンターのこと。

用語	内容
クライアント	ネットワークを介して、サーバが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差（明暗の差）のこと。 明暗の差が少ない画像を「コントラストが低い画像」、明暗の差が大きい画像を「コントラストが高い画像」という。
サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。 IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
スクリーンフォント	C R T などのモニタ上で、文字 / 記号を表示するためのフォント。
スプール (Spool)	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。 プリンター出力で、データを直接プリンターに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンターに送信すること。
線数	画像を形成する網点が、どれだけの密度で使われるかを示した数のこと。"
双方向通信	接続した機器の双方から、同時に相手側に通信できること。 プリンターに出力するとき、コンピューターからプリンターに印刷データを送信するだけでなく、プリンターからコンピューターにも情報を送信すること。これにより、プリンターの状況をコンピューター側からモニタすることができる。
ディレクトリサービス	ネットワーク上に分散して存在する各種資源（ユーザーやユーザーグループ、各種サーバなど）を一元管理するシステムのこと。
デフォルト	初期設定値のこと。 電源ボタンをオンにしたときに、あらかじめ選択されている設定。 または、ある機能をオンにしたときにあらかじめ選択されている設定。
ドライバ	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
濃度	画像の濃さを表す量のこと。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源を OFF しても、データが保持される。
ハーフトーン	画像の各部分の濃淡を、黒または白の点の大小で表現する方法のこと。

用語	内容
バインダリサービス	ネットワークユーザの情報を、各サーバのデータベースで管理するためのシステムのこと。主に NetWare 3.x 以前のシステムで使用される。
ピア・ツー・ピア	専用のサーバを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
ビットマップフォント	文字の形を、ドットの集合で表したフォントのこと。 文字サイズが大きくなると、ギザギザが発生する。
プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバーが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
プリンタードライバー	コンピュータとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
フレームタイプ	NetWare 環境において使用される通信形式の種類のこと。 同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事が出来ない。
プレビュー	印刷 / スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
プロトコル	コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
プロパティ	属性情報のこと。 プリンタードライバーを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。 またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
プロファイル	カラー属性ファイル。 カラー入出力機器が色再現を行なうために使用する、各原色の入出力の相関関係がまとめられた専用ファイルのこと。
ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
ポート番号	ネットワーク上のコンピュータ内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用する事はできない。
明度	明るさの度合いのこと。 明度が高くなるほど色が明るくなり、低くなるほど暗くなる。
メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。 電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ローカルプリンター	コンピュータのパラレル / USB ポートに接続されたプリンターのこと。

15.3 索引

N

NetWare 14-20

P

PageScope Web Connection 14-1

PPD ファイル 5-16

い

一時停止 8-28, 9-37, 10-38, 11-34

印刷設定ダイアログ 10-4

インストール可能なオプション 9-16

う

ウォーターマーク 8-58, 10-13

裏カバー 8-52

お

オプションの構成画面 10-3, 10-5

表カバー 8-51

折り 8-43, 9-28, 10-30

か

確認印刷 8-28, 9-37

画像シフト 8-37, 11-21

紙色 8-23, 9-23, 10-25, 11-13

き

基本的な印刷方法 (Mac OS 9) 7-2

基本的な印刷方法 (Mac OS X) 7-3

基本的な印刷方法 (Windows) 7-1

機密プリント 11-31

す

スクリーンフォント 13-3

ステープル 8-41, 9-26, 10-28, 11-26

スムージング 8-66

せ

セキュリティ印刷 8-25

設定の保存 / 呼出	8-72
そ	
装置オプション	8-14
た	
対応 OS	2-2
て	
テストページ	4-42
と	
トラブルシューティング	12-1
に	
認証設定 / 部門管理設定	11-35
は	
パンチ	8-42, 9-27, 10-29
パンチ穴	11-27
ひ	
日付 / 時刻	8-34
ふ	
フォントリスト	13-1
プリンタードライバの削除	6-1
プリンタ固有機能画面 (1)	10-23
プリンタ固有機能画面 (2)	10-24
プリンタ情報画面	11-1, 11-2
プリント画面	11-3
へ	
ページ設定画面	11-3
ページ属性画面	10-10
ほ	
ボックス保存	8-27, 11-33
ボックス保存 & 印刷	8-27, 11-33
め	
メディア	9-20

ゆ

ユーザー認証 / 部門管理設定	8-30
-----------------------	------

よ

用紙設定ダイアログ	10-3
-----------------	------

お問い合わせは

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル: **0120-805039** (受付時間: 土、日、祝日を除く 9:00～12:00 / 13:00～17:00)



KONICA MINOLTA

国内総販売元

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元

コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright